

官報

號外

大正五年二月二十六日

土曜日

印刷局

第三十七回 衆議院議事速記録第三十三號

大正五年二月二十五日(金曜日)午後一時二十四分開議

議事日程 第三十二號 大正五年二月二十五日

午後一時開議

質問

一 曆法ニ關スル質問(早川龍介)

二 貴族院提案ノ所謂妥協案ニ關スル質問(清水市太)

三 間島ニ於ケル帝國ノ威信ニ關スル質問(早川龍介)

四 輕便鐵道建設ニ關スル再質問(根本正)

五 富士山阿祖谷元宮小室淺間神社社格奉祀ニ關スル質問(牛田唯一)

六 「シフテリヤ」血精試驗ニ關スル質問(綾部惣兵)

七 恩赦奉行ニ關スル質問(中村倫武)

第一 華族世襲財産法改正法律案(政府提出、貴族院送付)

第二 人權保護ニ關スル法律案(高木益太郎君)

第三 刑事訴訟法中改正法律案(高木益太郎君)

第四 特許法中改正法律案(織田了)

第五 實用新案法中改正法律案(織田了)

第六 重要物產同業組合法中改正法律案(萬代)

第七 農事獎勵ニ關スル建議案(多木久米次)

第八 航空事業國庫補助ニ關スル建議案(兒玉亮太)

第九 水產調査會設置ニ關スル建議案(高木正年君)

第十 京都高等蠶業學校ニ農業科併置ニ關スル建議案(川崎安之)

第十一 産業組合ニ關スル建議案(小林嘉平治君)

第十二 東北振興ニ關スル建議案(村松龜一郎君)

第十三 富士川改修工事速成ニ關スル建議案(根津嘉一郎君)

第十四 岡山縣下宇野港ヲ特別輸出港ト爲スノ建議案(安東敏之君)

第十五 岐阜多治見間鐵道速成ニ關スル建議案(西田銳二名)

第十六 飛騨縱貫鐵道速成ニ關スル建議案(西田銳吉君)

第十七 飛騨鐵道速成ニ關スル建議案(岡崎久次郎君)

第十八 名古屋富山間鐵道建設ニ關スル建議案(三輪市太郎君)

第十九 東方調查局設置ニ關スル建議案(伊東知也)

第二十 酒造稅納期繰下ニ關スル建議案(川上繁太郎君)

第二十一 蠶絲業振興發達ニ關スル建議案(今西三郎君)

第二十二 八代川内間鐵道速成ニ關スル建議案(山田珠四名)

第二十三 金玉均表彰ニ關スル建議案(小林勝民君)

第二十四 上越鐵道建設ニ關スル建議案(須藤嘉吉君)

第二十五 上越鐵道建設ニ關スル建議案(川上榮太郎君)

第二十六 信越河東鐵道建設ニ關スル建議案(高島順一名)

第二十七 南太平洋航路開始ニ關スル建議案(小西和君)

第二十八 神通川改修工事速成ニ關スル建議案(關野善次郎君)

第二十九 外國米輸入官營ニ關スル建議案(井原百介君)

○副議長(早速整爾君) 本日ハ議長長病ノ爲メニ差支ガアルニ付キマシテ、私暫ク此席ヲ汚シマス(拍手起ル)諸般ノ報告ヲ致サセマス

(書記朗讀)

一、貴族院ヨリ受領シタル政府提出案左ノ如シ

國籍法中改正法律案

一、議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

産業試驗費講習費國庫補助法中改正法律案

提出者 伊藤 恭之助君 工藤 吉次君 三津家傳之君

安田伊左衛門君 雜賀 信三郎君 櫻井 兵五郎君

小西 和君

戰時海員保護法制定ニ關スル建議案

提出者 福井 三郎君 淺野 陽吉君

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

一、昨二十四日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ

重要物產同業組合法中改正法律案

川井 考策君

保科 陽治君

友常 毅三郎君

明治四十年法律第十一號中改正法律案

山根 正次君

高田 紘平君

秋本 喜七君

司法代書人法案

大岩 勇夫君

黑須 龍太郎君

岩崎 幸治郎君

郡制中改正法律案

村松 山壽君

榎本 次郎右衛門君

南里 琢一君

理事補選案

大正二年法律第十七號廢止法律案

理事田村新吉君(増田次郎君補闕)

一、常任委員長補選案

決算委員會

委員長鹿島秀磨君(小河源一君補闕)

曆法ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

大正五年二月十七日

提出者 早川 龍介

贊成者 福井 三郎

外二十九人

曆法ニ關スル質問主意書

曆ノ人間生命ニ於ケル恰モ事物ニ對スル度量衡タルハ言フ俟タズ本邦ノ如キ農業本

位ノ國ニ於テハ曆ハ最業務ニ密接ノ關係アルノミナラス國體及教育ノ根基ニ關スル

モノタルヲ思ハサルヘカラス本院ハ第二十五回議會即チ明治四十二年三月二十四

日ヲ以テ政府ニ建議シタリト雖爾來何等施設ヲ見ス政府ハ該建議ヲ採納スルノ意

思ナキカ

右及質問候也

貴族院提案ノ所謂妥協案ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

大正五年二月十七日

提出者 清水 市太郎

贊成者 根本 正

外三十一人

貴族院提案ノ所謂妥協案ニ關スル質問主意書

一 政府ハ貴族院提案ノ所謂妥協案即チ

(一) 內國債ヲ以テ外國債ヲ償還スル場合ニ於テハ國債整理基金法第五條ノ

規定ニ拘ラス借替償還ヲ爲スコトヲ得トノ法律案

(二) 大正五年度一般會計ニ於テ二千萬圓ノ內國債ヲ募集シ國債整理基金

ニ繰入ルル追加豫算ヲ提出スルコト

(三) 鐵道資金ハ其ノ性質上租稅ニ依ルヘカサルコト

右三件ヲ容認スルハ政府ノ聲明セル主義政綱ニ反スルモノト爲ササルカ

二 政府ハ前項妥協案ハ大正五年度豫算ノ一大修正ニシテ衆議院ノ院議ニ反ス

ルノミナラス憲法第六十五條ニ規定スル衆議院ノ豫算先議權ニ毫モ牴觸スル

所ナシトスルカ

右及質問候也

間島ニ於ケル帝國ノ威信ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

大正五年二月十八日

提出者 早川 龍介

贊成者 織田 了

外三十八人

間島ニ於ケル帝國ノ威信ニ關スル質問主意書

一 間島ハ日支協約ニ包容セラルトノ日本政府ノ主張ハ支那ノ官民ニ告知セラ

レタルヤ否

二 支那官憲ハ間島ハ日支協約ノ範圍外ナリトノ說ヲ固執シ毫モ從來ノ方針ヲ改

メスト聞ク其ノ實否如何

三 間島ニ在任鮮人ハ支那官民ノ壓迫ヲ受ケ我カ保護ヲ離レテ支那側ニ傾キ爲ニ

我カ威力信望ヲ失墜シツアリト聞ク果シテ如何

四 間島ハ其ノ地域狹少ニ非ス故ニ排日ノ意思ヲ抱持セル鮮人及支那官民ニ對

抗スルニ一ノ領事及少數ノ領事館員ニテハ足ラサルモノ如シ政府ノ所見如何

五 前記各項ヲシテ確實安全ナラシムルニハ憲兵及巡查ヲ増派シ以テ之ヲ救濟セサ

ルヘカサルモノト信ス政府ハ之ヲ實行スルノ意アリヤ否

右及質問候也

輕便鐵道建設ニ關スル再質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

大正五年二月十九日

提出者 根本 正

贊成者 小久保 喜七

外三十一人

輕便鐵道建設ニ關スル再質問主意書

一 水戸鐵道株式會社ノ出願書ハ地方廳ニ於テ何月何日之ヲ受理シ何月何日

鐵道院ニ申達シタルヤ

二 政府ハ大正三年度ニ於テ同時ニ發表セラレタル輕便鐵道十線路ノ內大曲盛

岡間及河邊木造間ノ二線路ハ大正五年度ニ於テ起工セサルコトニ決定シ又

勝田大宮間ハ水戸鐵道株式會社出願ノ當否決定迄其ノ起工ヲ延期スト答

辯セリ政府ハ何故ニ是等東北地方ノ分ノミニ對シ起工ヲ中止シ又ハ延期スル

ノ方針ヲ執リタルカ又此ノ方針ハ偏重偏輕ノ政策ニシテ鐵道國有ノ趣旨ニ悖
リ立憲政治ノ大義ヲ沒却セルモノト思ハサルヤ
三 勝田大宮間建設費ハ一哩平均三萬七千八百七十九圓ニシテ高知須崎間ハ
十三萬五千二百一圓ナリ而シテ此ノ建設費ニ對スル收益ノ割合ハ前者ハ二
分四厘九毛ニシテ後者ハ四厘七毛ナリトセハ勝田大宮間ハ高知須崎間ニ比シ
其ノ收益僅ニ四厘七毛ニ過キサル線路ヲ起工セムトスルハ鐵道國有以來其ノ
前例ヲ見ス政府ハ之ヲ以テ尙偏重偏輕ニ失セス又公約ヲ無視シタルモノニ非
スト爲スヤ

四 勝田大宮間線路ハ水戸鐵道既成線ニ對シ多大ノ影響ヲ及ホスモノアリトノ理
由ヲ以テ其起工ヲ延期セリト雖レ是レ全ク其ノ實況ヲ知ラス徒ニ私人ノ運動ニ
重キヲ置キタルモノト爲ササルヲ得ス蓋水戸鐵道ハ南ヨリ北ニ延ビ勝田大宮間
ハ東ヨリ西ニ走ルヲ以テナリ政府ハ之ヲシモ尙多大ノ影響ヲ及ホスモノト爲スヤ
右及質問候也

富士山阿祖谷元宮小室淺間神社格奉祀ニ關スル質問主意書
右成規ニ據リ提出候也
大正五年二月二十二日
提出者 牛田 唯一
贊成者 山本 悌二郎
外二十九人

富士山阿祖谷元宮小室淺間神社格奉祀ニ關スル質問主意書
山梨縣南都留郡明見村大字大明見鎮座ノ元宮小室淺間神社ハ神代ノ創立ニ係
リ古ヨリ大社號ヲ賜ハリ官社正一位一幣司ニシテ日本三大社ノ一ト稱セラレ延喜
式內ニ於ケル著名ナル神社ニシテ又 皇室ニ最厚キ關係ヲ有スル神社ナリ列聖ノ崇
敬淺カラス桓武天皇延暦十九年富士山一大噴火ヲ演スルヤ神官四方ニ避難シ其ノ
甲斐國山梨郡ニ避難セシ富士山麓麻呂ハ其ノ地ニ淺間神社ヲ勸請シ奉ル富士山
北本宮神部山淺間神社是ナリ又駿河國富士郡ニ避難セシ其ノ弟大宮廣亦其ノ
地ニ淺間神社ヲ勸請シ奉ル富士山表本宮大宮淺間神社是ナリ又相模國高座郡
ニ避難セシ元宮大宮司富士源太夫元秀ハ其ノ地ニ淺間神社ノ内塞川神社ヲ勸請シ
奉ル富士山東本宮塞川神社是ナリ而シテ本社タル元宮ハ噴火後平城天皇之ヲ再
興セラレ清和天皇ノ御宇ニ至リ大噴火ニテ燒失スルヤ又之ヲ再興セラレ正一位一
幣司ヲ賜ハリ再ヒ官社ニ列セラレシハ史乘ニ明白ナリ然ルニ三分社ハ明治維新ノ際
國幣中社ニ列セラレ大宮淺間神社ハ明治三十五年官幣大社ニ昇格セラレシニ拘ラ
ス總本社タル元宮小室淺間神社ハ洩レテ社格ヲ以テ祀ラレス是ヲ以テ該神社氏子
其ノ他ハ大正三年第三十一回帝國議會ニ社格奉祀ヲ請願シ同時ニ政府ニ陳情
シタリ而シテ本院ハ當時該請願ヲ容レ採擇ノ上政府ニ請願書ヲ送付シタリ然ルニ今
以テ何等ノ沙汰ナシ政府ハ右元宮小室淺間神社ヲ以テ社格奉祀ヲ適當ト認メサル
ヤ否之ニ對スル政府ノ所見如何
右及質問候也

「ジフテリヤ」血清試驗ニ關スル質問主意書
右成規ニ據リ提出候也

大正五年二月二十二日
提出者 綾部 惣兵衛
贊成者 井上 廣居
外百四十一人
「ジフテリヤ」血清試驗ニ關スル質問主意書
政府ハ血清ノ檢定ヲ實行シタルコトアリヤ若之レアリトセハ其ノ結果如何
右及質問候也
恩赦奉行ニ關スル質問主意書
右成規ニ據リ提出候也
大正五年二月二十三日
提出者 中村 尙武
贊成者 高木 利平
外二十八人

恩赦奉行ニ關スル質問主意書
大正四年御大典ノ際行ハレタル司法大臣恩赦奉行ノ事蹟ハ之ヲ大正元年御大葬
ノ際行ハレタル恩赦奉行ノ事蹟ト比較スルトキハ二者其ノ取扱ヲ異ニスルモノアリ其
ノ理由如何
右及質問候也
○副議長(早速整肅君) 是ヨリ會議ヲ開キマス——大正二年法律第十七號廢止
法律案委員會並ニ司法代書人法案委員會ヲ、何レモ委員長ヨリ開會ノ要求ガゴザイ
マシテ、許可致シマス
○鹿島秀賢君 唯今ヨリ決算委員會ヲ開キタウゴザイマスカラ御許可ヲ請ヒマス
○副議長(早速整肅君) 許可致シマス、議事進行ニ付テノ發言ノ通告ガアリマス、
高木益太郎君
○高木益太郎君 簡單デゴザイマスカラ此席テ御許シテ願ヒマス、ツレハ議會ノ會期延
長問題デアリマス、昨今各新聞就中政府黨ノ新聞ノ記事ヲ見マス、議會ノ延長ニ
關スル記事ガアリマス、從來他ノ議長ハ此閉會ニ垂ントスル際ニハ非公式デアリマセ
ウケレドモ、議會延長ノ有無ニ付テ御話ニナッタコトガアリマス、此議會ニ於テハ島田議
長ハ政府ト何カ御交渉ニナッタコトガアリマセウカ、昨夜本院ニ於テ御調ベニナリマシテ、
今朝本員ニ到著シマシタ衆議院ノ公報ニ依リマス、衆議院ヨリ貴族院ニ送付シタル
法律案ハ、昨夜午後七時ノ調ベニ依リマス、二十六件中貴族院ガ可決シタルモノ僅ニ一件、諸君
ガ多大ノ努力ヲ費サレテ議決ニナツテ居ルモノガ、貴族院ニ於テ昨夜ノ七時マデニ可決ニ
ナツモノガ一件、ツレハ賣藥法中改正法律案即チ此獸醫ガ其調劑ニ係ル藥ノ賣却ヲ
許ス法律案一ツ可決ニナツタニ過ギナイ、外ノ二十五件ハマダ何等ノ報告ニ接シナイノ
デアリマス、衆議院ニ憲法ハ豫算ニ付テ先議權ヲ與ヘ、又衆議院ノ立場ハ民意ヲ適切ニ
代表スルニ在リマス、衆議院ノ可決シタル法律案ガ二十六件モアルニ拘ラズ、最早日
曜日ヲ除キマス、二日間バカリ本院ガ閉會シヤウト云フ場合ニ、タツタ一件獸醫
ノ賣藥ニ關スル法案ノ可決ニナツタノミデアルト云フコトハ、吾々國家ノ爲メニ甚ダ痛嘆ニ
堪ヘヌデアリマス、殊ニ衆議院ヲ通過シタル政府提出案ノ中、殆ド半バ未決デアルト
云フ工合デアアル、果シテ然ラバ此際政府ハ議會會期ヲ延長スル意思ガアルヤ否ヤ、斯
ウ云フコトヲ政府ニ對シテ御尋フシタイノデアリマス、又衆議院議長ハ其點ニ付テ政府ト
何等カ御交渉ガ有ツカ無イカ、若シ御交渉ガ無イト云フコトデアレバ、政府ニ適當ナル
御交渉ノ上其如何ヲ御告ゲアラント願ヒマス、吾々ハ職務上ニ於テ會期ヲ延長スル
カセヌカト云フコトハ種々都合ガアリマス、唯今副議長ガ代理セラレテ居ルデアリマス

カラ、即刻テナクテモ宜シウゴザイマスケレドモ、議員全體ニ分ルヤウニ御答アランコトヲ願ヒタイ
○副議長(早速整肅君) 取敢ヘズ御答致シマス、會期云々ノコトニ付キマシテハ議長ハ未ダ何等ノ交渉ヲ受ケテ居リマセズ、第二段ノ御希望ノ點デゴザイマスガ、是ハ考慮ノ上何トカ取計フヤウニ致シタイト思ヒ居リマス、質問第一曆法ニ關スル質問——提出者早川龍介君

一 曆法ニ關スル質問(早川龍介君提出)

(早川龍介君登壇)
(拍手起ル)

○早川龍介君 此曆法ニ關スル質問書ヲ提出致シマシタ、暫クノ間諸君ノ清聴ヲ汚ス譯デゴザイマス、此ノ曆法即チ曆ト申シマスモ、從來非常ニ——往古ニ於キマシテハ大切ナモノデアラッタデゴザイマスガ、然ルニ是ガ最近ニ於キマシテ、即チ明治ノ初年ニ於キマシテ太陽曆ヲ行ハレコトニナリマシタ、過ルニ二十五議會即チ明治四十二年ノ三月二十四日ニ建議ヲ提出致シマシタ、即チ全會一致ヲ持チマシテ建議ヲ致シタデゴザイマス、其後四十四年ノ三月ニ於キマシテ其進行ガ如何ニ相成ツテ居リマスカト申シマスコトヲ、當時ノ小松原文部大臣ニ質問ヲ致シマシタコトヲ、目下大學ニ於テ取調中デアルト申スコトデゴザイマス、其後御承知ノ通内閣ガ屢ニ更迭ヲ致ス爲メニ、自分等モ此等御督促致シマス時ヲ得ヌデ居リマシタ、少シ此曆ノ歴史ヲ簡單ニ申上ゲヤウト存シマスガ、御承知ノ通日本ノ曆ノ行ハレマシタノハ、欽明天皇ノ十四年十一月一日即チ曆博士ガ明年ノ曆ヲ奏シマシタノデ、此時ニ主上ハ南殿ニ出御遊サレテ、サウシテ此曆ヲ御覽ニナツタ、是ガツマリ曆ノ祖ト申シマスモ古代カラ能ク人ノ口ニ上ツテ居リマス事柄デゴザイマス、ソレカラズツト後ニナリマシテ持統天皇ノ四年ニ儀鳳曆ト云フモノガ行ハレマシタガ、是ハヤハリ前ノ曆ヲ幾分改正ヲ致シタノデ、此儀鳳曆ノトキニ四季ト云フモノニ二十四節ヲ合セテ、七十二候ト云フモノニ配當致シマシテ、サウシテ伊勢ニ司天宮ト申シマスモノヲ置キマシテ、此曆曆ノコトヲ司ラシマシタノデゴザイマス、其後清和天皇ノ貞觀三年ニ宣明曆ト云フモノガ行ハレマシタ、其爾來ハ丁度是ガ日本ノ千年程前ノコトデアリマシテ、其後ハ武將——日本ノ政權ガ武門ニ移リ或ハ足利或ハ群雄割據ト云フヤウナ工合ニ屢ニ變遷ヲ致シマシテ、此曆ト申シマスモノハ依然ト前ニ行ハレマシタモノヲ尊奉サレテ居リマシタ、其後ハ靈元天皇ノ貞享元年ニ貞享曆ガ出來、桃園天皇ノ寶曆四年ニ些カ改マリ、光格天皇ノ寛政九年ニ又改マリ、最近ニ行ハレテ居リマスモノハ仁孝天皇ノ天保十二年ニ行ハレマシタ曆ガ今日以來ノ明治ノ初年マデ行ハレテ居リマシタ、以上此曆ガ行ハレテ居リマス、此有史以來ノ歴史ハ唯今申上ゲタ通ノ順序ニナツテ居リマスガ、日本ハ極ク往古ノ神代ノ時カラ一年ノ年限ノ區切リト申シマスモノハ確カニ分ツテ居リマス、曆ハ何ノ用デアルカト申シマスレバ、度量衡ト申シマスモノガ非常ニ大切ナルモノデアリマシタ同様に、人生ノ生命ノ尺度デアル、若シ度量衡ガゴザイマセヌデアリマシタラバ、段物ノ寸尺モ分リマシマシ、或ハ液量ノ量モ分リマシマシ、又秤ガゴザイマセヌケレバ物ノ重量ト云フモノモ分リマセヌ、總テ是無ケレバ商賣ノ上ニ於キマシテモ、平常ノ用ニ於キマシテモ甚ダ不都合デアリマシタ同時ニ、此人生ノ上ニ於キマシテ必要モノハ即チ曆デアリマス、ソコデ此欽明天皇ノ時ニ曆ガ渡リマシタカラ、ソレヨリ以前ニハ日本ニハ曆ガ無カッタ、先年自分ガ臺灣ニ參リマシテ生蕃ニオ前ノ年ハ幾ツタト申シマシタラ、臺灣人ハ更ニ分ラヌノデアリマシテ自分ノ年ヲ知ラヌノデアリマス、日本ノ欽明天皇ノ時ニ曆ガ渡リマシタ、其以前ニ於テハ日本モ生蕃ノ如ク曆ガ無ケレバ年ガ分ラナカッタモノカト申シマス、決シテサウデハナイノデアリマス、皆様モ御承知ノ通此日本ハ即チ天照大神ヲ以テ宗祖トナサレテ御

出ニナル、ソレデ其古キ時代ニ於キマシテハドウシテ年ヲ知ツタカト申シマスレバ、今何人が集マリマシテモ伊勢ノ一見ト申シマスモノヲ繪ニ書キマスレバ、直ニ太陽ヲ其向フニ書クノデアリマス、即チ二ツノ海上ニ立ツテ居リマスコロノ石ノ柱ヲ以テ、甲ノ場所カラ出テ、乙ノ場所ノ石ノ頭角ニマデ減シマス時ヲ以テ一年トスルト云フコトハ、遠ク神代ノ時ヨリ既ニ是ハ正確ニ分ツテ居リマス、ソレ故ニ日本ハ古キ時代デアリマシテモ、年限ト申シマスモノハキチン分ツテ居リマス、ソレデ此天日ガ一年ニ二百六十五日東ヨリ出テ西ニ入ル、而シテ是ト反對ニ二月ハ西ヨリ出テアルデアリマス、ソレハ西二月ガ出ルト申シマス少シオカシウゴザイマスガ、第一二月ノ始メヲ云ヒマスレバ二月ハ西カラ出テ來ルノデ、即チ是ハ太陽トノ反映デアリマス、ソコデ此日本ノ天津日嗣ト申シマスモノハ、是ハ皆様ドナタモ不承知ハナイコト、存ツテ居リマス、ソコデ此曆即チ日月ノ日ノ溫ト申シマス——曆ト申シマスモノ即チ日ノ東ニ出テ西ニ沒シマス、是ガ日本ノ道德ノ根柢ニナツテ居リマス、最近ニ於キマシテハイロ／＼各種ノ宗教ヲ用マシテ、サウシテ或道德ノ一部ヲソレニヤラセルト云フヤウナ議論モ追々ニアリマスケレドモ、此佛教ノ歴史ヲ申シマスレバ古キ時分ノ二論トカ法相トカ申シマスヤウナ宗教ハ、此日本ノ國體ニ融和致シ相合致シテ居リマセヌヤウニナツテ居ル、其後ニ起リマシタモノハ日本ノ國體即チ此現代ト云フモノニ相合致シマシテ、其宗教ハ道德ノ補助機關ニナツテ居ル、ソレガ却テ此道德ノ根柢ヲ失ツテ、宗教其モノガ上ヘ登ツテ行クト云フヤウナコトニナツテ居リマスノハ、是ハ誠ニ歎ハシキ次第デアリマシタドウ致シマシテ日本ノ道德ト云フモノヲ根柢ニ致シマシテ、サウシテ宗教ト云フモノガ之ニ融和致シマシテ此日本ノ道德ヲ助ケテ、サウシテ此道義ヲ完成シテ行カケレバナラヌモノト思ツテ居リマス、明治天皇ガ國ヲ御定メニ——長イ間武門ニ政權ガ移ツテ居リマシテ、サウシテ始メテ封建ノ制ヲ廢セラレテ郡縣ノ制ニナサレマシタ、而シテ明治元年二月十四日ヲ以テ明治天皇ガ祖宗ニ御誓ヒナリマシタ御誓文ト申シマスモノ、是ハ皆様能ク御承知ノコト、存ツテ居リマシタガ、其中ニ上下心ヲ一ニシテ盛ニ經綸ヲ行フベシトアル、又第三條ニ營業ノ陋習ヲ破ツテ天地ノ公道ニ基クベシト仰セラレテアル、殆ド其天地ノ公道ト申シマスモノニ付テハ、一般ノ道德家若クハ多數ノ人が餘リ口ニ致シテ居リマセヌヤウニ存シマス、天地ノ公道ト申シマスモノハ私ガ此處デ申シマスルコト餘リ釋迦ニ説法ヲ申スヤウニ甚ダ失禮デアリマスカラ申シマセヌガ、天地ノ公道ハ即チ唯今申上ゲマスル正統ニ東ヨリ出テ、西ニ入ル、此日ノ東ヨリ出テ西ニ入リマスコトガ、一ツ此人世ノ道德上自分等ノ鑑ニ致シテ居リマシタラ一切ノ事ハ間違ハ殆ド無イノデアル、即チ天照大神ヲ祖宗ト今日日本ハ取ツテ參リマシテ、佛教其他ノ儒教等ノ入リテ參リマセヌ先キニ、既ニ日本ニハ立派ナ道德ガ行ハレテ居リマシタデアリマス、其前ト雖モ決シテ他ノ無教國ノヤウニ野蠻ノ國デモ何デモ無カッタ、ソコデ此天地ノ公道ニ基クテ申シマスルコト、モウ一ツハ上下心ヲ一ニシテサウシテ經綸ヲ行フ、是ガ今日ノ曆ヲ行ツテ居リマシテ、此事ガ出來マスルカ出來マセヌカト云フコトヲ御考慮ヲ煩ハシタイト思ヒマス、既ニ是ハ各國共通デアリマシテ、明治五年十一月ヲ以テ太陽曆ヲ行ハレラレタデアリマス、故ニ朝廷デ太陽曆ヲ御行ヒニナリマシタト申スコトヲ敢テ非議スル譯デアラハ決シテゴザイマセヌ、ゴザイマセヌガ御承知ノ通り二月一日ガ元旦デアル、年ノ始メデアルト申シテ非常ニ或都會ノ部分デハ喜ビヲナシテ居リマスガ、田舎デハマダヤハリ舊套ヲ存シテ居ル、表面上門ニ松ヲ立デマシテモ、一家團圓集ツテ喜ビモ何モ致シテ居ラヌノデアリマス、是ガ上下心ヲ一ニスルト云フコトニナリマスガ、ドウデアリマスガ、本來日本ノ人間ノツマリ氣候ニ適合シマシタコロノモノヲ以テマシテ、サウシテ總テノモノニ當敵メマセヌケレバ、例ヘバ餘所デアリマシタコロノ衣類ヲ持ツテ來テ、ソレヲ無理ニ之ヲ著ルト云フノト同シ事デアリマシテ、此日本デハ四面海デアリマシテ潮ノ干満ト云フノハ最モ漁業上ニ必要ヲ感ズルコトデアリマス、即チ農家ニ

於キマシテハドウシテモ季節ニ依リマシテ、サウシテ氣候ト相共ニ總テノ一家ノ經營ヲヤッ
テ參リマセヌケレバドウモイカスノデアリマス、ソレ故ニ一月ハ素ヨリ御命令ニ從ヒマシ
テ——政府カラノ命令デアリマスカラ、一月ノ一日ハ學校等ヘ子供ヲ出シマシテ、サウシ
テソレデ一月ノ新年ノ始メヲ祝シマスケレドモ、併シ銘々ノ家ノ中ニ於キマシテハ、今日六
千万ノ人民中ニ、田舎ニ於キマシテ其大部分ト云フモノハ、皆陰曆ノ元旦ヲ以テヤ
ル、若クハ一月送リニヤル、斯ウ云フコトニナッテ居ル、是ハ先ツ本來ガ氣候ニ適合致シ
マセヌデ、日本ハ神代若クハズツ後ニ曆ノ渡リマシタ以後カラ——前ノコトハ申シマ
セヌコトニ致シマシテモ、ツマリ此欽明天皇ノ頃カラ殆ド正月ノ元旦ト申シマスルハ、立
春ト殆ド相適合シマスルヤウナ時ヲ以テ新年ト始メテ居ル、ソコテ文學デアリマシテモ亦
ハ總テノ和歌或ハ詠詩等デアリマシテモ、悉ク春ト新年トハ殆ド一緒ナッテ居ルソレ
ガ殆ド唯今ノ陽曆デアリマシテ丁度一箇月尙餘剩ガアリマス程遠ッテ居リマス、露西
亞ガ御承知ノ通り今日デアリマシテモヤハリ露曆ヲ用井テ居リマシテ、決シテ太陽曆ヲ用
井テ居ラス、ソレハ何ノ爲ニ用井マセヌカト申シマスレバ、一國ノ從來カラノ組織ノ上ニ於
キマシテ、決シテ他ノ陽曆ヲ移ルコトガ出來マセヌヤウニナッテ居ル、日本デモ神武天皇ガ檀
原デ始メテ御位ニ即キマシタノハ、立春ノ元日デアリマス、ソレガ今日ハ二月ノ十一日ニ
定メラレテアリマシテ、一千五百七十六年ト云ヒマシテモ一月一日カラ二月十一日迄
ハ眞ノ日本ノ紀元ニナッテ居ラス、ソレ故ニ外國デモ既ニ曆ノ改正ト申シマスルコトハ非
常ニ希望致シテ居リマシテ、英吉利ニモ既ニ曆法ノ改正ヲ持出シマシテ集會ヲ致シタコ
トモアル、其會議ノ場所ニ於キマシテハ羅馬法王ト希臘ノ希臘教トノ二ツガ之ヲ承認シ
ナケレバ、曆ノ改正ハ出來マイト云フコトヲ申シタヤウニナッテ居リマス、其後羅馬法王モ
曆ノ改正ト申スコトニ同意ヲ表シタ、然ルニ日本ハ名ノ如ク日ノ本ト申シテ國ノ
多イ中デモ一番先キニ照ストコロノ國デアル、而モ祖宗ノ神ハ天照大神デアル以上ハ、此
曆ト申シマスルコトハ即チ祖宗ノ神ノ御日課同様ナモノデアル、殊ニ大事ニ致シマシテサ
ウシテ一國ノ上ニ於テ十分ナル道德ヲ養成シテ、茲ニ根柢ヲ極メルト申シマスルコトハ最
モ必要ナコトデアラウト存ジマス、此改正法ニ付キマシテハ、先キニ阿波國カラ工藤茂三
郎ト申シマスル者ガ上京ヲ致シテ、是ガ殆ド二十何年ト云フモノハ曆ノ改正ニ大ニ熱誠
ニ盡力シテ居リマシテ、此人ノ出シマシタモノガ稍、自分等ノ考デハ從來在ッテ曆デアラウ
カト斯ウ考ヘマシタモノデアリマスカラ、先キニ申上ゲマシタ四十二年ニハドウゾ此日本ニ
此曆ヲ研究シテ、一ツ御施行ニナリマシテハドウデアルト云フコトノ建議ヲ出ス積リデアッ
タノデアリマス、何分曆ハ世界ヲ通ジテ——今日ノ日本ノ曆ガ改リマシタノハ、世界ノ曆
ト相合致シタコトコロノ用井テ居ルノデアアルカラ、日本デケケ特ニ從來曆ノ在來タモノ
ヲ用井ルノデアレバ是ハ別段ナコトデアル——改正ヲシナケレバ別段デアル、併シ改正シタ
以上ハ曆ハ世界共通ノモノデアアルカラ、日本ノ改メルコトガ出來ナイト云フコトデアリマ
シタ故ニ、之ヲ調査ト申スコトニシテ建議案ヲ提出シテ置イタノデアリマス、其調査ハ大
學ニ申付ケテ十分ノ調査ヲヤラセル、斯ウ云フコトニナッテ居リマシテ、ソレガ其儘ニナッ
居ルノデアリマス、ソレ故ニ此ニ更メテ尙今日此質問ヲ提出致シタ譯デアリマスガ、本
來農業ト申シマスモノハ日本ガ農業本位デアル、農ガ日本ノ本デアルト云フコトヲ能ク
申シマシテモ、ソレハ何ノタメニ本デアルカ、即チ一般ニ地面ノ上カラ產物ガ起ルコトヲ能ク
ウナ單純ノ考カラ、日本ハ農ガ本デアルト申シテ居ル者ガ往々アルヤウデアリマスケレドモ、
古史ヲ私ガ申スモゴザイマセヌケレドモ、天照大神ガ瓊々杵尊ヲシテ國土ヲ治メヨト仰
セラレタ此神勅——其時ニ三種ノ神器ヲ御授ケニナルト同時ニ、此稻ノ穗ヲ以テサウシ
テ此瑞穗ヲ以テ食トシテ、此國土ヲ治メマッレト仰セラレタ、即チ是レ神勅ニ依テ日本
ハ此米ヲ食フト云フコトガ起因シテ居ル、農ガ一番大事デアル、徳川時代ニ百姓ト申シ
マシタガ、此百姓ト云フ文字ハ分リマセヌガ農デアル、即チ此百姓ニ對シテハ非常ニ鄭

重ナル待遇ヲ致シタモノデアル、又此曆ヲ重シテ居リマシタノデ、左様ノ經過カラ致シ
マシテ、徳川時代ノ時二月二三日ノ祝日ト云フモノガゴザイマシタ、一日ト十五日ト二
十八日ト、一日ハ即チ太陽ヲ拜シ奉ル、十五日ハ月ヲ拜ム、二十八日ハ星ヲ拜ムト云
フ風ニ、此一日十五日二十八日二日ヲ月ノ中ノ祝日トシテ、諸大名ヲ城廓ニ登城
ヲ致サセテ居リマシタノデアリマス、斯様ナ長イ歴史長イ因縁ト、且ツ帝室等ノ總テノ御式ハ
大方此日ニ依テ行ハセラル、併ナガラ唯此ニ難儀ナコトハ太陽曆ト申ス從來ノ陰曆ヲ
行ヒマスルト、ドウシテモ四年目ニ一箇月ト申サヤウナ端ガ起ッテ參ル、ソレデアリマスカラ
是ハハ通リ致シテモ太陽曆ニ致サシケレバナラヌデアリマスガ、太陽曆ニ致シマスルハ今
日ノ通リ宜イカト申シマスルト是ハ全ク日本人ノ身體ニモ、農業ニモ、職業ニモ、或ハ
海產物ヲ致シマスル者ニモ適合ヲ致サヌデアル、ソレデドウシテモ是ハ立春ヲ本ニ立テマ
シテ、サウシテ年ノ始リト致シテ、一年ノ曆ヲ十分ニ之ヲ改正致シマスルヤウニ致シタナ
ラバ、上下心ヲ一ニシテ都會目出度イト申シマスル日モ、僻陋ノ人ガ悦ビマシテ年ヲ迎
ヘルト云フ時モ同日ニナル、上下心ヲ一ニシテヤレマスガ、今日ノ曆ヲ以テ今日ノ制度
ヲ行ハレテ居リマシテモ、實際此普通ノ文書或ハ公ナル所ニ出シマスルニハ、今日ノ日
數ヲ以テ之ヲ持出スト云フコトハ、是ハ殆ド法律上ニ決定致シテ居ルヤウデアリマスカラ、
是ハ皆誰モ異論ハナイノデアリマスガ、事實ノ上ニ於テ今日悦ビマシテ年ヲ迎ヘルト
云フ、即チ心ヲ一ニスルト云フコトハ、ドウシテモ此人間ノ自カラ自分ノ意思ガ合フ、其
國ニ合シタル所ノ氣候ト自分ノ身體トガ適合シマセヌケレバ、ツマリ鐵造タ著物ヲ是
ガ法律デカラ著ロト云テ命令ヲシテ居ルヤウナモノデ、已ム得ナイカラ窮屈ナ著物ヲ著
マセケレドモ、ヤハリ家ニ歸レバ袖ノアル著物ヲ著テ胡座ヲカキテ居ルト同ジデアリマシ
テ、之ヲ壓迫致シマシテ是レ以上ニ尙今日ノ曆ヲ實行シロト云フコトハ、ソレハ決シテ出來
モノデハナイ、又スベキモノデハナイ、宗教スラモ既ニ銘々ノ信仰ニ委セテ居ルノデアリマス、故ニ
日本ノ古來カラ起ッテ居リマスル所ノ風習ト相合致シテ貴ヒタイ、ソレヲスルニハ能ク調
査ヲシテ貴ヒタイ、今日ノ太陽曆ハツマリ羅馬法王「グリゴリオ」ノ行ッタノデアル、何モ
今日日本ガ此祖宗ノ神ノ日ノ神ヲ迎ヘテ居ッテ、サウシテ羅馬デ作りマシタ所ノ曆法ニ
從ッテ、ソレニ依テ此一年ノ間ノ日月ヲ借リテ何月何日ト書キマシタ「グリゴリオ」ヲ拵ヘ
マシタ所ノモノニ據ラナケレバナラヌト云フコトハナイ、併ナガラ世界共通ノ今日デアリマ
スカラ、日本デケケ別ニナルト云フコトハナカノ「ムツカシイカモ」知レマセヌ、之ヲ今日カラ直
ニ私共熱心ニソレヲ貴ヒタイと思ヒマスガ、ソレハ事實ノ上ニ出來ヌコトデアリマシ
テ、免ニ角是ハ十分ナ調査ヲ致シテ、既ニ歐羅巴ニ於テ曆法ノ改正マデ行ハレツ、集
會マデアルノデアリマスカラ、成ベクハ日本ノ此曆ヲ持出シテ、サウシテ日本ノ曆ニ依テ世
界ノ全體ガ日本曆ニ從フト云フコトニナリマスノガ、是ハ私ハ自然ノ道理ト思ヒマス、一
番先キニ日ノ現ハレハ國デアサウシテ我國ノ祖宗ハ日ノ神デアル、ソレナラバ此曆ヲ日本
ニ制定致シテ、サウシテ之ヲ世界ニ行ハシメルト云フコトハ、是ハドウシテモサウナルベ
キ當然ノコトデアル、最近政治上ニ一ノ惡口ト申シマスガ、或ハ惡口デナイカモ知レマセ
ヌガ、誠意ト云フコトハ一般ニ今日ハ申シマスガ、誠意ガナイト云フ——ケレドモ此誠
意ト申シマスコトハ日本ニ極ク古クアラリマスコトデ、是ハ決シテ他カラ人ニ責メラレ
コトデハナイノデアル、即チ誠ハ言扁ニ成ト云フ字ガ書イテ言フタ通りニ物ヲスルト云フコ
トデアル、上下心ヲ一ニシテ言フタ通りニ物ヲスルト云フコトハ、國民ガ相反シテ居リマシ
テ、サウシテ一面ニハ目出度イト申シテ居ルノニ、一面ニハマダ年ノ暮デアッテ出納勘定ヲシ
テ居ルト云フ有様デ、國民ガ一致致シマセヌ以上ハ、一國ノ上ニ於テ是ハ十分ナル結
合力ヲ以テ此國ノ勢力ヲ張ルト云フコトハ甚ダムツカシカラウ、セメテハ此調査ヲ進メラレ
テ、如何ニシテ宜カラウカト云フコトハ一ノ問題ニセラレテ、上下眞ニ心ヲ合セマシテ、
其方法ヲ執ッテ貴ヒタイト云フコトガ質問デ、希望ヲ合セテ其内容ガ如何ニナッテ居ルカ

調査ヲシテ貫ヒタイト云フノガ四十二年ノ建議デゴザイマス、其經過ガ如何ニナリテ居ル
カト云フコトヲ質問致スノデアリマス、ツレバ最近私ハマダ内容ヲ見マセヌガ、高橋源治
郎トカ申ス人カラ地球曆ト云フモノガ出テ居ルヤウデアリマスガ、是ハ中ハ讀ミマセヌカラ
其善惡ハ評セラレマセヌガ、追々此曆ノコトニ付テ一般ノ人ガ注意ヲ拂ヒ、氣ヲ付ケルヤ
ウニナリマシタノデ、非常ニ今日結構ナコトデアルト信ジマスガ、多ク集メ多ク此事ニ注
意致シマシテ、政府ガ力ヲ盡シマシタラバ、或ハ私ノ希望スル日本ノ曆ガ世界ニ行ハル、
ヤウニナラウト考ヘマスルカラ、政府ニ於テ調査ヲ進メラレマシテ、若シ都合ガ好ケレバ調査
會ヲ起シテ之ヲ調査セラレムコトヲ望ムト同時ニ、其成行經過ハ如何ニナリテ居ルカト云
フコトヲ質問シテ譯デアリマス（拍手起ル）

○小西和君 議長、チヨット質問者ニ質問ガゴザイマス、宜シウゴザイマスガ

○副議長（早速整肅君） 質問者ニ對スル質問デスカ

○小西和君 サウデス

○副議長（ツレハ許サナイ慣例デアル）ト呼フ者アリ

○小西和君 許サナイ場合モアルガ許シテ居ルコトモアル、絶對ニ許サナイト云フ慣例
ハナイト思ヒマスガ……

○副議長（早速整肅君） 質問ニ對スル質問ハ許サナイト云フコトノ慣例ニナッテ居リ
マス

○小西和君 許サレタ慣例モアルヤウデアリマス

○副議長（議長許サスト仰ツシヤレバ宜イノデス）ト云フ者アリ

○小西和君（早速整肅君） 御差控ヲ願ヒマス

○副議長（早速整肅君） 質問ニ對スル質問ハ許サナイト云フ慣例ニナッテ居リマス

○小西和君 許サレタル場合モ度々アルト思ヒマス

○副議長（早速整肅君） ツレモアリマスガ、ツマリ許サナイト云フ方ガ本式デアラウト思
ヒマス

○小西和君 宜ク御諷ヲ願ヒマス、保留シテ置キマス

○副議長（議長ノ權内ニ委ストト呼フ者アリ）
〔早川龍介君〕甚ダ何デゴザイマスガ質問ナラバ一言御許シテ願ヒタイ、或ハ宜ク
其御質問ニ據リマシテハ……ト呼フ

○副議長（早速整肅君） 免二角質問ニ對スル質問ハ許サナイト云フコトガ本式デアラ
ウト考ヘマス、貴族院提案ノ所謂妥協案ニ關スル質問、提出者清水市太郎君

二 貴族院提案ノ所謂妥協案ニ關スル質問（清水市太郎君提出）

○清水市太郎君 貴族院提案ノ所謂妥協案モ、即チ諸君ガ既ニ十分御審議ニ
ナッダ所ノ公債發行法案並ニ豫算追加ニ關スル貴族院ノ妥協案デアリマス、ツレニ關ス
ル質問デアリマシテ、十分既ニ質問ガアッテモ拘ラズ、本問題ニ付キマシテ政府ハ免角
明確ナル答辯ヲ避ケル、蓋シ答辯ガ出來ナイノデアラウ、若シ答辯ガ出來ナイノデア
ラバ宜シク其責ヲ引イテ處決スベキ所ノデアラウト思フ、然ラザレバ明カニ餘儀ナクシ
テ此ニ政策ヲ一變スルノ已ムヲ得ザルニ至リタル旨、男ヲシク説明シテ、當面ノ罪ヲ上
御一人及下國民ニ對シ謝スベキデアラウト思フ、然ルニ再三再四在野黨ノ諸君ノ質問
アルニモ拘ラズ、政府ハ明確ナル誠意アル答辯ヲ與フルノ勇氣ト德義トガナイ、故ニ本
員ハ今同質問ヲ繰返シヤウナ譯デ諸君ニ對シテモ氣ノ毒ニモ思フ、併ナガラ此ノ如ク
責任ヲ重ゼザル、此ノ如ク健忘症デアル所ノ數日前ニ申シタ事ハ數日後ニ翻シテ、一
向サウ云フ事ハ言ハナンドト云フヤウナ健忘症ノ内閣ニ對シマシテ、今二十七議會ノ終ラ

ントスルニ當ッテ、此質問ヲ本員ガ茲ニ繰リ返スノハ又誠ニ已ムヲ得ザルコト、御了承ヲ
願ヒタイノデアリマス、私ガ茲ニ最モ奇怪千萬ニ感ズルノハ、政府ハ此妥協案ヲ貴族院
カラ提出セラレタ、サウシテ之ニ應ジテ其提案ニ服從スルト云フコトヲ言ッテ、其結果茲ニ
衆議院ニ內閣債ヲ以テ外國債ヲ償還スルノ必要アル場合ニ於テ、國債整理基金法第五
條ノ規定ニ拘ラズ、借換償還ヲナスコトヲ得ト云フ法律案ヲ提出シタノハ天下公知ノ事
實デアル、又大正五年度一般會計法ニ於テ二千萬圓ノ內閣債ヲ募集シ、國債整
理基金ニ繰入レル追加案ヲ提出スルコト、此二條項ヲ衆議院ニ提出スルコトハ妥協
案ノ重ナル骨子デアル、ツレカラ附帶條項中ニ上記三項中ノ一ニ鐵道資金ハ其性質上
租稅ニ依ルベカラザルコトヲ希望條件ニ入レマシテ、サウシテ衆議院ニ公債償還ノ法案
及豫算追加案ト云フモノヲ提出シタニ違ヒナイ、然ルニ政府ハ之ヲ貴族院カラ餘儀ナ
クセラレテ、妥協案デナイ、政府自身デ出シタモノデアル、政府ノ考ニ依テ出シタモノデ
アルト云フコトヲ街ハウトスルノデアル、此ノ如キ事ハ實ニ男ヲシク公德ヲ重ズル政治家
ノ爲スベカラザル態度デナイカト思フ、大藏大臣武富時敏君ハ此壇上ニ於キマシテ、明
カニ妥協案ナドト云フモノハ政府ハ知ラナイ、内閣ノ關係ノ一二ト貴族院ノ一二ト
議員ト意志ノ交換ヲ計ッテ、サウ云フ事ガアッダカモ知レヌ、併ナガラ吾等トシテ吾等ノ内閣
トシテハサウ云フコトハ與リ知ラナイト云フコトヲ斷言シテ居ラレル、實ニ此點ガ奇怪千
萬ト私ハ思フノデアリマス、何ガ故ニ妥協シタナラバ妥協シタト明カニ言フノ勇氣ガナイ
カ、先キノ政策主義ハ非常ナル極端カラ極端マデ變更シタモノデアル、苟モ責任ヲ知ル
者ハサウ云フ態度ニ出アル筈ガナイ、總理大臣ハ此國債整理償還ニ關スル法律案ノ委
員會ノ第四回ニ於キマシテ、總理大臣ニ對シテ案審助君ガ質問ヲシテ居ル、其質問ニ
答ヘテ總理大臣ハ、ツレバ貴族院ノ初ノ主張ハ先ツ暫ク中止シテ希望ヲ述べテ將來ニ
譲リ、當年ノ豫算ハ内閣ノ意見其モノガ全部通過シタ譯デアリマス、而シテ臨機ノ處
分トシテ二千八百六十萬圓ニ更ニ二千萬圓ヲ増シテ償還スルト云フコトニナッテ、貴族
院モ満足セラレテ、即チ貴族院ノ内閣ノ意見此處デ一致シタ譯デアアル云々ト言ハレ
テ居ル、政府ハ而モ總理大臣ガ衆議院ノ法律案委員會ニ於テ言明シテ居ル以上ハ、
明カニ政府ト貴族院ト妥協シタト云フコトガ十分了解スルコトガ出來ル、ツレニ拘ラズ同
ジ内閣ノ列席セラレル重要ナル地位ヲ占メテ居ラレル武富藏相ハ、閣僚ノ一二ト貴族
院ノ議員ノ一二ト意見ノ交換ガアッダヤウデアルガ、自分共ハ一向知ラヌ、實ニ斯ル無
責任ナル言辭ヲ弄スルニ至ッテハ驚カザラ得ナイ、誰カ武富藏相ニ對スル演說中ニ白
シト言ヒマシテ、非常ニ武富藏相ハ眼ヲ赤ラシテ叱責サレマシタ、此ノ如キ事ガ白シ
イト言ハズンバ天下何レノ事カ白シイト云ヒマセウ、私ハ實ニ武富藏相ノ無責任ニシテ
其白シイトニ驚カザラ得ナイ、次ニ私ハ此妥協案ニ對シテ政府ニ質問シタイノハ、内閣
諸公ハ之ヲ以テ自分等ガ主張シテ居ル所ノモノヲ實行シタノデアル、主義政策ニ全然相
反スルモノデナイカ否、極端ノ非募債主義ヨリ極端ノ募債主義ニ一轉シタモノデナイカト
云フコトヲ質問致ス次第デアリマス、由來現内閣ガ組織セラレテカラ非募債主義ヲ標
榜シテ、即チ借金ハ一切シナイト云フコトヲ述べタ、サウシテ其下ニ、其結果トシテ鐵道
資金ヲ內閣債ニ據ルト云フコトモ是亦公債ヲ募集スルニ違ヒナイノデアルカラ非募債主
義ニ反スル、故ニ鐵道資金ノ融通ト雖モ尙且公債ヲ募集ルコトガ出來ル、極端ナル積
主義カラ極端ナル非募債主義ニナッテ、サウシテ一般會計カラ二千萬圓ヲ割リテ以
テ、其二千萬圓ハ諸君ノ御承知ノ通り公債基金五千萬圓以上トアルノヲ、三千
萬圓カラ茲ニ二千萬圓ヲ置イテ、其二千萬圓ヲ以テ鐵道資金ニ充當スルコトニナッ
テ、斯ノ如ク現内閣ハ非募債主義ノ消極主義ノ極端ヲ唱ヘマシテ、其結果ハドウナラウト
モ更ニ頓著ラセス、此主義ヲ保持シ此主義ヲ實行シ來ッタデアリマス、武富大藏大臣

モ質問ニ對シテ確カニ此主義政策ハ變ヘナイ、之ヲ實行シテ往クコト云フコト此壇上ニ於テ明言シテ居ル、此主義ニ對シテハ在野黨ハ反對シテ、政府ハ遂ニ之ヲ以テ不都合トシテ議會ヲ解散スルニ至ッタデアリマス、政府ハ當初以來之ヲ唱へ、議會ノ在野黨ハ反對シテ遂ニ解散セラレタ、斯ノ如ク政府モ在野黨モ共ニ重要視シテ、アル處ノ主義政策ハ唯今言フ通り次第アル、三十七議會ニ臨ムニモ政府ハ此主義政策ヲ以テ臨ム、即チ武蔵大藏大臣ハ此壇上ヨリ還元スルヤ否ヤ、即チ公債整理基金三千萬圓以上アルヲ五千萬圓以上ニ直シテ、二千萬圓復タ元ノ通り還スカト云フ質問ニ對シテハ斷シテ還元セヌ、斷シテ還元セヌト云フコト力ヲ入レテ此處言ハレタ、而シテ與黨ノ諸君ハ此主義ニ依リ此政策ニ基キテ出來タ所ノ豫算案ヲ贊成シテ、而シテ院議ハ此決シテ政府ノ主義政策ノ豫算案ヲ出來マシタ、ツレガ貴族院ニ過ツタ、貴族院ニ回シテ貴族院ノ反對ニ遭フヤ、忽チ政府ハ茲ニ從來ノ主義政策ニ反シタル、即チ先刻讀上ゲマシタ通り妥協案ニ服從スルニ至ツタ、此妥協案ナルモノハ、或ル部分ニ於キマシテハ貴族院ノ讓歩シタヤウニナツテ居リマス、其事實眞想結果ニ至ツテハ明カニ外債ヲ償還スル爲ニ内國債ヲ募集スルノデアアル、其内國債ヲ募集スル結果ハ非常ナ不利益ヲ來ス、先刻モ申シタ通り鐵道資金ハ租稅ヨリ來タル一般會計ニ財源ヲ取ラナイト云フコトモ變テ來テ居ルデアリマス、前ニ現内閣が當初ヨリ唱へテ表明シタル所ノ非募債主義、非募債主義ノ結果鐵道資金モ公債ニ依リ、租稅ニ依リ、一般會計ニ取ラス、斯ウ云フコト今貴族院ノ反對ニ遭フテ妥協案ト比較スレバ、自ラ其主義政策が如何ナルモノガ如何ナルモノニ變化シタルコトハ明瞭デアラウト思フ、讀者ヲ俟テ茲ニ明カデアラウト思フ、斯ノ如ク政府ハ主義政策ヲ一大變轉シタルデアリマス、而シテ其「一六主義政策ヲ變轉シタル」拘ハラス、主義政策ハ變ヘナイ、從來ノ方針デアハ所ガ當ラナイ、之ヲ變ヘタ時ニハ責任アル政治家、憲法政治家ノ國務大臣タル者ハ、潔ク冠ヲ挂ケテ辭職スルノガ憲法ノ慣例デアリマス、憲法政治家ノ國務大臣ノ責任デアリマス、然ルニ事茲ニ出デラレナイノハ抑憲法ヲ無視スルノカ、政治道德ヲ蹂躪スルモノト云ハナクハナラヌト思フ、而モ其主義政策ヲ一變シテモ責任ヲ一向持タナイ、斯ウ云フコトハ假ニ日本ノ如キ國ニ於キマシテハハル者ガアルト致シマシテモ、是ガ非常ナ又不利益大損害ヲ國家及國民ニ及ボシテ居ルコトハ見逃スカラザルコトデアアル、之ニ對シテハドウシテモ政府ハ重大ナ責任ヲ負フテ宜シ、天下ニ陳謝スル處ガナケレバナラヌト思フ、ツレハ申スマデモナク二千萬圓ノ英國公債ヲ今回新タニ還スコトガ、貴族院ノ妥協案ニ服從シテヤルコトニナリマシタ、其結果ガ今日英國ノ公債四分半利ト云フヤウナ安イ利息ノ公債ハ募レヌカラ、内國債ヲ募集シテ之ヲ支拂フニ當ツテハ五半以上ノ高利ノ公債ヲ募ラナケレバナラヌ、即チ高利ノ公債ヲ募テ低利ノ公債ヲ還ス、不利益ナル條件ノ下ニ公債ノ借換ヲ爲ス、斯ウ云フコトニナルデアッテ、既ニ數回論セラレタル通りニ國債整理還基金特別會計法第五條ノ規定ニ明カニ反シ、此精神ヲ根本ヨリ破壊シ没却スルハ行爲デアリマス、何人モ斯ノ如キ公債ノ整理スル、斯ノ如キ公債ノ借換ヲスルコトハ不利益デアアル、國庫ニ大損害ヲ及ボシ國民ノ負擔ニ重大ナル影響ヲ及ボスモノデアルト云フコトハ、一人トシテ異議ヲ言フコトハ出來ナイデアアル、即チ大藏大臣武蔵君ハ先般此壇上ニ於キマシテ、斯ノ如ク高利ノ公債ヲ借入レテ、斯ノ如ク低利ノ公債ヲ借換ヘルト云フ馬鹿氣タコト何人モ爲ス者ハナイ、併ナガラ今日ノ時局已メテ得ヌ、斯ウ云フ風ニ辯解シテ居ル、即チ武蔵藏相自身ニ於テモ是ハ實ニ天下ノ大馬鹿者ノ爲ス事タト云フコトヲ言明シテ居ルデアリマス、而シテ其大馬鹿者ノ爲ス事ヲ爲サナケレバナラヌカドウデアアルコト云フニ、サウ云フ事ヲ爲サヌデ、他ニ損害ヲ被ラズ、大馬鹿者ノ爲ス事ヲ爲サズシテ、此救済スルコトガ出來ルト云フ事情ガアリ

マス、事實ガ存スルデアリマス、然ルニ事茲ニ出スシテ好シテ大馬鹿者ノ爲ス事ヲ堂々タル帝國ノ大藏大臣武蔵君ガ爲サレニ至ツテハ、吾々在野黨トシテ國民ノ爲ニ默々ニ附シテ去ルコトハ出來ナイデアリマス（拍手起ル）ドウシテサウ云フ馬鹿氣タ事ヲ爲ヌデ出來ルコト云ヘバ、吾々ガ豫テ主張シ貴族院ガ又主張シタ如ク還元シテ、即チ三千万圓以上公債ヲ整理スルコト云フノ五千万圓以上ニ引直シテ、其引直シタ二千万圓ヲ以テ公債ヲ整理シテ往ケバ、則チ租稅ヲ以テ低利ノ公債ヲ還スニ過ギヌデアアル、而シテ鐵道資金ニ至ツテハ内地ニダグ付イテ居ル處ノ金融狀態ヲ利用シテ、募ツタ公債ヲ鐵道資金ニ充當スレバ是ハモウ損害ハナイデアアル、所ガ鐵道資金モ高イ利子デアリカスト云フカモ知ラス、併ナガラ鐵道資金ハ鐵道ノ收益ヲ以テ支辨シテ往クデアリマス、直接ニ國民ノ租稅ニ影響ヲ及ボサズ、一般會計ニハ關係シナイ、斯ノ如クシテ整理シテ往ケバ、少シモ國家ニ損害ヲ來サズ、國民ノ租稅負擔ニ重大ナル影響ヲ及ボサズシテ、此時局ヲ救済スルコトガ出來ル、貴族院ノ希望モ容レ國民一般ノ輿望ニ從フコトガ出來ルデアリマス、然ルニ事茲ニ出デテ政府ガ主義政策ヲ變更シタルコトハ何タルコトデアリマス、其原因ヲ考ヘレバ則チ政府ガ主義政策ヲ變更シタルコトハ體裁ガ惡イカラ、曖昧模稜ノ間ニ主義政策ヲ變更シテ、而モ變更セザルガ如クシテ此場合ヲ切抜ケヤウト云フコトガ、又自分等ノ先見ノ明ガ無カッタ、サウシテサウ云フコトヲナケレバナラヌヤウニナツタト云フコトヲ逃レヤウトスル爲メデアアル、言換レバ政府ノ體裁ヲ作リ面目ヲ裝ハウ爲ニ國庫ニ重大ナル損害ヲ來シ、國民ハ過重ノ稅ヲ負擔スル、斯ウ云フ犧牲ニナラネバナラヌ、國民ハ現内閣ノ體面ヲ裝フ爲メノ犧牲トナツテ、斯ノ如キ損失ヲ忍ビ、斯ノ如ク租稅ニ重大ナル惡影響ヲ及ボスコトヲ忍ベバナラヌ、斯ウ云フコトヲ私ハ義ニ一躍シテ飛込デシマツタト云フ、此所以デアアル、前ニハ鐵道資金ノ如キ收益アル事業ニ付テモ尙極端ノ公債ヲ募集シテ事業ヲ經營スルコトヲ避ケテシマツテ、如何ナル事業ニ向ツテモ公債ヲ募集シテ計畫スルコトハ往カヌト云ツタ、今ハ如何ナル損失ヲ忍ビシテモ如何ナル不利ノ條件ノ下ニモ、公債ヲ募集シテ公債ヲ借換ヘル、斯ノ如ク極端ナル非募債主義カラ極端ナル募債主義ニ飛入ッテ居ルデアリマス、而モ政府ハ之ヲ以テ主義政策ヲ變ヘタ事ハナイト爲スデアアル、主義政策ハ少シモ變ヘナイ言フノデアアル、又貴族院ノ妥協案ニハ決シテ應ジタノデアリナト云フデアアル、此點ハ私ハ明確ナル答辯ヲ政府ヨリ望ミシデアリマス、若シ答辯スルコトガ出來ナイナラバ宜シク責任ヲ負フテ處決スル所アルベキモノデアルト思フ、次ニ質問シタイト思フハ豫算ノ先議權デアアル、憲法第六十五條ハ豫算ハ先ニ衆議院ニ提出スベシト規定シテアル、其精神ハ諸君モ御承知ノ通りデアッテ、貴族院ト異リマシテ衆議院ハ實ニ國民ヲ代表スルノ府デアアル、諸君ハ一人毎ニ各、十五萬人宛ノ後ロニ代表人ガアル、諸君ノ一言ハ其十五萬人ノ言デアアル、此ノ如ク直接ニ國民ヲ代表スルノ府デアリマス、國民直接ノ負擔トナル所ノ租稅ヲ議シ豫算ヲ審議スルコト云フコトハ、先ヅ之ヲ衆議院ニ諮ツテ衆議院ノ意ヲ依ツテ決スベキモノデアアル、貴族院ノ如キモノハ此豫算問題ニ付テハ隸屬、唯附イテ行クベキモノデアアルガ原則デアアル、我帝國憲法ニ於テハ當ニ先議ノ權ヲ與ヘルノミデアリマス、於キマシテハ、實ニ豫算ノ審議權ヲ云フモノハ衆議院ノ殆ド占有ニ歸シテ居ッテ、豫算ヲ修正スル權利ハ衆議院ニハアルケレドモ、下院即チ衆議院ニハアルケレドモ、上院即チ貴族院ニハ修正スル權利ハナイ、審議スルノミデアリ、修正ノ權ハ與ヘテナイ、ツレ位此憲法政治ヲ完全ニ行ッテ居ル國ニ於テハ、豫算ノ審議權ニ付テハ下院即チ衆議院ノ占有二歸セシメテ居ル位ノモノデアアル、故ニ此豫算ヲ審議スル權利ト云フモノハ、我帝國憲法ニ於テモ主トシテ衆議院ニ重キヲ置イテ居ルコトハ明カナ話デアアル、又サウナケレバ

ラヌコトデアルト本員ハ信ズルノデアリマス、然ルニ今同貴族院ノ提案ニ係ル妥協案ヲ見
マスレバ、實ニ豫算ノ大修正デアデ、豫算ヲ折角審議セラレテ決定ラシテ廻ハサレタ所
ノ豫算ガ大修正ヲ受ケタ、即チ二千萬圓ノ收入ヲ一方ニ計リ一方ニ二千萬圓ノ支
出ヲ爲シテ居ルノデアリマス、而モ其收支ト云フモノガ現内閣ノ主義政策ニ全然反
シタ所ノ案デアル、サウシテ衆議院ノ院議ニ反シテ居ルノデアリマス、此ノ如キ妥協案ガ
出來マシテサウシテ此ノ如キ服從ラシテシマヒマシテ、果シテ衆議院ノ面目ヲ維持スル
コトガ出來マセウカ、衆議院ハ恰モ貴族院ニ隸屬シタルモノノ如ク、衆議院ハ表裏
反覆常ナクモデアル、衆議院ハアレドモ無キガ如クナラシマス、衆議院ノ信用ハ此
ニ於テ蕩然トシテ地ヲ拂ッテシマッタ状態デアルト言ハネバナラス、私ハ實ニ諸君ト共ニ衆
議院ノ爲ニ浩歎ニ堪ヘヌノデアリマス、天下ノ識者ハ何ト云フテ居リマス、速ニ衆議院ノ
信用ヲ恢復セヨト絶叫シテ居リマス、諸君實ニ政黨政治ノ差別ナク我衆議院ノ威
信ニ關シテ我衆議院ノ權威ニ關スル點ニ付テ、十分此點ニ熟慮アラントコトヲ切
ニ希望シテ已マヌノデアリマス、政府モ此ノ如キコトヲ敢テシ衆議院モ此ノ如キコトヲ敢
テ贊成ニナリ、衆議院ノ面目信用ト云フモノヲ此ノ如ク天下ニ落スコトヲ敢テシテ願ミラ
レナイト云フ譯デアアルマイト思フ、必ズヤ衆議院ノ爲ニ、憲法政治ノ爲ニ、天下國家ノ
爲ニ、國民六千万ノ爲ニ、諸君ハ心中ニ於テ大ニ反省シ静ニ考ヘラレタナラバ思ヒ半バ
ニ過グルモノガアルヲラウト思フ、要スルニ(簡單々々)ト呼ブ者アリ、貴族院ノ妥協案ナ
ルモノハ私ハ明ニ此憲法第六十五條ノ豫算先議權ニ觸レ、サウシテ此衆議院ノ面目ニ
關スルヤウナコトヲ、強イテ此處デアラネバナヌヤウナ状態ニ立至ラシメタ内閣及貴族
院モ亦其責ヲ分タネバナヌト思フ、貴族院ノ諸公モ自己ノ初メ言ヒ出シタ通り還元ヲ
主張シテ、鐵道資金ヲ一般會計ニ頼ラヌコトニシタナラバ、何モサウ云フ憲法違反トカ、
或ハ衆議院ノ豫算先議權ヲ蔑視スルヤウナコトヲセシテ濟ンダ、況ヤ國庫ニ重大ナル
損害ヲ來ス所ノ即チ不利益ナル條件ニ於テ、高利ナル所ノ金ヲ借りテ低利ナ公債ノ借
換ヲ行スルト云フヤウナコトヲ爲サズシテ、最初主張ノ如ク主張シ、最初考ヘタ如ク政府ヲ
シテ實行スルヤウニ迫ラレタナラバ、斷然執テ動カレヌナラバ、政府モ此ノ如キ不都合ヲ
爲サズシテ濟ミ、衆議院モ亦此ノ如キ信用面目ヲ落サユウナ決議ヲ爲サズシテ濟ンダア
ラウト思フ、此點ニ關シテ政府ハ憲法上ノ豫算先議權ヲ、此ノ如クシテ低觸スル所デア
リト考ヘハシナイカ、此ノ一點ヲ尋ネラレタナラバ、終リニ臨ミマシテ(簡單々々)ト呼ブ者ア
リ、貴族院ガ、貴族院ヲ満足セラレタサウシテ此妥協案ヲ出シタト云フコトニナラ居
リマスガ、ツマリ唯今申シマシタヤウニ、最初ノ主張ヲ主張セラレテ實行ヲ期セラレタナ
ラバ、今ノヤウナ憲法ニ觸レルコトモナク、又國民ノ不利益ニ歸スルコトモナシニ終ラ
ウト云フコトハ、貴族院ノ爲ニモ惜ムノデアリマス、此二點ニ對スル政府ノ所信政府ノ
辯解答辯ヲ望シテ、此二十七議會ノ終リニ臨ミマシテ私ハ諸君ノ繰返サレタコトヲ繰
返シテ、御聽苦シカタクモ知レマセウカ、現内閣ノ如キ唯今申シマシタヤウナ無責任ナル
健忘性ノ内閣ニ對シテハ、何デモ已ムヲ得ヌカラ此質問ヲ繰返シタ次第デゴザイマス、
吾ハ國民ヲ代表シ吾ハ一人ノ後ロニ各十五万人ヲ控ヘテ居ルト云フコトデ、職責
上已ムヲ得ヌコトデアリマスカラ是ハ御了承アリタイ(拍手起ル)

然間島協約ヲ固執シ鮮人ニ對スル法權ノ執行ノ毫モ從來ト異ナラズ最近ニ至リ極
力歸化ヲ勸誘シ應ゼル者ニハ土地所有權ヲ付與セヌ無法ノ壓迫ヲ加ヘ帝國ノ權
利ハ殆ド無視蹂躪セラル、カ故ニ六十萬ノ在住鮮人ハ進退兩難ノ苦境ニ陷レルモ
ノ、如シ故ニ新條約不實行ニ對シ悲觀怨嗟ノ聲高シ已ニ支那ニ入籍手續ヲ爲セルモ
ノ約五六千名ニ上リ尙續々出願者多シ間島ハ滿蒙ニ於ケル鮮人發展上最上ノ足場
ナリ故ニ此地ニ於ケル新條約ノ得喪ハ在滿五十萬朝鮮人ニ影響スルコト多大ナリ
ト云フ全文デアリマス(拍手起ル)

○副議長(早速整爾君) 次ハ輕便鐵道建設ニ關スル再質問、提出者根本正君

四 輕便鐵道建設ニ關スル再質問(根本正君提出)

○根本正君 諸君、輕便鐵道建設ニ關スル再質問ヲ致シマスガ、本員ハ我帝國ノ政治
ガ總テ事ト云フコトデアリマス、洵ニ國家ノ爲ニ悲ム所デアリマス、先刻來高木君ガ議
事進行ニ付キマシテモ申サレマシタガ、二十五件ノ中、僅ニ貴族院ニ於キマシテハ三
件外可決シナイト云フコトデアリマス、是ハ洵ニ尤モ事デアラウト思フデアリマス、何
故ナラバ政府ノ爲ニ所云フ所十ノ七八ト云フモノハ虛偽デアリマス(ヒヤ／＼)ト呼ブ者
アリ、故ニ國家ノ爲ニ貴族院ニ於テ鄭重ニ調ベル爲ニ此ノ如クナルデアデ、若シモ此
内閣ガ先刻御話ニナリマシタ中ニ、誠意ト云フコトヲ解釋ガアリマシタ、言ベニ成ルト
云フ所謂言行一致デアル、所ガ此内閣ハ獨リ武富時敏君ガ虛偽ノ答辯ヲスルノミナラ
ズ、凡ソ政府委員タル者ハ皆トハ申サレマセウカ、虛偽ノ答辯ヲヨリ郡山地方ニ
達スル所ノ輕便鐵道ノコトニ付テ質問ヲ致シマス、此鐵道ハ最も必要ナルモノデアデ、
此福島縣ノ地方即チ東館ナント云フ所ヨリ東京ヘ輸出スル品物ヲ、十里即チ二十哩
北ヘ白河方面ニ持出シ、又白河方面ヨリ東京ヘ輸出スル品物ヲ、十里即チ二十哩
地方ヨリ東館及棚倉地方ニ往復スル所ノ此貨物ト云フモノハ、日ハ百五十車アルノデ
アリマス、併ナガラ此鐵道ノナイ爲ニ百五十車ノ荷物ト云フモノガ毎日四十哩ヅ、無益
ノ時間ヲ費シテ居ルノデ、サウシテ此鐵道ト云フモノハ國力發展ノ上ニ重大ナル關係ガ
アル、故ニ明治四十四年ニ於テ此帝國議會ハ可決シ、即チ鐵道院ニ於キマシテ四十
四年ニ測量ヲ爲シ、大正三年ニ於テ又實測ヲ、其一部分即チ此再質問ニアル所ノ勝
田大宮間ト云フモノハ實測ヲシタモノデアリマス、私ガ何故ニ虛偽ノ答辯ヲスルカ、何
故ニ現内閣ノ人ハ早ク言ヘバ嘘ツキデアルカト云フナラバ、決シテ前々内閣ノシタ事
デハナイデアル、即チ現内閣デアリマス、昨年ノ五月ノ一日ニ其後ノ鐵道院總裁仙石
君ハ是ハ架ケベキモノデアルト云ッテ、此官報ヲ以テ勝田大宮ト云フ間ヲ布告サレマシ
タ、其結果數萬圓ノ金ヲ費シテ即チ豫算ニモ載ツテ居ルモノデアリマス、大正四年ノ
豫算ニモ載リ續イテ豫算ニ組ンデアル、所ガ豈圖ランヤ昨年ノ十二月以來、安田某ニ此
私設鐵道即チ水戸鐵道ニ許ス、故ニ此鐵道ト云フモノハ著手スルコトハ出來ナイト云
フコトニナツタ、是ハドウデアリマセウカ、是ハ決シテ公約無視朝令暮改ナイト言ハレ
マセウカ、是ハ先ノ内閣デアリマセウカ、即チ大隈内閣ノ内閣、昨年ノ五月ノ一日ニ此
官報ヲ以テ告示サレタ所ノ此勝田大宮間ノ鐵道ト云フモノヲ、私設水戸鐵道即チ安
田某ノ鐵道ニ許サンケレバナラヌト云フコトデアルノデアル、ウレモ宜シイケレドモ私ガ聞キ
マス、政府ニ聞キマシタハ是ハ出願ノ結果前ノ政府ガ運動ノ爲ニ此ノ如キ方針ヲ
執ルデハナイカト云フコトヲ尋ネタデアリマス、今日此ニ尋ネルハ水戸鐵道株式會社
ノ出願書ハ、地方廳ニ於テ何月何日之ヲ受理シ、何月何日之ヲ地方廳ヨリ鐵道院ニ
廻シタカト云フコトヲ聞クノデ、ドウ云フ譯デアルカト云フナラバ、實ニ驚クベキコトハ鐵道
院總裁添田君ハ此出願書ノ出ナイ中ニ許スト云フ方針ヲ持ツテ居ルノデアル、是ハドウ

○副議長(早速整爾君) 次ハ間島ニ於ケル帝國ノ威信ニ關スル質問、提出者早川

龍介君

二 間島ニ於ケル帝國ノ威信ニ關スル質問(早川龍介君提出)

○早川龍介君 度々諸君ヲ煩ハシマシテ、今度ハ演說ヲ致シマセズ、信用アリマスル
間島ノ私ノ友人カラ電報ヲ送リマシタ其全文ダケ讀ミマシテ、ウレデ此質問ノ電文カラ
生レテ來タコトヲ御了承下サレタイ
間島鮮人ノ興廢ハ新條約ノ確實ニ施行セラルト否トニ懸ル然ルニ支那官憲ハ依

云フ譯デアリマセウカ、是ハ決シテアルベカラザル所ノ事柄アルノデアル、既ニ内閣ガ決シ官報ヲ以テ告示ヲ爲シタル數方圓ノ金ヲ使テ、一通リノ測量ノミナラズ實測マデモシタ所ノモノヲ、此富豪タル金力ノ爲ニ方針ヲ變ヘルト云フコトハ、實ニ言葉ヲツンデ申シタナラバ實ニ是ハ言葉ノ出シヤウモナイト私ハ信ズルモノデアリマス、此出願ト云フモノハ十二月ノ二十一日ノ日付デアルト云フコトモ分テ居ル、而シテ此出願ハ東京府ヘ出サレテ茨城縣ニハ一月ノ六日ニ廻サレタモノデアアル、然ルニ其出願ノ以前十二月ノ二十日以前ニ於テ、是ハ安田某ハ許サシケレバナラヌト云フ方針ヲ執ラレタト云フコトハ、實ニ奇怪千萬デアリマセウカ、デアリマスカラシテ地方廳ヨリ何月何日鐵道院ガ受理シタカト云フコトヲ私ハ聞クノデアル、是ハ即チ運動ノ結果デアリマス、所謂金力ノ運動ノ結果デアリマス、私ハ實ニ悲ム、國民ノ爲ニ悲ムノデアリマス、昨日モ此議場ニ於キマシテ岡崎久次郎君ガ叫ンダ、富豪ノ爲ニ法律ヲ掙ヘテ此鐵道ノ租稅ヲ上ゲル、之ガ爲ニハ六千萬餘ノ人ガ非常ニ困難ヲスル、貴族院デハ必ズ之ヲ通過サセマイト云フ所ノ意味ヲ以テ御演說ニナリマシタ、此ノ如キ法律案ガ續々出テ殆ド虛偽的ノ政策ヲ致スニ至テハ、貴族院ニ於テ之ヲ擯ミ殺シマスルノ當リ前デアルト私ハ信ズル者デアリマス、諸君此安田某ナル人ガデス、此鐵道ハ六箇年前ニ既ニ議會ニ於テ決シタルモノデ、政府ガ數方圓ノ金ヲ出シテ測量シタモノヲ唯取ルト云フコトニナリマスレバ、吾々國民ハ膏血ヲ拂ッテ此富豪ヲ益シ富豪ニスルト云フコトニナテ來ルノデアリマス、實ニ是ハ容易ナラヌ問題デアリマス、又私ガ前日ノ質問ニ申シマシタガ、添田君ハデス、興業銀行ノ金ヲ僅ニ二萬五千圓テ買ツタル所ノ金山ハ二百七十萬圓貸シテ、ツレガ爲メニ國庫カラ六百萬圓借りテ、サウシテ吾々國民ノ損害六十箇年ノ間三百萬圓ノ損害ヲ受ケ、日本國民一名ニ付テ二十錢宛此興業銀行ノ爲メ損害ヲ受ケタコトハ明カデアリス、誰ガ貸シタノデト呼フ者アリ、政府ガ貸シタ、政府ハ誰ノ政府デト呼フ者アリ、政府ハ日本帝國ノ政府デアアル、天皇陛下ノ政府デアアル、大藏大臣ハ誰デト呼フ者アリ、又安田某モヤハリ國家ニ大損害ヲ與ヘテ居ルトコロノデアリマス、ヤハリ六百萬圓ノ關係ガアル、是ハ此興業銀行ニ關係シナイモノノ六百萬圓デアアル、實ニ六百萬圓ガ二八集ッテ此鐵道ヲ壞スト云フヤウナコトデ、御承知デアリマセウ、明治三十七八年ノ役ニ於キマシテ大阪ノ某銀行、諸君御承知ノ通り失敗ヲ致シマシテ、六百萬圓ハ時ノ政府ガ安田某ト共謀シテ政府ガ貸シタノデアアル、其時ノ金高ハヤハリ六百萬圓、此度ノ興業銀行ト同ジ六百萬圓ノ金額デアリマス、此度ハ百圓ニ付テ一箇年利子ガ二朱デアアル、之ヲ七朱、百圓デ七圓取ツタナラバ百圓デ五圓儲カルカラ、年ニ三十萬圓、十年ニ三百萬圓儲カル、是デケノ金ガ吾々ノ懐カラ出シタ譯デアリマス、又此日露戰爭ノ結果大阪ノ百三十萬圓ガ失敗シタ時ニ、政府ガ六百萬圓貸シタ、其時ニ三朱デ誰ニ貸シタコト云ヘバ此鐵道ニ關係スルトコロノ安田一人デアリマス、是ガ即チ三朱デアリマスカラ、其時分ハ八朱ノ利子デアアル、ツレデカラヤハリ同ジコトデ百萬圓デ年々五萬圓デカラ五六、三十萬圓、是ガ十箇年貸付ケタカラ二百萬圓吾々國民ガ支出シテ居ル、能ク揃ヘバ揃フモノカ、興業銀行ノ失敗カラモ三十錢稅ヲ掛ケラレタ譯デアアル、斯ノ如ク富豪カラ吾々ハ三十錢宛前後六十錢宛吾々國民、日本帝國六千萬ノ人民ハ一百六十錢宛損害ヲ受ケテ居ル、皆サン方ガ既ニ此帝國議會ニ居リテ定テ此輕便鐵道ハ、今將ニ覆ヘサレントスル勢ニナッテ居ル譯デアリマス、故ニ本員ノ承リタイコトハ鐵道院ハ何月何日此出願書ヲ手ニ入レタカ、而シテ手ニ入レザル前即チ此出願ノ日附ハ十二月二十一日デアリナガラ、鐵道院總裁添田君ハ十二月十五日頃ニ之ヲ許可スル方針ヲ極メタト云フノハ抑、何事デアリマセウカ、必ズ許スベカラザル所ニ許シ、秘密ナル言葉ヲ取換セ、恐ラクハ柔ガナ手デ以テ背ヲ叩カレタ結果デアラウト私ハ思フノデアリマス、決シテ是ハ吾々國民トシテ許スベカラザル所ノ大罪ガ之ニ籠リテ居ルト思フノデアリマス、故ニ何日ニ此出

願ガ出テ、サウシテ此民業ヲ壓迫スルコトガ出來ナイトカ、或ハ此會社ガ大ニ影響ヲ受ケルカト云フヤウナコトヲ以テ、今日ハ之ヲ延期サセ、或ハ許可ニスルト云フノハ、此内閣ガ昨年五月一日ニ告示ヲ以テ是ハ爲スベキモノデアルト云ッテ數方圓ノ金ヲ掛ケテ測量シタモノガ、僅ニ四箇月又ハ五箇月ノ後ニ、之ヲ他ノ方ニ許可シナケレバナラヌト云フコトハ實ニ是ハ虛偽デアリマセウ、是ハ決シテ朝令暮改ナイト云フコトハ言ハレナイ、變節改論ト云ッテ宜イコトデアラウト思フノデアリマス、私ハ實ニ悲ム、此鐵道ハカリナラ宜イケレドモデス、此外ノ大事、國家ノ大事、或ハ外交ノ如キニ至テ、斯ノ如ク朝令暮改ガアツタナラバ日本帝國ハ如何ナルヤウニナルカモ知レマセウ、是ハ決シテ此一事ヲ以テ朝令暮改デアルト云ッテツレデ足リルモノデナイ、或ハ英吉利ニ對シ、支那ニ對シ、或ハ亞米利加ニ對シ虛偽ノ言葉ガアツタナラバ、如何ナル結果ヲ見マセウカ、全體偽虛ト云フモノハ竊盜ヨリ罪ガ重イ、強盜ヨリ罪ガ重イノデアリマス、是ハ文明國デ言フ「ライヤア」是ハ虛偽ヲ言フ人ト云フコト、之ヲ直譯シタナラバ大限内閣ト直譯ガ出來ルカモ知レン、實ニ此内閣ハ虛偽ノ内閣「ライヤア」デアリマス、諸君、第二ノ質問ハ政府ノ大正三年度ニ於テ同時ニ發表セラレタル輕便鐵道十線路ノ中、大曲盛岡間、及河邊木造間ノ二線路ハ大正五年度ニ於テ起工セザルコトニ決定シ、又勝田大宮間ハ水戸鐵道株式會社出願ノ當否決定迄、其起工ヲ延期スト答辯セリ、政府ハ何故ニ是等東北地方ノ分ノミニ對シ起工ヲ中止シ又ハ延期スルノ方針ヲ執リタルカ、又此ノ方針ハ偏重偏輕ノ政策ニシテ鐵道國有ノ趣旨ニ悖リ、立憲政治ノ大主義ヲ沒却セルモノト思ハザルヤト云フ問題デアリマス、大宮勝田ハカリノモノヲ延スノデナイ、甚シキニナルト十線路ヲ大正三年度ニ於テ豫算ニ於テ敷設スルト、明白ニ政府委員即チ當局者ガ明言サレタニモ拘ラズ、此鐵手縣ヨリ山形縣ニ互ルトコロノ盛岡大曲ノ鐵道ヲ起シナイト云フニ至ッテハ、勝田大宮ヨリ尙更ニ私ハ罪ガ深イト思ヒマスノミナラズ、青森縣河邊木造間、是モ起工シナイ、ドウデアリマセウ、是等何レノ地方デアルカト云ヘバ皆東北デアアル、皆東北デアリマス、ドウ云フ縣ガ現内閣ニ於テ一逼決シタモノヲ又之ヲシナイト云フヤウニスルカト云ヘバ、東北デ茨城縣、福島縣、巖手縣、山形縣、青森縣、此五縣、マルデ北方ノ地方ノミヲ止メル、或ハ延期サセテ、總裁自身ノ出テ居ル所ノ南方ヘ其金ヲ使ハセントスルヤウナコトハ、實ニ立憲政治ニ悖リテ居ルトコロノデアリマス、鐵道國有ノ趣旨タルヤ、是ハ日本ノ全國ニ普及スル事業デアアル、所謂國民教育ト同ジ趣旨デナケレバナラヌデアリマス、然ルニ政府ハ偏重偏輕ノ處置ヲ執リ、若シモ今年出願ノモノニ對シ許可シナイト云フナラバツレデ宜シイ、偏重偏輕ト云ッテモ其位ナラバ見道スコトガ出來マスガ、苟モ官報ヲ以テ天下ニ公布シ、六千萬ノ人ガ之ヲ信用シテ居タモノヲ之ヲ中止スル、學校ノ生徒ハ何ト申シマセウ、政府ノ當局ハ皆嘘者デアアル、今日ノ大臣ハ皆嘘吐キデアアル、今日ノ鐵道院總裁ハ虛偽者デアルト云フコトニナリマシタナラバ、其結果ハ我帝國ノ教育ニ付テ大ナル關係ヲ及ボシ、實ニ國家ノ一大問題デアルト私ハ信ズルモノデアリマス、是ハ決シテ偏重偏輕ト云フコトガ言ヘナイ譯ハナイノデアアル、常ニ吾々國民ハ租稅ヲ出シテ居ル、租稅ヲ出シタ以上ニハ公平ニシテ貰ハナケレバナラヌデアリマス、殊ニ此勝田、大宮間ノ鐵道モ僅カニ政府ノ調査ニ依リマスト三萬圓餘リデ出來ルノデアアル、然ルニ一方ノ所謂南方ノ地方ニハ十五萬圓モ掛ルトコロノ鐵道ヲスルト云フコトニナッテ居リマス、之ヲ以テ見デモ決シテ偏重偏輕デアナイト云フコトハ言ハレナイ、所謂十人ノ子供ヲ持ッテ居ッテ、其中ノ二人ニハ今日食物ヲ與ヘナイ、即チ盛岡大曲間ハ食物ヲ與ヘナイ、河邊木造間ハオ前ニ食物ヲ與ヘナイ、又勝田大宮間ノ鐵道ニ對シテハモウ一二十日間食物ヲ食ハセナイデ居ルト云フヤウナコトデアリマス、先刻モ五箇條ノ御誓文ニ付テ早川君カラ上下心ヲ一ニシト云フ御言葉ガアリマスガ、斯ノ如キ虛偽ノ政策ヲ以テ吾々國民ガドウシテ心ヲ一ニスルコトガ出來マセウカ、諸君、鐵

道ノ事ハ殊ニ國家ノ經濟ニ大關係ガアリマスル、既ニ此中央集權ヲ以テ鐵道ニハ既ニ十億方モ吾々ハ金ヲ出シテ居ル、其金ノ大ナルモノハドウ云フ處ニ使ハレテ居ルカト云フト、中央ノタメニ使ハレテ居ル、譬ヘテ申サバ此東京ノ高架鐵道——此高架鐵道ナルモノハ誰ガ造ッタカ、即チ諸君ガ造ッタデアル、彼ノ高架鐵道ハ新銀座カラ僅ニ二哩半ハカリテ千二百八十二万四千圓ノ金ヲ出シテ置イテ、一哩三百八十二万九千圓掛ッテ居ル、一哩三百八十二万九千圓掛ッテ、此勝田大宮間ノ鐵道ハ政府ノ調査ニ依レバ高架鐵道ノ一哩ノ費用デ百哩モ出來ルコトニナッテ居ル、ドウデアリマスカ、地方ヨリ此東京或ハ此度出來ル所ノ函根山ノ工事ノ如キハ一哩七十萬圓デアリマス、東京ノ如キハ一哩三百八十二万九千圓デアル、斯ノ如キ租稅ヲ吾々ハ汗ヲ流シテ出シテ居ルデアリマス、此廉キ鐵道ノミナラズ、一遍告示シタモノヲ今日中止スルト云フヤウナコトハ爲スベカラザル政府ノ仕方デアルト私ハ斷言ヲ致ス、必ズ是ハ偏重偏輕デアルト云フコトヲ明言シテ告白シテ置キマス、諸君、第二ニ聽キタイ事ハ勝田大宮間建設費ハ一哩平均三万七千八百七十九圓ニシテ、高知須崎間ハ三万五千二百一圓ナリ、而シテ此建設費ニ對スル收益ノ割合ハ二分四厘九毛ニシテ後者ハ四厘七毛ナリトセバ、勝田大宮間ハ高知須崎間ニ比シ其ノ收益五倍三分ニ上ル有利ノ線路タルコトハ明ナリ、然ルニ之ガ起工延期シ其ノ收益僅ニ四厘七毛ニ過ギザル線路ヲ起工セムトスルハ、鐵道國有以來其ノ前例ヲ見ズ、政府ハ之ヲ以テ尙偏重偏輕ニ失セズ又公約ヲ無視シタルモノニ非スト爲スヤ」私ハ敢テ此利益ノ出ナイ南ノ方ノ鐵道ヲ御造リナサヌ方ガ宜イト云フノデハナイ、ヤハリ御造リナサル方ガ宜イ、高知ノ鐵道大體成デアリマス、併ナガラ同ジク發布シテツレヨリモ五倍ハ倍ノ利益ノアル勝田大宮間ノ鐵道デアリマス、是ハ南ニ造ル鐵道ハ百圓掛ッテ四十錢シカ儲カラヌ鐵道デアル、然ルニ此勝田大宮間ノ鐵道ハ百圓使ッテ五圓二十錢儲カル鐵道デアル、是ハ政府ノ答辯中明カナル計算デアリマス、其他一厘モ利益ノナイ鐵道モ架ケル場合モアルノデカラ、決シテ私ハ此既定ノ問題ニ付テ反對スルノデハナイ、ケレドモ僅ニ四十錢利益ノアル處ヲ拵ヘテサウシテ五圓二十錢利益ノアル處ヲ拵ヘナイト云フコトハ實ニ偏重偏輕此上ナシ、虛偽ノ政策此上ナシ、朝令暮改ノ政策此上ナシ、變說改論ノ政策ニシテ人民ノ信用ヲ失スル政府此上ナシト私ハ斷言シテ憚カラヌデアリマス(拍手起ル)諸君終リ今一ツ質問シタイ、「勝田大宮間線路ハ水戸鐵道既成線ニ對シ多大ノ影響ヲ及ボスモノアリト」理由ヲ以テ其ノ起工延期セリト雖モ是レ全ク其ノ實況ヲ知ラズ徒ラニ私人ノ運動ニ重キヲ置キタルモノト爲サル、ヲ得ズ蓋水戸鐵道ハ南ヨリ北ニ延ビ勝田大宮間ハ東ヨリ西ニ走ルヲ以テナリ政府ハ之ヲシモ尙多大ノ影響ヲ及ボスモノトナサヌヤ」ト云フノデス、政府ハ之ヲ官設ニシナイデ、一遍決定シタモノヲ國有ニシナイノデ、此水戸鐵道ヲ即チ安田一派ニ許スト云フコトハ何ガ理由デアルト云フナラバ影響ガアル、之ヲ拵ヘラナラバ多大ノ影響ガアデ此既設鐵道ガ困ルト云フ、是ハ以テ外テ怪シイコトデアル、彼ノ鐵道ハ御承知デアリマセウカ、水戸ヨリ此瑞龍山ト云フ水戸家ノ御墓ノアル方ハ、北ニ進ンデ居ル處デアリマス、或ハ御西山ノ方ニ北ニ進ンデ居ル處デアリマス、此勝田大宮間ハ湊即チ東太平洋ノ海岸ヨリ西ニ進ンデ遙ニ四十五哩間ヲ通ッテ、即チ彼ノ海岸線ト奥羽線ト四十五哩ノ鐵道ノ無イ處ヲ通ッテ往クノデアデ、決シテ大田鐵道即チ水戸鐵道ニハ何等關係ガ無イノデアリマス、成程其道ヲ橫ルカラ或ハ五人十八人ハ此方カラ乘ル者モアリマセウカ、一ハ東カラ西ニ往ク鐵道デ、一ハ南カラ北ニ往ク鐵道デアリマスカラ、是ハ決シテ深イ關係ハ無イ、此無イモノヲ有ルト云フ、且ツ此水戸鐵道ナルモノハ幾哩願ッテ居ルカト云フト、僅ニ八哩五十鎮ノ小サナモノデアル、然ルニ此鐵道ハ水戸ヨリ郡山間八哩以上デアアル、政府ハドウ云フ答辯ヲシテ居ルカト云フト、此八哩五十鎮ヲ許シ若シ宜カッタラバ、更ニ延長ヲ許スト云フ答辯ヲシテ居ル、是ハ實ニ國有鐵道ノ主義ニ相反シテ居ルモノデ

アル、例ヘバ東京ノ上野ヨリ浦和マデハ私設ヲ許シ、浦和ヨリ仙臺マデハ官設ニスルト云フガ如キハ、恰モ自分ノ咽喉元ヲ私設ニシテ足ノ方ヲ官設ニスルト云フヤウナ譯デ、サウ云フコトハ出來得ベカラザルコトデアル、實ニ虛偽デアル、三歳ノ童兒ト雖モ恐クハ是等ノ答辯ヲ信ズル者ハ我が日本帝國ニハ決シテ一人モナイノデアリマス、是レ即チ安田某ノ罪デアル、意味アル激烈ナル運動ノ下ニ成立ッタコトデアル、政府ハ速ニ過ッテ改ムルニ憚ルコトナカレト云フ格言ニ依ッテ、此鐵道ヲ延期セズ、既ニ此内閣ガ五月一日ヲ以テ官報ハ公布セラレタル通り之ヲ實行スルコトガ當然ト本員ハ信ジマス、故ニ唯今質問致シマシタ此四箇條、即チ決シテ影響スベキモノデハナイ、是ハ偏重偏輕デアルカラ偏重偏輕デアリヤウニシロト云フ此質問ニ對シテ、明瞭ナル御答辯ヲ與ヘラレ、此疑惑ヲ齊サズンバ將來地方ノ人民ガ帝國政府ニ對シテ、實ニ虛偽所謂詐僞ト云フヤウナ文字ヲ使フヤウニ至ルカモ知ラズト私ハ思フノデアリマス、シテ見マスルト云フ決シテ現内閣ノ罪ノミナラズ、即チ日本帝國ノ政府デアリマス、日本帝國ノ名譽ニ關シ、其關係大ニシテ遂ニ列國ニマデ關係ヲ及ボスコトガアリマスカラシテ、政府ハ從來言行一致ヲ以テ政策ヲ執ラレシコトヲ本員ハ切ニ望ミ、此質問ニ明瞭ナル答辯アラフコトヲ望ム

○望月圭介君 昨日小泉君ノ發議ニ因テ留保サレテ居リマスル問題ニ付テ、發言ヲ求メマス

○望月圭介君 保留セラレテ居ルモノデス

○副議長(早速整肅爾君) 後ニナサッタ如何デアリマスカ——質問ヲ進メセウ、五、富士山阿祖谷元宮小室淺間神社社格奉祀ニ關スル質問

五 富士山阿祖谷元宮小室淺間神社社格奉祀ニ關スル質問

(牛田唯一君登壇)

(拍手起ル)

○牛田唯一君 諸君、私ノ質問ハ富士山阿祖谷元宮小室淺間神社社格奉祀ニ關スル質問デアリマス、曩ニ大正三年二十一議會ニ此神社ノ氏子其他ノ人民ヨリ本院ニ社格奉祀ニ關スル請願ヲ提出致シマシタデアリマス、同時ニ其趣意ヲ政府ニ陳情致シデアリマス、當時本院ニ於キマシテハ其請願ヲ容レ之ヲ政府ニ送付致シタデアリマス、然ルニ爾來今日ニ至ルマデ何等之ニ對シテ詮議ノ沙汰アルコトヲ聽キマセヌデアリマス、政府ハ氏子及多數人民ノ陳情ニ對シ、殊ニ衆議院ノ議決ニ對シ、果シテ相當ノ調査ヲ進メラレタデアリマセウカ、此事ヲ聽キタイノデアリマス、又該神社ハ社格ヲ以テ奉祀スルニ適當デアルヤ否ヤト云フコトヲ政府ニ御尋ヲ致シ、之ニ對スル政府ノ所見ヲ確メタイノデアリマス、此質問提出ノ理由ハ大要此主意書ニ掲ゲテアリマス爲ニ、此ニ說明ヲ省キマス、右ニ對シテ政府ノ誠意アル答辯ヲ希望致シマス(拍手起ル)

○副議長(早速整肅爾君) 六「ジフテリヤ」血清試驗ニ關スル質問、提出者綾部惣兵衛君

六 「ジフテリヤ」血清試驗ニ關スル質問(綾部惣兵衛君提出)

(綾部惣兵衛君登壇)

(拍手起ル)

○綾部惣兵衛君 諸君、私ノ質問ハ極メテ簡單ナモノデアリマス「ジフテリヤ」血清試驗ニ關スル質問デアリマシテ「ジフテリヤ」血清ハ多クノ血清中最モ效力ノ著シキ血清ガアリマス「ジフテリヤ」血清ガ發明セラレマシテ以來「ジフテリヤ」テ倒レル者ハ少數ニナタト

云フ事實アリマス、然ルニ此血清製造が會テ内務省所管ヲ傳染病研究所デ以テ之ヲ製造シタルノデアリマス、之ヲ文部省ノ所管ニ移シマシテ大學ニ傳染病研究所ヲ設ケラレ、大學ニ於テ之ヲ製造スルコトナリマシテ、以來、大學ノ傳染病研究所ニ於テ製造スル外ニ、北里博士モ亦私設ノ傳染病研究所ヲ設ケラレマシテ、此私設ノ傳染病研究所ニ於テモ血清ヲ製造サレテ居ルノデアリマス、尙北里博士ノ以外ニ他ノ博士モ亦之ヲ製造シテ居ラル、ノデアリマス、要スルニ血清製造が官設ノモノナラズ、私設ニ於テ製造セラル、コトニ相成リマシタト同時ニ、此血清ノ效力ニ就テ往々疑が起テ來タノデアリマス、現ニ本會ノ會議ニ於テモ本會ノ委員會ニ於テモ斯道ニハ最モ堪能ナル最モ御熱心ナル杉山代議士ノ如キハ、此問題ニ就テハ詳細ナル質問ヲ政府ニセラレタコトモアルノデアリマス、其杉山代議士ノ質問ノ御趣意ニ依リマシテモ、政府ノ血清ニ就テ其效力ヲ稍々疑ケルカノ如キ語氣モ現ハレテ居タコトモ、本員承知致シテ居リマス、更ニ杉山代議士ノ質問ナラズ、世間ニ於テモ此血清ノ效力ニ就テ往々疑が起テ來タノデアリマス、若シ此ノ「シフテリヤ」血清ノ如キ有效ナル血清ニシテ、一度效力薄キト云フヤウナ事ガアリマシタナラバ、實ニ國家衛生ニ取リマシテ由々キ大事デアリマス、此ノ血清ノ效力ノ有ルト無イニ就テハ實ニ衛生上ノ重大ナル所ノ問題デアリマス、然ルニ近來私が承ハル所ニ依ルト、政府ニ於テハ血清ノ性質ヲ十分ニ検査スル爲ニツレ、検査試驗ヲ行ヒ、而シテ發賣ヲ許可スルカ云フコトヲ承テ居リマス、政府ガ果シテ血清ノ試験ヲ爲シ検査定ヲ爲シ、而シテ其血清ノ發賣ヲ許スト云フコトデアリマスナラバ、今日マデ政府ガ試験ヲ爲シ検査定ヲ爲シタル所ノ各種ノ血清ノ成績ヲ本員ハ承リタイノデアリマス、若シ其成績結果ニシテ效力薄キト云フヤウナコトデアリマシタナラバ、是ハ實ニ容易ナラザル所ノ衛生上ノ重大問題デアリマス、承ハル所ニ依レバ政府ハ此血清ノ検査ヲ實行シタルコトヲ云フコトヲ承テ居リマス、果シテ政府ガ血清ノ試験ヲ實行シタルコト云フナラバ、其結果ヲ詳細ニ北里博士ノ研究所ニ於テ造ラル、所ノ血清ノ結果ハ斯ク、又政府ノ傳染病研究所ニ於テ造ルトコロノ血清ハ斯ク、其他検査定ヲ受ケタル種類ヲ詳細ニ舉ゲテ此疑ヲ解キ此惑ヲ解クト云フコトハ、我公衆衛生ニ取テ最モ必要ナル問題デアラカ故ニ、會期切迫ノ折柄ナルモ拘ラズ一言其質問スル次第デアリマス、政府ハ本員ノ質問ニ對シテ速ニ御答辯アラムコトヲ切望致シマス(拍手起ル)

○副議長(早速整爾君) 七、恩赦奉行ニ關スル質問、提出者中村尙武君

七 恩赦奉行ニ關スル質問(中村尙武君提出)

(中村尙武君登壇)
(拍手起ル)

○中村尙武君 我ハ司法大臣ニ對シマシテ恩赦奉行ニ關スル質問ヲ致シタイノデアリマス、司法大臣ノ變説改論デアルト云フコトハ既ニ天下ニ一定シタル評論デアリマス(ヒヤノ)「ト呼フ者アリ」此人ニ對シマシテ我が之ヲ駁撃スルト云フコトハ死屍ニ鞭ツト同様デアリマスガ、事恩赦ノ奉行ニ關スル故ニ、訥辯ヲモ願ミズ此演壇ニ登ツテ聊カ其誤レル事實ヲ指摘致シマシテ、質問ヲ試ミヤウト思フノデアリマス、昨年十一月諸君モ御承知ノ如ク御即位ノ御大禮ガアリマシテ、其際詔書ヲ以テ恩赦ノ御煥發ガアッタノデアリマス、此詔書ハ大正元年度ニ御大喪ノ際御煥發ニナリマシタコトヲ詔書ノ奉行ノ事蹟ト對照致シマス、大ニ其取扱アリ異ニシテ居リマシテ、一者異ナル點ガアルノデアリマス、ソレハ如何ナル點デアラカト云ヘバ、選舉違反ニ關スル特赦ノ事柄デアリマス、大正元年度ノ詔書奉行ノ際ニハ選舉違反者ニ對シマシテハ、准國事犯ト同様に取扱フ受ケマシタ、其際ノ違反者ハ悉ク特赦ノ恩典ニ浴シタルデアリマス、然ルニ昨年御大典ノ際行ハレマシタコトヲ恩赦ノ奉行ノ事蹟ハ如何デアリマセウカ、或人ニ對シテハ特赦ヲ行ヒ或

人ニ對シテハ刑ヲ執行シテ居ルノデアリマス、習慣所謂慣例ナルモノハ、法律ノ不備ナル場合ニ於テハ法律ト同様ノ效力ヲ有ツベキモノデアルト云フコトハ、私が申スマデモナク諸君ノ既ニ御承知ノ通りノコトデアルト、本員ハ信ズルノデアリマス、即チ昨年度ニ於キマシテ恩赦ノ奉行ヲスルニ當リマシテハ、先ツ大正元年度ノ御大喪ノ際ニ行ヒマシタ場合ニ於ケル事蹟ニ據ルベキノガ本員ハ當然デアルト思フノデアリマス、現ニ多數ノ被告人ニ於キマシテハ特赦ノ恩典ニ浴スレバ、特赦ノ詔書發布以前ニ於キマシテ確定判決ヲ要スルト云フコトヲ、被告人モ信ズレバ辯護士諸君モ其被告人ニ對シテ説明シタノデアリマス、其結果當時控訴若クハ上告中ノ被告人ト云フモノハ、殆ド全部ト言ツテモ宜シク範圍ニ於テ、控訴上告ノ取下ラシタルデアリマス、是ハ獨リ當該辯護士ガ被告人ニ對シテ勸メタルノモノナラズ、他ノ辯護士ヨリモシテ、若シ斯ウ云フ被告人ガアルナラバツレハ宜シク取下ラシタルコトヲ勸メモアッタト云フコトヲ本員ハ聞イテ居ルノデアリマス、然ルニ何デアリマセウカ、此先例ニ違反シタルコトコロノ恩赦奉行ニ對シテハ、遺憾ナガラ矛盾シタル行爲ヲ爲シテ居ルノデアリマス、尙其上ニ洵ニ遺憾ニ堪ヘマセヌコトハ前ニモ申上ゲマシタ通り、此恩赦ノ特典ニ與カリマスルノハ、詔書ノ御煥發以前ニ於テ裁判ノ確定ヲ要スルト云フ一事デアリマス、ツレ故ニ無罪ト信ジタ人モ控訴上告ヲ致シテ居リマス、ノニハ多クノ費用多クノ日子ヲ要スルノデアリマス、ツレ故ニ遺憾ナガラ無罪ト信ジツ、モ辯護士諸君ノ意見ト及從來ノ慣例トヲ重シテ取下ラシタルコトコロガ、其後ニ至リマシテ司法當局者ハ如何ナル事ヲ爲シテ居ルカト云ヘバ、一月頃ニ至ルマデ特赦ノ恩典ヲ行フテ居ルノデアリマス、現ニ最近ニ於テモ此恩赦ノ特典ニ與ツタ者ガアルノデアリマス、此恩赦ノ特典ナルモノハ御大禮ト如何ナル交渉ガアルノデアリマセウカ、本員ノ信ズルトコロヲ以テスレバ全ク没交渉デアラ、今日ニ於テ所謂御大禮後ニ於テ是等ノ者ニ特赦ノ恩典ヲ與ヘルト云フコトハ、全ク意味ヲ成サヌノデアリマス、若シ之ヲ以テ御大禮ノ恩赦ナリトシタナラバ、是ハ洵ニ誤レルコトデアルト私ハ思フノデアリマス、要スルニ司法當局者ハ右申上ゲマシタ通り、私ノ第一點ノ此被告人中ニ從來ノ慣例ヲ信ジテ特赦ノ恩典ガアラウと思ツテ取下ラシタルハ、理由ノ有ルコトデアルト云フ御考デアラナラバ、其過ヲ改メラムコトヲ當局者ニ希望シテ止マヌノデアリマス、洵ニ私ハ初メテ此演壇ニ立ツノデ、言葉ガ徹底セヌカモ知レマセヌカ、ドウカ私ノ意ノ存スルトコロヲ御酌取リニナリマシテ、何分本員ノ希望ニ副フヤウニ司法當局者ニ希望致シマス(拍手起ル)

○副議長(早速整爾君) テヨット報告ガアリマス

(書記朗讀)

政府ヨリ受領シタル答辯書左ノ如シ
大正五年二月二十五日

内閣總理大臣伯耆大隈重信

衆議院議長島田三郎殿

衆議院議員根本正君提出輕便鐵道建設ニ關スル再質問ニ對シ別紙答辯書差進候

(別紙)

- 衆議院議員根本正君提出輕便鐵道建設ニ關スル再質問ニ對スル答辯書
- 一 水戸鐵道株式會社ノ出願書ハ大正四年十二月二十二日東京府廳ニ於テ之ヲ受理シ同年同月二十八日同府廳ハ茨城縣廳ニ照會ヲ發シ大正五年二月三日右照會ニ對スル回答ヲ受理シ目下東京府廳ニ於テ右出願書ヲ内閣總理大臣ニ進達ノ手續中ナリ
 - 二 輕便鐵道十線路ノ内大曲角館間及盛岡橋場間ハ大正七年度ヨリ著手スルノ

豫定ニシテ河邊水港間ハ大正四年四月六日陸奥輕便鐵道株式會社ニ對シ
敷設免許ヲ與ヘタルヲ以テ政府ニ於テ起工セサルコトニ決定シ勝田大宮間ハ水
戸鐵道株式會社ノ出願アルヲ以テ其ノ當否ヲ決定スル迄起工ヲ延期シタルモ
ニシテ政府ハ之ヲ以テ偏重偏輕ノ政策又ハ國有鐵道ノ趣旨ニ悖ルモノト認メス
三 高知須崎間ハ鐵道敷設法ノ豫定線ニシテ勝田大宮間ハ豫定線ニアラス殊
後者ハ目下民間ヨリ出願アルヲ以テ之ヲ許可セザル決定スル迄起工ヲ延期シタル
モノニシテ決定偏重偏輕ニ失シ又ハ公約ヲ無視シタルモノニアラス
四 政府カ勝田大宮間ハ鐵道敷設ヲ以テ水戸鐵道株式會社ノ既成線ニ對シ多大
ノ影響ヲ及ボスモノト認ムルニ至リタルハ全ク實測精査ノ結果ニシテ私人ノ運動
ニ依リタルモノニ非ス
右及答辯候也

大正五年二月二十五日

○副議長(早速整爾君) 望月君此場合ニ於テ……

○望月圭介君 昨日ノ兵役稅法案外一件ノ討論ノ際ニ於テ、本員ガ穩當ナラザル言
語ヲ發セリトシテ、立場ハ違ヒマスケレドモ平素敬愛セル小泉君カラ之ヲ取消スベク
親切ノ御警告ガアツタサウデアリマスガ、丁度私が退席シテ居タキデアリマスカラ、其
場合ニ於テ私が一言ヲ發スルコトヲ得ナカッタガ、若シ兵役稅法案外一件ノ討論ノ際ニ
於テ、私ノ申シマシタル批評ノ中ニ穩當ナラザル一言ガアリトスレバ、私ハ之ヲ取消スニ少
シモ躊躇致シマセヌ、又今日ニ於テ速記録ニモ無イ彼是ト云フコトヲ以テ、私ハ會期切
迫ノ際ニ強情張り爭ヒハ致シマセヌ、ダカラ議長ニ於テ私が其討論中ニ申シタル言ニ不
穩當ナル言ガアリトスルナラバ、其點ハ全部御取消ヲ乞ヒマス、而シテ小泉君カラ私ニ對
シテ親切ナル發議ガアリマシタカラ、私モ此親切ヲ無ニスル譯ニ行キマセヌ、武士ハ相見
互ヒデアリマスカラ、小泉君ニ向ッテモ私ハ取消ヲ勸告致シタリデアリマス、小泉君ノ御
發議中ニ是ハ速記録デアリマス、望月圭介君ヨリ穩當ナラザル言葉ガアツタデアリマス
(聞ヘタル君ダケダ)ト呼フ者アリ(馬鹿云フナ)斯ウ云フ小泉君ノ言葉アル、私ハ私
ノ申シタル、小泉君ノ言ハコト、輕重ヲ此處デ爭フモノハナイガ(馬鹿云フナ)ト
云フ言葉ハ私ハ穩當ナ言葉デハナイト思フ、小泉君ハ議場ノ神聖ヲ保ツ上ニ於テ此際
取消シアラント希望シマス、小泉君ニ對シテ私ハ惡意ヲ以テ申スノデナイデアリマ
ス、極メテ善意ヲ以テ些カ御挨拶ヲ兼ねテ申上ゲマス

(小泉又次郎君登壇)

○小泉又次郎君 此會期切迫シ餘日幾何モ剩サル今日ニ於キマシテ、然モ日
程以外ノ問題此演壇ヲ汚シマスコトハ決シテ是ハ私ノ本意デハナイデアリマス、サリ
ナガラ議場ノ秩序ヲ保チ議員各自品性ヲ保ツ上ニ於テ、萬餘儀ナイコト、私ハ深信
ズルデアリマスカラ、暫時諸君ノ御清聴ヲ請ヒタイト思フデアリマス、唯今望月君ヨ
リ昨日自ラ御發シニナリマシタル言葉ハ、穩當ヲ缺イテ居ルカラ取消スト云フノ御明言
ガアツタデアリマス、私ノ昨日望月君ニ御勸告申上ゲタ要點ハ、歸スル所望月君ニ取
消ヲ請フデアリマス、勸告シタルデアリマス、御勸告申ス次第デアリマスガ故ニ御取
消下サルトモ御取消ニナラヌトモ、ソレハ御自由ノ御意思デアリデアリマス、私ハ議場
ノ神聖ヲ保ツ上ニ於テ御取消ヲ勸告シタルデアリマス、而シテ唯今ノ御發議中ニ速記
録ヲ引證サレテ(馬鹿)ト呼ンダノハ小泉君デアルト云フヤウ御話モアツタデアリマス
ガ、私ハ今日他ノ用務差支ヲ生シタガ爲ニ、昨日ノ速記録ヲ拜見シナイデアリ
マス、併ナカラ昨日望月君ガ高田松平君ノ御演說中ニ、大聲聲カナラザル言葉ヲ放
レタコト、云フモノハ、速記録ニ假令無イト云ツデモ今朝ノ新聞紙若クハ諸君ノ耳底ニ
ハ必ズ徹底シテ居ルコトデアリマシテ、決シテ是ハ嘘デナイデアリマス、併ナカラ幸ニ速

記録ニハ其不穩當ナル言葉ガ載ツテ居リマセヌ、掲載サレテ居ナイノヲ私ハ非常ニ幸福
トシテ喜ブデアリマス、此望月君ノ發セラレタ言葉ヲ再ビ此處で紹介スルコトハ、
速記録ヲ汚ス虞ガアリマスカラ申上ゲマセヌ、自ラ御取消ニナツタコトハ望月君確
ニ御發議ニナツタコト云フコトヲ此ニ證明スルデアリマス、此立派ニ承認シ自ラ取消サレ
ルト云フ此不穩當ナル言葉ガ速記録ニ無カッタ致シマスレバ、今私が馬鹿ト叫ンダカ
馬鹿ト呼ンダカ云フコトハ、決シテ是ハ證據ニナラヌト思フ、私ハ人ヲ咎ムニ於テ自
ラ慎ムニ吝ナラヌデアリマス、昨日ノ議場ニ於ケル有様ニ於テ望月君ノ——私ハ人
ノ不穩當ナ言葉ヲ取消ノ勸告ヲスル身ヲ以テ、自ラ省ミ馬鹿ト呼フコトハ、常
識ヲ以テモ言フベキコトデアリト私ハ思フデアリマス、私ハ此故ニ唯今望月君ハ良
心……(良心ナシ)ト呼フ者アリ(良心デアリマス、如何ナル事ヲ以テ如何ナル證據ヲ
以テ私ニシテ居ル取消シタル宜カラウト云フノ御懇篤ナル御言葉デアリマスガ、私モ平素敬
意ヲ表シテ居リマス望月君ノ御勸告デアリマスカラ、取消スベクバ取消スデアリマス
ガ、自ラ發セザル言葉ニ對シテ責任ヲ負フ義務ハ無イト信ジマス、故ニ唯今ノ望月君ノ折
角ノ御警告デアリマスケレドモ、應ズル譯ニハ參リマセヌ

○望月圭介君 小泉君ハ頗ラ赤ラメテ仰シヤイマスガ、昨日ノ速記録ニ、小泉又次郎
君唯今高田松平君ノ御演說中ニ望月圭介君ヨリ穩當ナラザル言葉ガアツタデアリマス
(聞ヘタル君ダケダ)ト呼フ者アリ(馬鹿云フナ)私ハ此席上ヨリ其取消ヲ要求スルヲ遺
憾トスルデアリマス云々)ト云フ言葉デ(馬鹿云フナ)ト云フ文句ハ確ニ速記録ノ小泉
君ノ筆記トシテアルデアリマスカラ、是ダケヲ私ハ——小泉君ガ此速記録ヲ御覽ニナ
タラ私ハ明瞭スルダラウト思ヒマス

○高橋久次郎君 議長

○副議長(早速整爾君) 何デスカ

○高橋久次郎君 議長ニ伺ヒタイデス——御尋シタイ極ク簡單ノコトデアリマスカラ
(登壇ヤ々)「無用ヤ々」ト呼フ者アリ

○副議長(早速整爾君) 何ノ發議デスカ——事柄ハ何デス

○高橋久次郎君 事柄ハ望月君ノ今ノ取消ノ事ニ付デアリマス
(止セ)「ヤレ」ト呼フ者アリ

○副議長(早速整爾君) 日程第一、華族世襲財產法改正法律案、第一讀會ノ續
ヲ開キマス、委員長古谷慶隆君

第一 華族世襲財產法改正法律案(政府 第一讀會ノ續(委員長 提出、貴族院送付))

(古谷慶隆君登壇)

○古谷慶隆君 本員ハ華族世襲財產法ノ委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告致シマ
ス、本案ハ政治上經濟上又法律上重大ナル問題デアリマシテ、委員會ハ前後數回ニ
互リマシテ慎重ニ審議致シマシタノデ、委員諸君ノ議論ハ各種ノ方面カラ議論ガ交換
サレタデアリマスガ、先ツ此二ツノ方面カラ見ルコトガ出來ヤウト考ヘマス、一ハ政治
上經濟上ノ方面カラノ議論デアリマシテ、即チ四民同等デアル法治國デアル今日ニ於
テ、特ニ華族ノ保護スルコト云フコトハ面白クナイ、若シ日本ニ於キマシテ沿革上サウ云
フ必要ガアリト致シマスレバ、ナゼ瑞西新民法ノ如ク一般國民ニ對シテ相當ノ保障ヲ與
ヘナイデアルカ、即チ家產制度ヲ布クノ必要アリハシナイカ、斯ウ云フコトガ總テノ委員
ニ一致シタル意見デゴザイマシタ、政府ハ之ニ對シテ勿論家產制度ト云フコトニ付テハ
平常慎重ニ政究シ、アルデアルガ、未ダ定ツタル腹案ハナイ、併ナカラ腹案ガ無イト
云フコトハホシノ申譯ノニ申スノデハナイ、十分熱心ニ政究シテ居ル、斯ウ云フ政府ノ
答辯デアリマシタ、又法律上ニ於キマシテハ各種ノ方面カラ條文ノ各條ニ付キマシテ精

細ナル議論ガゴザイマシテ、最後ニ政友會ノ阿部君ノ御發議ニ依リマシテ、政府ノ原案ヨリモ貴族院ノ修正シタル修正案ノ方ガ餘程宜シ、併ナカラ修正案モ完全ナモノデハナ
イケレドモ、貴族院ガ今日マデ數十回委員會ヲ開キ、各種ノ方面カラ慎重ニ審議シタ結
果デアラカラ貴族院ノ修正案ニ賛成スル、斯ウ云フ御發議ガゴザイマシテ、其ノ御異議
ニ滿場一致賛成ヲ表シマシテ、貴族院ノ修正案通り委員會ニ於テ可決ヲ致シマシタ、
右御報告ニ及ビマス
○副議長(早速整肅君) 別ニ御發議ハナイト認メマス、第二讀會ヲ開クニ御異議ハ
アリマセヌカ
(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(早速整肅君) 御異議ガナイト認メマス、第二讀會ヲ開クコトニ決シマス
○山口俊一君 直チニ二讀會ヲ開キ三讀會ヲ省略シテ委員長報告通り決定サレシコ
トヲ望ミマス
(「賛成々々」ト呼フ者アリ)

○副議長(早速整肅君) 山口君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ
(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)
○副議長(早速整肅君) 御異議ガナイト認メマス直ニ第二讀會ヲ開キマス
華族世襲財産法改正法律案(政府提出、貴族院送付)
第二讀會(確定議)

○副議長(早速整肅君) 三讀會ヲ省略シテ委員長報告通り可決確定スルニ御異議
ハアリマセヌカ
(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)
○副議長(早速整肅君) 御異議ガナイト認メマス、本案ハ可決確定致シマシタ

○山口俊一君 此場合日程變更ヲ望ミマス(「反對々々」又「賛成々々」ト呼フ者アリ)
二件アリマス、大正五年度歳入歳出總豫算ノ追加第三號、第四號、第五號、並特
第三號、同第四號、及追加第二號、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ニ關スル件、是ヲ
委員長報告ヲ承ヘルコトニ致シタイ(「反對」ト呼フ者アリ)今一件ハ政府提出貴族
院送付ニ係リマスル國籍法中改正案、之ヲ議題トセラレムコトヲ望ミマス
(「賛成々々」反對々々」ト呼フ者アリ)

○高木益太郎君 議長 高木益太郎君何デスカ
○副議長(早速整肅君) 唯今ノ動議ニ反對ノ意見ヲ述ベタイ
○高木益太郎君 日程變更ノ動議ニ付テハ討論ヲ用ヰズ決シヤウト思ヒマス
○高木益太郎君 甚ダ專横デアリマスカラ反對シマス
○副議長(早速整肅君) 御反對ガアルヤウデアリマスカラ採決致シマス、山口君ノ即
チ日程變更ノ動議ニ賛成ノ御方ノ起立ヲ請ヒマス
起立者 多數

(「少數々々」ト呼フ者アリ)
○副議長(早速整肅君) 多數
○高木益太郎君 少數 異議ノ申立ヲ致シマス——餘リ亂暴デアリマスカラ異議
ノ申立ヲ致シマス
○副議長(早速整肅君) 賛成ガアリマスカ
(「賛成々々」ト呼フ者アリ)

○副議長(早速整肅君) 御異議ガアリマス記名投票ヲ以テ採決ヲ致シマス
○副議長(早速整肅君) 御異議ガアリマス記名投票ヲ以テ採決ヲ致シマス

(「五分カ三分デ濟ムコトヲ餘リ亂暴デ誰ニ斷ツテ發言スル」ト呼フ者アリ)
○副議長(早速整肅君) 靜カニ願ヒマス、採決ノ方法ヲ申シマス、討論終結ノ動議
ニ賛成ノ方ハ白票、反對ノ方ハ青票——閉鎖
(「討論終結トハ何デスカ」ト呼フ者アリ)
○副議長(早速整肅君) 誤リマシタ、日程變更ノ動議デアリマス、是ヨリ氏名點呼
ヲ行ヒマス
(「書記氏名ヲ點呼ス」)
○副議長(早速整肅君) 投票滿ハアリマセヌカ——無イト認メマス——閉鎖——開
匣ヲ命ジマス
(「書記官投票ノ數ヲ計算ス」)
○副議長(早速整肅君) 投票ノ結果ヲ書記官長ヨリ報告致サセマス
(岡崎書記官朗讀)

投票總數 百八十八
可トスル者 百二十七
否トスル者 六十一
(拍手起ル)

日程變更ノ動議ヲ可トスル議員ノ氏名左ノ如シ
今井 喜八君 守屋 此助君 加藤 小太郎君 片岡 直温君
山口 俊一君 谷口 武兵衛君 中谷 德恭君 川井 爲巳君
西田 隆夫君 岡部 政太郎君 山宮 藤吉君 肥塚 龍君
齋藤 彌一郎君 坂口 仁一郎君 本田 恆之君 倉光 藤太郎君
飯塚 彌一郎君 綾部 惣兵衛君 矢島 孝平君 久須美 東馬君
高木 利平君 綾部 惣兵衛君 矢島 孝平君 久須美 東馬君
須藤 嘉吉君 鈴木 久次郎君 平山 八郎君 大津 淳一郎君
河野 正義君 川村 惇君 初見 八郎君 高田 松平君
米田 實君 森 大岩君 望月 三郎君 市川 文藏君
磯貝 浩君 長尾 元太郎君 坂口 拙三君 岡崎 久次郎君
西川 太治郎君 降旗 元太郎君 山道 襄一君 中野 貫一君
大場 竹次郎君 樋口 秀雄君 村松 四朗君 藤澤 幾之輔君
木尾 虎之助君 半藤 清壽君 柴 寅彦君 長澤 倉吉君
市原 又次郎君 中野 悌治君 鈴木 廣居君 町田 忠治君
菊池 良一君 添田 飛雄太郎君 山口 嘉七君 室木 彌次郎君
伊藤 恭之助君 關野 善次郎君 野村 嘉六君 白根 正次君
關戸 寅松君 保科 陽治君 高橋 久次郎君 山根 作平君
三浦 倫吉君 富田 幸次郎君 英太郎君 津末 良介君
濱口 雄幸君 西 英太郎君 山田 珠一君 井手 三郎君
豐增 龍次郎君 岡 英太郎君 尾越 辰雄君 安達 謙藏君
佐藤 榮右衛門君 小池 仁郎君 津原 武君 石橋 爲之助君
田川 大吉郎君 田中 善立君 尾崎 元次郎君 八田 裕二郎君
宮原 幸三郎君 龍口 了信君 有田 溫三君 小山 谷藏君
類母木 桂吉君 高水 正年君 加藤 彰廉君 金澤 種次郎君

丸山 芳介君 多木久米次郎君 大隈 信常君 小林 丑三郎君
關 和知君 重盛 信近君 小 山 松壽君 增田 次郎君
河崎 助太郎君 櫻井 兵五郎君 渡邊 新太郎君 吉田 磯吉君
木村 平右衛門君 今西 林三郎君 岸 本 賀昌君
高山 眞平君 田中 省三君 岸 本 賀昌君
同上否トスル議員ノ氏名左ノ如シ

織田 了君 森久保作藏君 村野 常右衛門君 野 尻 次郎君
佐藤 政五郎君 廣岡 宇一郎君 川上 榮太郎君 友 常 穀三郎君
小久保 喜七君 村山 金平君 横田 千之助君 田 銳 吉君
三輪 市太郎君 牛 小川 唯一君 井上 敬之助君 鹽 川 幸太君
小坂 順造君 白井 遠平君 原 井 權右衛門君 工 藤 吉次君
菅 原 傳君 加藤 宇兵衛君 水 津 太郎平君 上 埜 安太郎君
高杉 金作君 望月 圭介君 兒 玉 亮太郎君 三 土 忠造君
西谷 金藏君 加藤 圭介君 山 内 範造君 堀 三 太郎君
古谷 久綱君 安部 熊之輔君 松 田 源治君 南 里 琢一君
富安 保太郎君 床 次 竹二郎君 高 木 益太郎君 鈴 木 好熊君
江藤 哲藏君 平 田 禎君 武 満 義雄君 兒 玉 好熊君
與田 榮之進君 柏 原 文太郎君 相 島 勘次郎君 高 柳 覺太郎君
渡邊 昭君 中村 千代松君 犬 飼 源太郎君 萬 代 嘉平治君
望月 長夫君 大西 五一郎君 加 瀬 禪逸君 高 野 金重君
前川 虎造君 伊藤 義平君

○副議長(早速整肅君) 日程ハ變更セラレマシタ、第三號、大正五年度歳入歳出總豫算追加案、第四號大正五年度歳入歳出總豫算追加案、第五號大正五年度歳入歳出總豫算追加案、特第三號、大正五年度各特別會計歳入歳出豫算追加案、特第四號大正五年度特別會計歳入歳出豫算追加案、追第二號豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スル要件、是デケラ一括シテ議題ト爲シ委員長ノ報告ヲ求メマス、委員長片岡直温君

- (第三號)大正五年度歳入歳出總豫算追加案
- (第四號)大正五年度歳入歳出總豫算追加案
- (第五號)大正五年度歳入歳出總豫算追加案
- (特第三號)大正五年度各特別會計歳入歳出豫算追加案
- (特第四號)大正五年度特別會計歳入歳出豫算追加案
- (追第二號)豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スル要件

(片岡直温君登壇)

○片岡直温君 本員ハ大正五年度歳入歳出追加第三號第四號及第五號、特第三號第四號、追第二號豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ニ關スル件、此豫算委員會ニ於ケル經過並ニ結果ヲ御報告致シマス、大正五年度歳入歳出總豫算追加第三號ハ二十五件程ニ分レテ居リマス、其歳入歳出合計各千二百六十八万九千九百圓、此金額デゴザイマスガ其内重ナルモノハ軍需品ノ受託製造ニ係ル費用デアリマス、是ハ外國ヨリ注文ニ依リマシテ軍需品ノ製造ヲ致スノデアリマス、海軍ノ方デ致スノデアリマス、其歳入ハ其軍需品即チ注文品ノ代價ヲ受入レタモノガ收入ニ立ツノデアリマス、千二百六十八万餘圓ノ内一千萬圓ヲ差引キマシタ殘リノ中カラ百二十萬圓程ノモノガ、八阪

丸ニ對スル損害ノ政府負擔費ニ屬スルモノデアリマス、ソレ故ニ此二口ヲ差引キマスト極メテ少額ナルモノ、而モ其件數ハ前申上ゲマシタ如ク多數ニ分レテ居リマス、重ナルモノヲ申シテ見マシト瑞西ノ國ニ公使館ヲ新設スル、ソレカラ航空研究所ヲ創設スル費用、銀行局ヲ設置スル費用、東京外十九縣ニ對スル災害復舊費ニ關スル費用、ソレカラ大禮ニ關スル記録編纂ヲ致スル費用、其他ハ日支銀行ノ設立法律案ガ通過致シマシタ結果トシテ起リマスル政府ノ補助、滿洲銀行亦同ジデアリマス、此中ニ少シク説明ヲ要スルダラウト思ヒマス、金額ノ上デ説明ヲ要スラウト思ヒマス、八阪丸ノ損害ハ害ハ曩ニ大正四年度追加トシテ既ニ要求サレタ其殘リデアリマス、此八阪丸ノ損害ハ合計四百五十萬圓程、其内五十萬圓ハ一般會計カラ支拂ヒ、四百萬圓ハ預金部カラ借入レル、斯ウフコトニ相成テ居ルデアリマス、其四百萬圓預金部カラ借入レルモノニ對スル利子ガ見積リデアリマス、而シテ曩ニ追加豫算トシテ協賛ヲ經タコロノ殘リノ金百二十萬圓程ノモノガ、大正五年度ノ追加トシテ要求ニナツテ居ルデアリマス、大正五年度歳入歳出豫算追加第四號ニ屬スルモノハ十二萬八百二十六圓デアリマスガ、是ハ簡易保險ノ事業經營ニ伴フコロノ費用デアリマス、第五號ノ方ハ米穀貯藏ノ研究ヲ致ス爲ニ倉庫ヲ拵ヘル、其倉庫ヲ研究ニ必要ナル組立ヲ以テ造ルト斯ウフコトノ費用デアリマス、特第三號ナルモノハ朝鮮總督府、臺灣總督府、造幣局、國債整理基金、京都帝國大學、東北帝國大學、九州帝國大學、學校及圖書館、斯ウ云フ風ニ科目ガ分レテ居ルデアリマス、特第四號ハハリ簡易生命保險ノ收入支出ニ關スル特別會計ニ屬スルモノデアリマス、以上ノ提案ニ付テ豫算委員會ハ一日昨日午前午後、本日先刻メテ會議ヲ開イタデアリマスガ、之ニ對シマシテハ、隨分多クノ質問應答ガアツタデアリマス、其質問應答ノ著シキモノヲ申シテ見マシト、本豫算ニ直接ニ關係アラザル質問モゴザイマシタガ、是ハ本問題ニ必要ト存ジマセマカラ省略ヲ致シマス、必要ト存スル著シキモノヲ列舉致シマス、總豫算ニ編入ヲ致シテ要求スベキ費目ガ多ク、臨時急務ヲ要シ已ムラ得ザル費用トシテ會計法第五條ニ依ツテ要求スベキモノト認ムル部分ガ少ナシ、又總豫算ニモドウカト思フト云フヤウナ點ニ於テ、最モ質問ヲ繰返サレタデアリマス、其中總豫算ノ上ニ於テモ必要ト云フ説ガ採決ノ時ニ起リマシタ、一事ヲ申上ゲテ見マシト、元歩入會社、此納金ニ關スル救恤金支給ノコトデアリマス、是ハ政府ノ答辯ニ依リマスト熊本縣ノ當テ藩政ノ時代ニ於テ會社事業ヲ以テ質貸、又ハ爲替ノ事業ヲ經營スル者ガアツタ、然ルニ廢藩ノ際ニ之ヲ政府ニ引繼イダノデ、其引繼イダ中ニ國有トスベカラザルモノヲモ引繼イダノデアリ、此引繼ハ強制執行ニ依ツテ引繼ラ餘儀ナクセラレタ、斯ウ云フ事實ニ依テ爾來訴訟ノ沙汰ニナツテ居ツタ、一審、二審、遂ニ大審院ニ至ツテ原告側ノ敗訴トナツタ、賠償ヲ求メル途ガ絶エテ居ルデアリマス、併ナガラ本件ニ關シテハ年々諸願書トナツテ衆議院ニ上リ、諸願委員會ハ何時モ之ヲ採擇セシメ決定ヲ致シ、政府ハ終ニ調査ノ結果其當時ノ事情等ヲ取調ベ、法律上請求ノ途ハ絶エタリト雖モ事實ニ於テ憐レムベキモノデアリ、故ニ國家トシテ之ヲ救済シ年來ノ懸案ヲ解決スルスト云フ趣旨カラ出テ居ルヤデアリマス、同一ナ事柄ガ大分縣直入郡久住村大字久住ト云フ部落ニ於テモ同一ノモノガアツテ、是モ同様ナ手續ニ依ツテ政府ニ引繼イダ、其引繼イダ場合ニ於テ民有ニ屬スベキ財產ヲ共ニ取上ゲラレタ、嘗テ是ハ明治八年三月白川縣ト云ツタ時分ノ縣令ノ時代ニ於テ問題トナツタ事柄デアリ、趣キデアリ、而シテ是ハ遂ニ熊本ノ同一ノモノニ合併ヲ致シタト見レベキ點モアルヤデアリマス、是等ノ兩方ニ對シテ此際年來ノ懸案ヲ解決スルスト云フ趣旨ニアルデアリマス、今一ツ最モ熱心ナル議論ノゴザイマシタノハ大禮ニ關スル記録編纂ノ費用デアリマス、是ハ政府ノ説明スルトコロニ依レバ、總豫算編纂ノ當時ニハ御大禮ノ記録ヲ編纂スル組織等ガ、ドウ云フ法ニシテドレダケノモノヲ拵ヘルコトニナルト云フコトガ極マラナカ

タノデアルカラ、總算ニハ組メナカッタノデアルガ、ソレガ極マツタノデアルカラ 要求スル
云フノガ大體ノ說明デアリマス、委員ノ方ニ於キマシテハ御大禮ニ對スル費用ハ萬遺算
ナキコトヲ期待シテ、一厘一毛モ削減ヲ加ヘズ要求通りニ協賛ヲ與ヘテ、御大禮ノ滞リ
ナク萬事十分ニ行ハセラル、コトヲ期待シテ、然ルニ開ク所ニ依レバ金ガ少々餘ツテ
餘ツタ爲ニ非常ノ過當ノ賞與ヲ行ハレタト云フガ如キコトモ聞エル又御大禮ニ關シテハ不
滿ノ點モ少ナカラヌシテ、不滿ノ事實ハ京都ニ於ケル御召ノ際ニ於ケル混雜等ノ
事情ヲ舉ゲテ非難セラレタ點モ少ナクナカッタデアリマス、豫算ノ方ニ對シテハ金ガ餘
タラフコト云フ、之ヲ賞與其他ニ使ヒ、或ハ旅費等ニ對シテモヒツク増額ヲ得ルニ非ラザ
レバ、此豫算ヲ要求セラルタルコト云フコトノ已ムヲ得サルヤ否ヤガ明瞭サナリノデアル
併シ豫算委員トシテ御大禮ニ關スル記録ノ編纂ヲ致スト云フガ如キコトモ異議ヲ挾ム
ニ非ラズ、費用其物ニハ一切異議ヲ挾ムコトハナシ、唯之ヲ要求スル此ニ至ル前後
ノ事柄ヲ詳カニスルニ非ラザレバ、國民ヲシテ多クノ惑ヲ生ゼシムルノ虞アリ、延イテ皇室
ニ對シテ免ヤ角ノ觀念ヲ持タシムルコトヲ遺憾トスル、此意味ニ於テ或ハ材料ノ提供ヲ
請ヒ、答辯ヲ求メヌデアリマスガ、政府ノ答フル所ハ大禮費ニ關スル費用ハ今尙清
算ヲ終ラズ、既ニ支出ヲ受ケテ尙支出ヲ要スルモノモアル、此際ニ於テ其收支ヲ明カニ
スルコト云フコトハ出來ナイ、斯ウ云フ答辯デアッタノデアリマス、此際ニ對シテハ多少意
思ノ徹底ヲ缺イタ所ガアル、ソレ故ニ委員長トシテハ其相互ニ徹底ヲ圖ラントシテ之ヲ
要求スルニ至ッタノハ、前ニ協賛ヲ與ヘタ時ニ此記録編纂ノ費用ガアツテ、サウシテソレガ
足ラヌ故ニ追加スルノカ、若クハ前ニ要求シタ時ニ全ク漏レテ居テ、今日此必要ヲ感
シテ此要求スルニ至ッタノカ、其要求スルコト云フ事實ガ明カニナレバ、自ラ徹底スル
アラウト信ジマシテ、是等ノ意味ヲ以テ政府當局者ノ間ニ交渉ヲ致シテ見マシタノデア
リマス、其結果トシテ全ク大禮費ノ豫算中ニハ大禮ニ關スル 記録編纂ノ費用ハ少
シモ見積ッテナカッタ、而シテ今回ノ追加豫算ハ大禮費ニ關スル追加豫算ニアラズシ
テ、新タニ大禮ノコトニ關スル記録ヲ編纂シテ置クト云フノ、必要上ヨリ、大禮費以
外ニ於テ要求スルノデアルコト云フコトガ明カニナッタノデアリマス、斯様ナ顛末デアリ
マシテ結局討論ニ移リマシタル場合ニ於テ、本案ニ對シテ政友會ヲ代表シテ齋
藤桂次君ヨリシテ、此追加豫算ハ全體ニ於テ多少不穩當ト認ムルモノモアル
ノデアリ、殊ニ追加豫算ヲ續ク會期切迫ニ際シテ提出セラレタコトヲ遺憾トスル、將來ハ
斯ノ如キコトノナイヤウニセラレタイト云フ希望ト、多少非難ヲ致スベキモノトモ考ヘルガ、
事既ニ茲ニ進行シテ居ル以上ハ、大體ハ贊成ヲ致ス、但シ第三號中ノ銀行局設置ニ
關スル經費ノ如キ、是ハ九千二百八圓四角デアリマスガ、是ハ確ニ總豫算ニ編製シテ來ル
コトガ必要デアラ、又其必要ノ追加豫算ヲ求ムルノ必要ガアレバ總豫算ニ求ムベキ時機
アリ必要モアツタト考ヘル、然ルニ之ヲ追加豫算トシテ求ムルコト云フコトハ餘リニ不穩當、
故ニ此費目ニ對シテハ贊成ヲ表シ難イ、且モウ一ツ官業整理調査ニ關スル經費七千
四百六十四圓ハ、官業整理ハ現内閣ノ政綱トシテ標榜スル所、既ニ段々ニ其調査ガ
進シテ居ル事實ヲ說明セラレテ居タニ拘ラズ、今ニ至リテ經費ヲ要スルガ如キコトハ甚ダ
其意ヲ得ザルモノ、既ニ政綱政策トシテ掲ゲラレタ位ノ事デアリ、今日其經過ニ對シテ
多少ノ成績ヲ收メテ居ル筈デアリ、今此ニ費用ヲ此際カラ要スルコト云フガ如キコトニ對
シテハ同意シ難イ、削除スル、而シテ大禮ニ關スル記録編纂ノ費用ニ至ツテハ、是ハ費用其
物ニ對シテハ決シテ異議ヲ言フモノデハナシ、併ナガラ多クノ金ガ餘ッテソレヲ賞與トシテ分
配シタト云フガ如キコトハ不當モ亦甚ダシイ、併ナガラ皇室ニ多少ノ關係ヲ持ツベキ
モノト考ヘラル、ガ故ニ、誤ッテ事ノ支障ヲ生シ或ハ誤解ヲ招クト云フガ如キコトニ陷ルコ

トヲ遺憾トスルガ故ニ、之ヲ求メラル、手續ニ對シテハ甚ダ不滿デアアルガ、其
事ニ對シテハ此位置クト云フ意味ヲ以テ其費目ニ對シテハ贊成ヲ表スル、斯ウ云フコトガ
政友會ヲ代表シテノ意見デアリマス、次テ國民黨ヲ代表シテ鈴木梅四郎君ヨリ提案サレ
マシタ所ハ、大體追加豫算ヲ此時期ニ至ラズテ斯ク多岐ニ亘ルモノヲ求メラレタト云フコト
ニ對スル不滿ハ同一デアリマス、而シテ銀行局設置ニ關スル經費九千二百八圓ヲ削除
スル、其削除スルコト云フコトハ政友會ノ諸君トハ全ク違フデアリ、是ハ現在ニ於ケル課
スル、又ハ人ヲ増スト云フガ如キハ必要ナシト思フ、是ハ相當ナ人ヲ得サレハ十分
出來ルノデアリ、動モスレバ政府ハ民業ニ干渉壓迫ヲ加ヘタルコトヲ嫌ガサル、是等ノ費
用ハ決シテ協賛ヲ與ヘベキモノニアラズ、即チ政友會諸君ハ總豫算トシテ求ムベキ筈、斯
ウ云フ意味ヲ加ヘラレタノデアリマスガ、國民黨諸君ハ總豫算ニモ追加豫算ニモ斯様ナ
費用ハ協賛ヲ與ヘベキモノニアラズ、人ヲ得サレハ十分ニ行ケルノデアリ、又行カスノ
ガ相當デアリ、斯ウ云フ意味ニ於テ削除論ヲ唱ヘラレタノデアリマス、而シテ政友會諸君
ヲ代表サレタ官業整理調査ニ關スル經費ノ削除ニハ、國民黨諸君ハ同意ヲ表セラレナ
イデアリ、更ニ元フイレ會社ト云ヒマスガ、ブニエ會社ト讀ミマスガ、ドツチカ存ジマセ
ヌガ、先刻申上ゲマシタ熊本ノ質貨爲替事業ヲヤッテ居タモノヲ政府ノ方ヘ廢藩ノ際
ニ取上ゲタ、其損害ニ對スル八萬圓、大分縣ノモノモ併セタル八萬圓、是ハ決シテ救済
トシテ與フベキモノニアラズト云フ意味ヲ以テ削除スル、今一ツ第五號案ニアル米穀貯藏
研究ニ關スル經費ハ是ハ全然削除スル、即チ三萬二千六百圓デアリ、米價調節ノ如
キハ愚策中ノ愚策ニシテ更ニ利益ノ認ムルモノハナカッタノデアリ、今又米穀ヲ貯藏スル
倉ヲ建ルト云フコトハ愚策中ノ又愚策デアリ、一切效力ハナシト認ム、民間ニ於テ倉
庫ハ十分ニ拵ヘテ研究スベキモノハ研究シテ居ルノデアリ、斯様ナ事ヲシテモ何ノ效ハナ
イ、斯ウ云フ意趣ノ下ニ之ヲ削除スル、尙且ツ此追加豫算ヲ總體ニ對シテ會計法第
五條第二項ニ抵觸スル嫌ノアルモノガ多イノデアリ、將來斯様ナ事ハ改メラレムコトヲ望
ムト云フ警告ヲ附加ヘテ、是ヲ代表シテ淺野陽吉君ガ原案ニ贊成スルノ意見ヲ述
ベラレタノデアリマス、ソレハ主モニ削除ニ對スル意見デアリマス、銀行局設置ニ關ス
ル事柄ハ既ニ普通銀行並ニ貯蓄銀行ノ取締ニ關スル法案ガ、今回ノ帝國議會ニ
於テ兩院ヲ通過シテ法律トナッタノデアリ、其法律ニ依テ監督十分ニシナケレバ
ナラヌト云フコトハ、所謂臨時緊急已ムヲ得ザルモノト看做スベキモノデアリ、之ニ加
アラウ、斯クナレバ一層此銀行ノ事務ニ對シテ人ヲ増シ位地ヲ高クスルコト云フ必要ハ
アルノデアリ、故ニ是ハ削除説ニ反對、官業整理調査ニ關スル費用ヲ削減ト云フコトニ致
シテハ、官業整理ニ關スル調査既ニ進歩シテ今ヤ完結ヲセシメタル時ニ際シテ、尙十
分ナ調査ヲ努メナケレバ完キヲ得ヌデアリ、其完キヲ期スル爲ニ要スル費用ノ如キハ是ハ
協賛ヲ與フベキモノナリ、ソレカラ又步入會社ノ納金ニ關スル費用、是ハ數年ノ懸案ヲ
國家トシテ解決スル爲ニ八萬圓バカリ金ヲ支出シテ、此問題ヲ——此年々ニ起ル問題
ヲ解決スルコト云フコトハ穩當デアリ、故ニ贊成スル、米穀貯藏ニ關スル事柄ハ是ハ日本
ノ米ガ非常ニ上リ非常ニ下ルト云フガ如キコトハ、實ニ憂フベキ問題デアリ、何トカ研究
シテ貯藏ニ堪ヘルト云フ工風ト云フモノヲ研究シ盡サネバナラス、果シテ其倉庫ヲ設備
其宜シキヲ得タナラバ、或ハ蠲稅等ノ方法ニ依テ是ガ貯藏スルコトヲ得ルト云フ場
合ニ至レバ、多量ナ場合ニ於テ此價ヲ調節スルニ最モ便利デアリ、是ハ目下ノ問題トシ
テ多クノ農民ノ苦慮シテ居ル際デアリ、殊ニ米價調節ノ調節委員會モ組織サレテ、ソレ
ヲ調査進行ノ結果、斯ノ如キ事ヲ研究スルニ至ッタ以上ハ、之ヲ贊成シテ宜シイ、斯
ウ云フ意味ニ於テ原案贊成説ヲ述ベラレタノデアリマス、ソレカラ高木君ヨリ原案贊成

ノ意思ヲ述ベラレタリテアリマスガ、趣旨ハ此ニ表明シナイ、贊成デアル、已ムラ得ヌトス
ウ云フ説アリマス、雙方ノ論旨盡キタリト認メテ之ヲ採決致シマシタトコロ、銀行局
廢止ノ問題ハ理由ハ違ヒマス、結果ハ同ジコトアリマス、同一ニ合セテ問ヒマシタ
トコロ國民黨ト政友會ノ諸君ノ起立ニシテ、少數ヲ否決致シマシタ、其他官業整
理調査ニ關スル費用ハ政友會諸君ノ起立ノミデアリマシタ少數ヲ否決致シマシタ、步入
會社ノ納金——步入會社ニ對スル救済金、ツレカラ米穀ノ貯藏研究ニ關スル費用ヲ
削減スルト云フ國民黨ノ提案ニ對シテハ、國民黨所屬ノ委員ノミニ止マッタノデアリ、結
局原案ニ對シテ贊否ヲ問ヒマシタルトコロ、政友會諸君並ニ國民黨諸君ノ代表ニ係ル
委員諸君ノ外ノ起立アリマス、極メテ多數ヲ以テ原案總テヲ贊成スルコトニナッタノデ
アリマス、即チ此諸案ニ對シテハ可決ニ決定ヲ致シタノデアリマス、此段御報告ヲ
致シマス

(拍手起ル)

○齋藤圭次君 議長——委員長ニチヨット御注意シタイ事ガアリマス

○齋藤圭次君 後申上ケルト却テ複雑ニナラウト思ヒマスカラ此際申上ケマス、唯今

委員長ノ御報告中ニ大禮記録編輯費、之ニ付テノ議論ガ起ツ場合ニ於テ、是ハ總豫
算ニ編入スベキモノデアリマス、今更追加豫算ヲ要求スベキモノナイト云フ議論ガ起ツタ
云フ風ノ御報告デアリマス、是ハサウデハナクシテ大禮費ハ十分潤澤ナモノデアリタ
カ、今更追加ヲ致スベキモノナイト云フ趣意ナノ、總豫算ニ出スベキモノデアルト
云フコトハ無カッタヤウニ思フ居リマス、其點ヲチヨット御注意申シテ置キマス

○片岡直溫君 唯今齋藤君ノ御注意デアリマシテ、是ハ齋藤君ヨリ發議サレタノデア
リマス、其御本人ノ御正シナル方ガ間違ナシト思ヒマス

○副議長(早速整肅君) 成規ノ贊成ヲ得テ提出セラレタル修正案ガアリマス、先ツ鈴
木梅四郎君

(鈴木梅四郎君登壇)
(拍手起ル)

○鈴木梅四郎君 私ハ唯今片岡委員長ヨリ御報告ニナリマシタ全體ニ對スル我黨ノ
修正意見ヲ申上ケテ置キマス、第一ニ銀行局設置ニ關スル費用ヲ全部削減致シマス、理
由ハ斯様ナ次第デアリマス、大藏省ノ此銀行課ニ對スル費用ハ本年度ノ豫算ニ於テモ、
多少増加ヲ致シテ居ルノデアリマス、銀行條例貯蓄銀行條例ノ改正ニ依テ不長銀行ノ
取締ヲスル爲メニ要スルコト云フ要求デゴザイマス、ツレガ抑、謂レナイコトデアルト吾
吾ガ信ズルノデアリ、元來我大藏省ノ此銀行ニ對スル所謂監視ノ職務ト云フモノガ頗ル
疎漏千萬ナルモノデアリマス、ツレハ即チ大藏省ノ當局者即チ大藏大臣ヲ初メト
シテ、此問題ニ付テ、此事件ニ付テ深キ注意ヲ拂ハヌノデアリマス、今日不長銀行ノ取締
ヲ致シマス爲メニ課局ニ上セテ、サウシテ勅任ノ局長ヲ置クコト云フヤウナ高給ノ人ヲ
増シ、更ニ局員ヲ増スト云フヤウナ必要ハ少シモナイノデアリ、我國ノ今日ハ此會社銀
行及ビ個人ニ關シマシテモ、其信用ノ程度ヲ知ルベキ機關ハ十分ニ備ハッテ居ルノデアリ
マス、民間ノ銀行會社ニ於キマシテ、實際ニ金ノ借貸其他取引ノ上ニ就キマシテハ非常
ニ鄭重ニ扱フ、是等ノ信用程度ト云フモノヲ知ルノガナク、大事デゴザイマス爲メ、
十分ニ今日ノ完備シテ居ル世ノ中デアリマス、大藏省ノ官吏諸君ガ少シク注意ヲ致シ
マスレバ、人ヲ増シタリ費用ヲ増シタリシマセシテ、從前ヨリモヨリ多クノ立派ナ取締ガ出
來ルコトハ明白ナコトデアリマス、少シク此點ニ注意ヲ致シマスレバ何デモナイコト出來
ト思フ、縱令如何ニ勅任ノ局長ヲ置キマシテモ、或ハ局員ヲ増シタト申シマシテモ、今日マ
デノヤリ方デゴザイマシテハ決シテ其效ヲ奏スルコトハ出來ナイノデアリ、何ヲ以テ之ヲ言フ

カト言ヘバ、政府直轄デアルトコロノ興業銀行ニ於ケル不始末ハドウデアリマス、又大藏
大臣並ニ其他ノ人々ノ最モ惡意ヲ結シテ居タルトコロノ頭取ヲ有シテ居タル北濱銀行ノ
始末ハドウデアリマス、民間ニ於キマシテハ是等ノコトニ就テハ疾ク昔ニ宜シクナイト云フ
コトハ皆知ツテ居タル、唯知ラヌノハ町内テ亭主バカリナリト云フ川柳ガアリマス、知ラヌ
ハ大藏省バカリ、斯様ナ既ニ大ナル事實ヲ以テ不取締ノコトヲ暴露シテ居ルノデアリマ
ス、縱令勅任ノ局長ヲ増シタリト雖モ、局員ヲ増シタリト雖モ、今日マデノ如キ御考ヲ以
テヤラシマシタナラバ何ニモナラナイ、局長ヲ置カストモ、局員ヲ増サストモ、今日發達シタ
トコロノ信用程度調査機關ヲ利用致シマシテ、少シク役人タルノ本能ヲ發揮シマスレバ、
今日ノ現在ノ職員十分ニ取締ガ出來ルト私共ハ考ヘル、此意味ニ於テ今一ツハ此勅
任ノ局長ヲ置イタリ局員ヲ増スト云フ結果ハドウナルカト申シマス、唯今申スヤウニ、
一方ニ非常ニ不取締ヲスル位デアリマス、今度ハ此増サレタルトコロノ役人ガ仕事ヲ
スルガ爲メニ善長ナルトコロノ銀行ニ對シテ、無用ノ手數ヲ掛ケ無用ノ干渉ヲシテ、實業妨
害ヲスル恐レガアルノデアリマス、此二ツノ意味ニ於キマシテ吾々ハ此費用全部ヲ削減致
ス者デアリマス、次ニ元步入會社納金ニ關シ救済金ヲ與ヘルト云フ、此救済金八萬圓
ハ是モ全部削減致シマス、此元步入會社ノ成立經過、是ハ私共モ十分ニ存ジマセヌ、
存ジマセヌハ此事タルヤ民間ニ於キマシテハ頗ル忌ムベキ風説ヲ傳ヘテ居ルノデアリマス、
是ハ此席デ私ハ申スニ忍ビマセヌケレドモ、併ナガラ言ハザレバ事情ガ分リマセヌカラ申上
ゲマスガ、現内閣ガ昨年ノ總選舉ニ當リマシテ——所謂總選舉前カラ議員買収其他イ
ロ／＼ナコトヲ致シマス、就テ種々風説ヲ流シタ、就中此步入會社ニ對スル八萬圓、
此八萬圓ト云フモノハ即チ現内閣ガ議員買収ノ此惡事ガ現ハレテ、サウシテ愈々大臣ニマデ
モ累ヲ及ボサントスルニ至ッテ、内閣談ヲ致シテ林田書記官ガ一切此問題ハ一身引受ケテ
累ヲツレ以上及ボサナイト云フ内閣ノ下ニ(拍手起ル)此八萬圓ヲ出シテ林田君以下ニ
與ヘルト云フ約束ガ出來テ、此取締ノ進行ヲスルコトニシタ、斯様ニ民間デハ盛ニ唱ヘ
テ私共モツレヲ聞イタノデアリマス、勿論私共ハ左様ナコトノアルベキモノナイト云フコト
ハ信ジテ居リマスガ、併ナガラ現内閣ノヤリマシタコトニ就テハ種々非難ノ評論ガ多
ク、此問題、如キハ最モ甚シモノデゴザイマスカラシテ、私ハ當席ニ於テ此風説ヲ自
ラハ信ジマセヌケレドモ御紹介ヲ致スノデアリマス(拍手起ル)若モ斯様ナコトガ無イトハ
信ジマスガ、或ハ誤ッテ左様ナコトデアリマス形カアルトシマス、此八萬圓ノ金子ハ
政府カラハ出マスガ何人ノ手ニ是ガ渡ルカ分ラヌト云フ疑モアルノデアリマス、又斯様ナ
モノニ救済金ヲ與ヘル一ノ例ヲ開キマシタラバ、又續キテ古イコトヲ申立テ、政府
カラ金ヲ貸ハウト云フコトノ運動ガ盛ニ起ッテ來ラウト思フノデアリマス、斯様ナ譯
デゴザイマシテ、此步入會社ニ對スル民間ノ疑ト云フモノハ最モ不祥ナルトコロノ風説ヲ
來シテ居ルノデアリマス、旁、私共ハ國庫ノ現在ニ於テ此ノ如キモノヲ、殊ニ追加豫算ト
シテ之ヲ提出スルニ至ッタルト云フコトハ、餘程此風説ニ裏書ヲスルガ如キ何カ意味ヲ添
ルヤウニ思ハレルノデアリマス、斷々乎トシテ是ハ削減致シマスノデアリマス、次ニ追加
第二號案ハ全部ノ削減致シマス、是ハ則チ米價調節費ノ一部分ヲ説明ヲ求メ
マスレバ倉庫ヲ建テタルカ云フコト、金額ハ二萬二千八百圓デゴザイマスガ、元來政府
ノ種々ナル失策ノアリマス中ニ私共ノ最モ失策ノ著シモノ、中ニ勘定員長ガ私ノ意
見ヲ御取次ニナリマシタガ、更ニ私ハ重テ申シマス、愚策中ノ愚策、斯様ナル時勢後
レノ政策ト云フモノハ世界何レノ方向ヲ尋ネテモゴザイマセヌトコロノ愚策デアリマス、我
國ノ米價ニ就キマシテハ昔以來ノ歴史ガアリマス、此商工業ノ實際ヲ知ラナイトコロノ
所謂殿様の役人ガ、此米價ノ調節ニ就テハ數百年來種々ナル苦勞ヲシテイロ／＼ナコ
トヲシタノデアリマス、ケレドモ、此多額ニ產スルトコロノ米價ノ調節ナドト云フコトハデ

ス、日本ノ鎖國時代ニ於テデス、日本帝國限リノ時代デアッテ、政權ハ總テノ人ヲ縛ル
コトモ出來殺スコトモ出來、其政權ノ最モ偉大ナル舊時代ニ於キマシテサヘモ、此米價
ノ調節ト云フコトハ到底出來ヌモノデアルト云フコトハ、歴史ノ二證明シテ居ルデアリ
マス、況ン今日ハ我帝國ガ世界のニナツテ居ル、米ノ產地ト申シマスハ日本ハカリデナ
御承知ノ通り諸方ニ澤山ヨリ多ク、米ヲ産スル處ガアル、米價ト云フモノモ世界のノ事情
ニ依ッテ騰下リ下リタルスルノデゴザイマスカラシテ、ナカク、此米價ノ調節ト云フコトガ
デス、人カ力ヲ以テヤルト云フコトハ餘程愚人デナケレバ金テナイコトデアル、是ハ自然ノ調
節ニ委セル、唯併シ自然ノ調節ヲ妨ケルトコロノ妨害物ヲ取ルト云フコトハ必要デゴ
ザイマセウガ、其以外ニ人爲ヲ以テイロノ手段ヲ加フルト云フコトハ、到底今日時
勢通レノ最モ甚ダシイ愚策デアルト云フコトハ斷言スルニ憚カラヌデアリマス、現ニ昨年
政府ガ實行致シマシタコロノ実績ニ付テ私ハ申シマス、即チ政府ガデス、此米價調節
ヲヤル爲ニ此米ヲ買フト云フコトガ極デタツト云フコトハ聞キマシテ、又御用商人ニ命ジ
テ買ヘト云フ命令ヲ下シタツト云フコトハ聞キマシテ、其御用商人ノ一類カ或ハ一類デナ
クテモ早耳カ知レマセヌガ、其事アルヤ市場ニ向ッテシテ、買テ出シタノデアリマス、先
走ッテ即チ諸ケヤウト云フ是ハ商賈人ノ普通ノヤリ方デゴザイマスガ、盛ニ買出シタ、ウレ
ガ爲ニ一時米價ハ確カニ騰貴シマシタ、併シ愈價ガ少シ騰リマス時ニ方ッテ政府ノ買
高ガノ位ト云フコトガ段々分ッテ來タ、分ッテ來タモノデスカラシテ長ク持ッテ居リテ損
行クト云フコトハ、其買ッテモノヲ政府ガ急買ヒ掛ケルト云フト見込買ッテ奴ガドシ
賣ッテ、此故ニ買掛ケヤウトシタ時ハ米價ハ少シ騰貴シタレドモ、反對ノ二買ッテ奴ガ一
時ニ賣リ出シタガ爲ニ非常ニ下落シタ、即チ此政策ヲ行ッテ爲ニ非常ニ平地ニ波瀾ヲ
起シテ、米價ノ激騰激落ヲ茲ニ來シタツト云フ結果ニナル、此間ニ立ッテ幾多ノ損失ヲ來
シタ者ガノ位アルカト云フコトハ、私ガ申シマセヌデモ東京市中及大阪方面ニ於テ續々
實例ガアルデアリマス、米價ヲ調節セントシテ米價ヲ激騰激落セシメテ、商工業者ニ非
常ノ損失ヲ與ヘタ、ソレカラ今一ツハ副産物トシテ斯様ノ惡結果ヲ來シタ、政府ガ斯様
ナ愚策ヲ行ヒマセヌデアリマシタナラバ、昨年ノ米價ノ下落シタ時ニ方ッテ南米カラ非常
ニ注文ガアル、其注文ニ應ズル略約束ガ出來タ、即チ輸出セントスル迄ニ至ッテ、然ル
ニ政府ガ斯カル愚策ヲ實行シヤウトスルコト聞キマシタカラ、此輸出ノ商談ハ忽テ破談
トナリマシテ輸出ハ止マツテ、輸出ハ止マツトデアリマスカラシテ大體カラ申シマセヌ
非常ニ米價ノ恢復ヲ妨ケテ居ルト云フコトニナル、若モ斯様ノ惡策愚策ヲ行ヒマセヌ
ラバ、南米ニ輸出シタ高ダケハ内地ノ米ガ減ルデアリマスカラ、自然ノ結果トシテ米價
ガ自然ニ騰貴シテ來ルベキ管デアッテ、トコロガ此愚策ヲ行ッテ輸出セントスルモノヲ止メタ爲
ニ、却テ其禍ハ今日マデ未ダ恢復シナイ、餘響ヲ受ケテ居ル、斯様ナコトニナツテ居ル
デ、帝國ノ米ノ産額モ少クテ六千万石モアラウト云フコトハ、世界ノ米ノ産額ハ非常ニ
ノデアル、此價ノ騰下リ下ルト云フコトハ世界のノ原因事情ニ依ッテ騰下リ下ルトデアリマス、
日本政府ノ區々タル少額ノ金ヲ以テ此價ヲ調節シヤウトカナント云フコトハ、此二十
世紀ノ今日考ヘラドト云フコトハ、非常ニ間違ッタ、是ハ帝國ノ恥辱デアルト私ハ
考ヘマス、斯様ナ意味ニ於キマシテ二万二千圓ト米倉ヲ建テ、何ニナリマスガ、私共
ハ斯様ナ意味ニ於テ是モ反對スルデアリマス、更ニ附加ヘテ置キマスガ現内閣ガ當年
度ニ於キマシテ此追加豫算ヲ出シマシタコトハ、非常ニ是ハ私ハ濫發ト申シマス、此追加
豫算ノ中ニハデス、追加豫算トシテ出サナイデ宜イモノモナカク、アリマス、然ルニデス、會
期ガ切迫ノ今日、之ヲ出シマシテ十分ナル審議討論モスルコト出來ナイヤウナ時ニ、斯
様ナ澤山ナルモノヲ出スト云フコトハ、立憲の政府トシテ爲スカラザルコトデアルト私ハ
信ズルノデ、實ハ是迄ノ慣例ニ依リマシテ追加豫算ハ直ニ豫算委員會ヘ掛ケラレタノデ
スガ、是ハ私共ハ本筋デナイト思フ、此追加豫算モヤハリ衆議院ニ提出シテ此處デ當

局大臣カラ一般ニ説明ヲ致シマシテ、之ヲ豫算委員ノ手ニ付シテ審議討論ヲシナケレバ
ナラヌ管デアル、何ゼナレバ斯様ナ結果ニナル、今日ノ實際ノ御話ヲシテモ分ルデアル、此
追加豫算ハ數日間吾々ハ豫算委員會デ審議討論ヲ致シマシタガ、豫算委員デナイ諸
君ハ殆ド御承知ガナイ(ヒヤク)殊ニ今日午後ニ於テ豫算總會デ決定シタモノヲ、直
グニ此處デ以テ緊急動議トシテ提出サレテ、今此處デ議論中デアリマスカラ(拍手起ル)
此議員諸君ノ中ニ豫算委員ノ外ハ今日此議事ノアルト云フコトヲ知ラヌ人ガ多イデア
ル(拍手起ル)即チ豫算委員デケデ之ヲ議シテサウシテ決定シマシタツト云フ結果ニナルノ
デアリマス(横暴々々)ト呼フ者アリ)慎重審議ヲ要スベキ豫算ト云フモノヲ斯ル不十分
ナルトコロノ審議ニ付シテヤルト云フコトハ甚ダ以テ怪シカラス、即チ立憲政治ノ本義ニ
背イタトコロノ結果ニナルデアリマス、旁、此追加豫算ト云フモノハ法律デモ必要已
ベカラザルモノ、外ハ出スベキモノデアリナイデアリマスガ、此現政府ノ出シマシタコロノ豫
算ハ左様ナ意義ノモノガ少シアルカ知レマセヌガ、大部分ハ私ハサウデナイモノト認メテ
居ル、濫發ト云ハナケレバナラヌ、此意味ニ於キマシテ政府ニ向ッテ將來此ノ如キ非立
憲ナルコトハ爲スカラズト云フノ警告ヲ與ヘル者デアリマス

(拍手起ル)
○副議長(早速整爾君) 次ニ齋藤珪次君
(齋藤珪次君登壇)

(拍手起ル)

○齋藤珪次君 我ハ本追加豫算ニ對シマシテ、遺憾ナカラ否決スベキ點ヲ申上ケザル
ヲ得ナイデアリマス、併シウレニ付キマシテハ委員長カラ洵ニ能ク明細ニ御説明ガアリマ
シタカラ、敢テ私ハ多クノ蛇足ヲ添ヘナイ積リデゴザイマス、唯遺憾ナノハ大禮記録編纂
費ニ對シマシテノ事柄ハ、委員長ノ御説明以外ニ言ハサルヲ得ナイ點ガアル(謹聽々々)
ト呼フ者アリ)ソレハ洵ニ已ムヲ得ナイ譯デ、此點ニ付テハ國民疑惑ノナキヤウ、立派ニ
此事柄ガ明瞭ニナルベク吾々ハ政府ニ向ッテ質問ヲ致シマシタ、此質問ニ對シテ政府
ハ斷然ウレ以上ハ答辯出來ヌト云フガ如キ制限ヲ付セラレタシマシタ、此質問ニ對シテ政府
員會ニ於テモ質問打切リト云フヤウナ場合デ、吾々ハ幾多ノ疑問モ申上ケルコトガ出來
ナイ點モアリマシタノデ、是ハ吾々ガ獨リノ之ヲ遺憾トスルノミナラズ、政府ニ於テモ必ズ遺
憾デアラウと思フ、今日ノ豫算委員會ニ於テ洵ニ曖昧ノ間ニ終ッテ點ガアルデアリマ
ス、是ハ政府御自身モ餘程遺憾デアラウト思フカラ、相當ノ時機ニ於テ是ハ政府モ明
カニナサルコトガ必要デアラウト思フ、ウレニ關聯シテ私ハ自分等ノ考ヘテ居ルコトモ之ヲ
明カニシナケレバ、天下ニ疑ヲ懷イテ居ル者ガ多クアル、斯様ナコトヲ憂フルデアリマス
カラ、其點ハ委員長ノ申サレタ以外少シクドウカ時間ヲ御與ヘテ願ヒマス(謹聽々々)ト
呼フ者アリ)其代リ委員長ノ説明セラレタ點ニ付テハ、私ハ委員長ニ讓ッテ多ク申サナ
イ、ツマリ第一ニ於テ銀行局新設ノコトノ如キハ、是ハ委員長ノ御話ハ實ニ其要ヲ盡シ
テ居リマシテ、私共ガ此銀行局設置ヲ全然否認スルモノデハナイ、併ナガラ此ノ如キ行
政課ヲ以テ局ト改ムルガ如キコトハ、政府トシテハ豫メ斯様ナコトノ見込ハ、立タナクテハ
ナラヌ管デアル、法律案ヲ出シテ貯蓄銀行法ヲ改正シタ、滿洲日支銀行ヲ造ッタカラ
課ヲ局ニシナケレバナラヌト云フガ如キ、左様ナル淺薄ノモノデハナカラウ、苟モ内閣ニ立ッ
テ此國政ヲ執ル以上ハ、此ノ如キ施設ヲ爲スト云フガ如キコトハ、豫算編成ノ當時ヨリ
既ニ胸中ニナケレバナラヌ管デアル、然ラバ此ノ如キコトハ豫メ總豫算ニ於テ協賛ヲ求
メルコトガ至當デアッテ、唯銀行ノ監督ト云フ法案ガ兩院ヲ通過、新ナル銀行ヲ造ルモ
ガ議會ヲ通過タカラシテ、課ヲ局ニセント云フガ如キハ、如何ニモ怠慢ナ仕方デアル、是ガ若
シ議員諸君ヨリ提出シタ案ニシテ、兩院ヲ通過シタ茲ニ初メテ行政機關ノ擴張ヲ要ス
ルナラバ、ソレハ一步讓ッテモ宜シイケレドモ、自ら提案シテ此計畫ヲ爲シ、其仕事ヲ爲
スノニ急ニ課ヲ局ニシナケレバナラヌト云フガ如キハ、如何ニモ疎忽千萬デアッテ、是デ國

家ノ大政ヲ料理スルコトガ出來ルカト言ヒタイ位アリマス、故ニ私ハ此見地ヨリシテ、此ノ如キコトハ將來ノ爲メニ經常豫算ニ出スベキモノデアラフ、決シテ追加豫算トシテ提出スベキモノデアライト云フ意見カラ、遺憾ナガラ茲ニ反對ヲ致スノデアリマス(拍手起ル)第三ニ官業整理調査費ノコトニ關シテハ、是ハ現内閣トシテハ全ク追加豫算ナラフ出ス額ハナカラウト私ハ思フ居ル、即チ一昨年現内閣ガ成立スルヤ、官業ヲ整理シテサウシテ民業ニ移スベキモノハ移スト天下ニ呼號シテ、而シテ之ヲ政綱ニ掲ゲタノデ、恰モ或種類ノモノハ來月一明日ニモ之ヲ民業ニ移シテ、此官業ノ整理ヲ爲スト云フガ如ク標榜セラレタノデアアル、隨テ一昨年ノ冬ノ議會即チ二十五議會ニ於テ、幾多ノ議員ヨリシテ是ガ經過ヲ質問スルヤ、政府ハ官業整理ノコトハ大ニ進行シテ居ル、調査大ニ進ミタリト斯様ニ申シテ居ル、越テ昨年臨時議會即チ三十六議會ニ於テ尙此質問ヲ起スヤ、政府ハ愈々調査ハ進メタリ、而シテ其實施モ之ヲ民業ニ移ストカ或ハ合併スルト云フガ如キコトハ、殆ド急卒ニ爲スガ如キ態度ヲ現ハシタノデアアル、爲メニ多クノ議員モ之ニ信賴シテ、敢テ追聲ヲ致サナカッタノデアアル、所テ今日ニナッテ突如トシテ此整理スル費用ヲ出スト云フガ如キハ、何知ニモ前後撞著ノ甚シキモノデアアル、斯ノ如キコトガ必要デアレバ何故總豫算ノトキニ是ガ現ハレテ居ラヌデアアル、整理進マザレバ則チ政府ノ怠慢ハ、業ニ已ニ其總豫算ノ編成ノトキニ於テ現ハレテ居ルデアアル、然ルニ之ヲ總豫算ノキニ敢テ編成セズ、今ニ至ッテ突如トシテ之ヲ提出シ、其口實ニ曰ク今日マデハ經常費ヲ以テ支辨ニ充テタルガ、最早能ハザルガ故ニ此經費ヲ要求スルト云フ、果シテ然ラバ今日マデ何モ此官業整理ト云フコトハシナカッタノデアアル、政府ハ左様ニ曰クニハ言ウテ居ラマケレドモ、事實ニ於テハ何事モ爲ス能ハズシテ、今此ニ費用ヲ請求シテ是カラ整理ヲ爲スモノデアナイカト私ハ思フ、殊ニ事實ニ於テ幾多ノ調査ガ進シタ仰シヤルガ、官業整理ハ一トシテ現ハレテ居ラヌ、而モ言多クシテ海ニ功ヲ誇ルニ巧ミナル現内閣デアレバ、一ツアモ是ガ整理ガ出來タナラバ、新聞ニ或ハ其他ノ方法ヲ以テ必ス公ニスベキ答デアラル、ケレドモ今日一トシテ左様ナコトガナイ、是ハ全ク事實ニ於テ整理ノ進シテ居ラザルヲ證スルモノデアルト私ハ思フ(拍手起ル)今日ニナッテ此自分ノ怠慢ヲ隠スガ如ク、急遽爲サントシテ此費用ヲ要求スルガ如キコトハ、如何ニモ人ヲ欺クノ甚シキモノ、嗚著セントスルノ甚シキモノデアッテ、私ハ斯ノ如キ嗚著スル費用ハ飽マデ協賛スルコトガ出來ナイ、是ガ其趣旨デアリマス、是ダケガ反對デアリマスシテ、大禮記録ノ編纂ニ付テハ委員長ノ御報告ガアリマシタ通り、私共ハ政府ヲ詰責シテ協賛ヲ與ヘル、併ナガラ是テ付テハ幾多ノ疑點ガアル、既ニ此大禮記録編纂ニ付テハ、豫算委員會ニ於テ幾多ノ質問ガ同僚諸君ヨリ起リタ所以ノモノハ、歸スル所此大禮費ト云フ費用ノ費途ニ付テ、幾多國民ガ疑心ヲ持テ居ルト云フコトカラ起ツテ來タ、ウレハ去頃ニ於テ幾多ノ新聞ガ、大禮ノ費用ハ巨額ノ殘餘ヲ生ジタ、二十萬圓カラ費用ト云フモノハ之ヲ賞與ニ與ヘタ、關係者ノ賞與ニ使用シタト云フコトガ天下ノ新聞ニ現ハレタ、此ニ於テカ總額ノ五分カラノモノガ賞與トシテ使ハレタト云フガ如キコトハ、實ニ驚クベキモノデアルト云フコトカラ國民ガ驚イタ、而シテ其大禮ニ付テハ一面カラ見レバ、果シテ國民ハ如何デアッタカ、此御大禮ノ賜與若クハ御召ニ付テ皆滿腔ノ歡ヲ捧ゲテ居ルカト云ヘバ、勿論皆名譽ノ至リトシテ、陛下ノ恩召ニ對シテハ何人モ之ニ對シテ感謝ノ意ヲ表サザル者ガナイ、實ニ子々孫々ニ至ル迄名譽トシテ之ヲ稱シテ居リマスケレドモ、其取扱ニ付テハ奉行スル人ノ行爲ニ付テハ、是ハ多少ノ缺點アルヲ認メテ居ル者ガアルデアリマス(拍手起ル)是レ即チ私共ガ豫算委員會ニ於テモ政府ニ質問ヲ致シタ次第デアッテ、私共ハ決シテ不平ト云フ意味デハナイ、委員長ノ御言葉中ニハ不平ト云フ語ガアリマス、私共ハ不平ノ語ヲ以テ、意味ヲ以テ政府ニ質問致シタノデアナイ、實ニ陛下ノ渥シキ恩召デ彼ノ大饗宴ノ如キ御盛宴ニ御召シニ與ヘタノハ身ニ餘ル光榮デアアル、而シテ之ニ臨ミマシテ參列員心得書ガ授ケラレ

デアルガ故ニ、之ニ依ッテ恭シク吾々ハ進退動作ヲシタモノデアアル、然ルニ此參列員心得書ナルモノニ依レバ、吾々ハ休憩所ニ依テ椅子ニアリツケサウデアアル、然ルニ椅子ナシ、舞樂場ニ入ッテ舞樂ヲ拜觀セントスレバ其席ニ於テ起立シテ、陛下ニ敬禮セヨト云フケレドモ、吾々ハ最初カラ起立シテ居ッテ決シテ差圖ヲ受ケテ起立スルノデアナイ、而モ其起立シテ居ル有様ハ六重ニモ七重ニモナッテ居ルガ故ニ、幾多モ陛下ノ御出御サヘモ窺フ能ハザル事情ガアッタノデアアル、爲メニ斯ノ如キコトハ大御心ノ上ニ於テハ副ハザルコトデ、斯ノ如キコトハ大御心ニ對シテ實ニ畏多イコトデアアル、是ハ如何カ下僚ノ間違カラ起ツタノデアアラウカラ之ヲ伺ヒタイト云フコトヲ私ハ質問シタノデ、是ハ實ニ左様デゴザイマセウ、誤リテ之ガ陛下ノ御恩召タル此準備ニ不十分ナリトシテ、之ヲ大體使其他ニ罪ヲ被セタナラバ畏多イコトデアアラウ、併ナガラ或ル一部ノ下僚等ノ者ノ誤リカラ斯ノ如キコトヲ起シタトスレバ、私共ハ決シテウレデ答ヘハ申サヌ、爲メニ此事ヲ是ハ確カニ誤リデアアラウ心得書ニ照シテ斯クアルベキ答ガナイカラト云フコトデ私ハ大藏大臣ニ質問致シタ、即チ國務大臣ニ質問シタ、大禮ハ國務大臣アルガ故ニ國務大臣ニ質問シタコトガ、大禮使長官ニ屬スルコトデアアル、即チ答ヘ出來ヌト仰セラレタ、是モ無理モナイトシテ今日迄御待ヲ致シマシタガ、此御答ハゴザイマセヌ、取調ガ出來ナカッタ申シテ御答ガナイ、其答ヲ聞キモシナイデ此演壇ニ於テ此豫算ヲ議スルト云フコトハ、私共ハ實ニ遺憾デアッテ、與黨諸君ト雖モ是ダケハ御同論トスレバ、是モ一理アリマスカラ敢テ今更申マセヌガ、併ナガラ此點ニ付テハ何ハザルヲ遺憾トスルノデアリマス、他ノ又同僚諸君ガ此費用ニ付テ疑ヲ生ジテ來タ、又私共モ大禮記録編纂ト云フコトハ確カニ大禮費ノ中ニ含マレテ居ルコトヲ確信致シテ居ル、此國家ノ大典、陛下御一代ノ大儀典ヲ擧ゲラレテ、此記録ヲ作ルトコロノ費用ヲ遺漏スルト云フガ如キ、左様ナル淺臺ナコトハ國民トシテシナイ答デアアル(拍手起ル)故ニ是ハ確カニ極メテアルト信ジテ居ル、又確カニ聞イテ居ル、此事ガ極ッテ居タ、而モ繪卷物ノ如キ、即チ御儀式ヲスカリ記載スルトコロノ繪卷物ノ如キハ、一通ト云フノヲ二通ニマデ増カスルコトモモ極ッテ居タ、寫眞ハ如何ニスルカト云フコトモ極ッテ居タ、而シテ是等ノ記録總テ完全ニ出來ベク極ッテ居タト云フコトハ、私共ハ確カニ拜聽致シテ居ル、ウレレ今日ニナッテ大禮記録ヲ此處ニ追加豫算トシテ出スト云フコトハ、抑、私共ハ此出シタト云フコトガ頗ル不敬デハナイカ、落チテ居タトスレバ全ク斯ノ如キ不束ナ話ハナイ、又落チザレバ是ハ何デアルカ、左様ニ極ッテ居タモノヨ或ル點ニ流用シテシマッタト云フ罪ガアリハセヌカト云フコトヲ疑フノデアリマス(拍手起ル)ウレ故ニ之ヲ明カニシナケレバ國民ニ對シテ相濟マヌト信ジタ、サウシテ之ニ付テハ即チ流用シタカ、賞與ニ多ク使ッタト云フ說ガアリマスカラ、豫算委員會ニ於キマシテハ、賞與ニ非常ニ使ッタト云フガウレハ幾ラ使ッタデアアルカ、斯様ナ議論ガ出來タ、ウレレ大藏大臣ハウレハ調ベテ答ヘマスト申サレタ、本日其御答ニ依リマスレバ賞與ハ給與發令額ト云フモノガ二十四萬千五百五十圓、之ヲ人員ニ於テ六百八十八人デアアル、一人前ニスレバ四百圓未滿デアアルカラ餘リ大シタモノデアナイト斯ウ云フコトデアリマス、然ラバ最高ハ如何、最低ハ如何、ウレレ聞キタイト云フト大藏大臣ハ其以上ハ斷ジテ御答ヲ最高ハ如何、最低ハ如何、是ニ於テ平愈、私共ハ疑フ懷カザルヲ得ナイ、既ニ公ニ斯様ニ二十四萬千五百五十圓ノ賞與トシテ與ヘタトスレバ、此最高最低ヲ言フモ何ガ恐ル、コトハナイデアラウ、然ルニ之ヲ言ハザルノハ其處ニ愈々疑點ガ増スデアリマセヌカ、爲メニ私ハ尙一步進シテ之ヲ聞キタイト思ツタ、即チ吾々ガ世間カラ承知シテ居ルコトコロノコトニ依ッテ見レバ、是等ノ金ハ實ニ意外ニ使ハレテ居ルト云フコトヲ承知シテ居ル、而シテ此餘タ金ハ何デ餘タカト申シマスレバ、殘餘ノ金ハ何デ生ジタカト云ヘバ、私ノ承知シテ居ル所デハ紫宸殿ノ費用ニ於テ十五萬圓、ウレカラ二條離宮ノ大饗宴ニ於テ十萬圓、悠紀

シテハ、唯今御聽ノ通りニ政友會國民黨ノ理由トスルコロハ多少異シテ居ルコロガアリマス、國民黨ノ鈴木君ノ反對サレタコロハ、銀行局ヲ設ケルト云フコトハ必要ナイモリデアル、現在ノ人ヲ以テ之ヲ行フテ行ケバ其事務ハ確ニ辨ズベキモノデアル、之ヲ若シ更ニ人ヲ増スト云フコトニナツタナラバ、徒ニ其仕事無キニ苦シテ無用ノ干涉スルコトニナルデアラウト云フ、斯ウ云フ論旨デアッタヤウデゴザイマス、唯今ノ人員ニ於テ果シテ現在ノ普通銀行貯蓄銀行其他ノ各銀行ノ澤山ナルモノニ對シテ、監督ガ十分ニ行屆クヤハ否ヤト云フコトニ付テハ、此ニ之ヲ議スルノ必要ハナクシテ、實際ニ於テ現在ノ此金融機關界ノ狀態ヲ見ラルル人ニハ、確ニ之ヲ知り得ルコトデアラウト考ヘマス、是マデニ於テ銀行ノ追々破綻ヲ生ジ不具銀行ノ地方ニ於テ種々ナル害毒ヲ流スト云フコトニ付テハ、是ハハイロ／＼ノ原因モアリマセウケレドモ、其一ツノ責ハ政府ニ於テ之ヲ取締ルコトヲ監督スルコトノ周到ヲ缺イデ居ルト云フコトヲ算ヘナケレバナラヌト思フ、政府ニ於テモ此點ニ就テ其缺陷ヲ感ズルコトガアツタラウトハ考ヘマスケレドモ、是マデニ於テ費裁節減行政整理ト云フコトノ聲ハ頗ル囂シキ有様デアリマシタノデ、此場合ニ於テ更ニ人ヲ増シ課ヲ局ニ陞セルト云フコトハ容易ナラザルノ施設デアルカラシテ、此點ニ付テハ政府モ餘程心配サレテ居タラウト思フ、併ナガラ既ニ從來ニ於テモ其缺陷ヲ感ジ、更ニ今更ニ普通ノ銀行貯蓄銀行等ニ付テノ條例ノ改正ヲ行ヒ、又日支銀行滿洲銀行等ヲ此ニ新設スルト云フコトニナリマシタナラバ、更ニ此銀行ノ監督ノ事務更ニ其他ノ業務ノ其多キヲ増スト云フコトハ、是ハ言フヲ踰タヌコトデアル、此場合ニ於テ在來ノ人ヲ以テ在來ノ人ノ智識ヲ持テ居ル者ハ確ニ其不可ナルコトヲ信ズルダラウト思フ、現在ノ人間テ足レリデ居ル有様ヲ熟知スル者ノ、何人ト雖モ之ヲ否ムコトノ出來ナイコトデアラウト思フ、又

人ヲ増シテ結果却テ其無事ニ若シテ無用ノ干渉ヲスルデアラウト云フコトハ、是ハ國民
黨ノ鈴木君ノ御議論トシテ、御議論トシテハ宜シウゴザイマスグレドモ、實際ニ於テハ吾
ハ餘リ感服スル議論デモナシ、又餘リ之ヲ辯駁スルノ價值ハ無イト考ヘルデアリマス、
政友會ノ此銀行局設置ニ關スル經費ニ對シテノ反對ハ、國民黨ノ主張サル、所トハ其
理由ヲ異ニシテ居ルデアリマス、政友會ハ吾等ト同シク此銀行局設置ト云フコトハ必
要デアルト云フコトヲ認メラレテ居ルデアリマス、此點ニ付テハ吾等ト同一意見ヲ持ッ
居ラル、ノデアリマスガ、唯異ナル所ハ必要ハ必要デアレドモ、斯ウ云フコトハ既ニ豫
算編成ノ時分ニ於テ豫メ出來タコトデアリハシナイカ、之ヲ追加豫算ヲ以テ請求スル
云フガ如キハ、如何ニモ事ノ大體ニ於テ甚ダ豫メ劃策ノ無イ結果デアリハシナイカ
併ナガラ此銀行監督ノ爲ニ課ラシテ居ルニスルト云フコトハ、政府ニ於テモ吾等ハ早クカ
ラ其必要ヲ感シテ居タルハナカラウカト思フ殊ニ最近殊ニ法律案ヲ提出シ銀行條例
ヲ改正シ、若クハ日支銀行滿洲銀行ヲ新設スルト云フコトヲ決定シテ、之ヲ議會ニ提出
スルコトニナッテ其必要ヲ故ラニ感シテ、此追加豫算ニ請求シタモノデアラウト思フ、之ヲ
豫算編成ノ時分ニ豫メ見ルコトノ出來ナカッタ云フコトハ吾等ハ此事ノ順序ノ運ビテ
餘リ審ニセザレバ、否ラザレバ同情ノナキ議論デアリハシナイカト考ヘルデアリマス、吾
等ハ知ル所ニ依レバ、政府ノ總豫算編成ハ昨年ノ十月ニ終リテ告ゲタ云フコトデアリマ
ス、此昨年ノ十月ニ終リテ告ゲタ所ノ此總豫算編成ハ際ニ於テ、或ハ日支銀行滿洲銀
行等ノ計畫ノ絕對ニ無イト云フコトモ言ハレマイト思フ、又銀行條例ノ改正、是等ノ事
ニシテモ其必要ヲ感シテ當局ニ於テ之ヲ調査シテ居ラナカッタ云フコトハ言ハレマイト思
フ、併ナガラ其決定シテ之ヲ議會ニ提出スルハ相當ノ期間ヲ要スルト云フコトハ、
是亦掩フベカラザル事實デアラウト吾等ハ信ズルデアリマス、在來ノ事務ノ外ニ更ニ新
シキ法律ノ改正、新シキ銀行ノ設立ト云フガ如キモノガ段々ト順テ逐テ此ニ現レテ
來、而シテ之ヲ決定スルマデハ豫算編成後相當ノ時日ヲ要シテ居ルト云フコトハ、是
ハ吾等ハ掩フベカラザル事實デアラウト思フ、然ルニ之ニ向ッテ豫算編成ノ時分ニ此事ハ分
テ居ルベキ事デアルノヲ豫定シナカッタ云フコトハ、甚ダ政府ノ怠慢デアルト云ガ如キハ
吾等ハ事ノ實際ヲ審ニセザルノ議論デアリハシナイカト考ヘルデアリマス、次ニ官業整理
ニ關スル經費ニ就テハ、政友會ノ諸君ヨリ反對ノ御意見ガアッタデアリマス、是モ政
友會諸君ノ言ハル、通りニ、官業整理ト云フコトニ就テハ、政府ガ早クテ著手シテ居
タニ違ヒナイ、併ナガラ此整理ト云フモノ、調査ハ一朝一夕ニシテ了スベキモノデハナ
イ、今尙進行ノ途中ニ在ルデアリマス、而シテ豫算編成ノ時分ニ於テ既ニ政府當局
ノ辯ズルガ如ク、成ルベク之ニ關スル所ノ新シキ經費ヲ要求セズシテ、經常費ノ中カラ
繰合ハシテ行カウト云フ考カラシテヤッテ來タケレドモ、其事業ト云フモノガ未ダ終リテ告
ケズ、更ニ此調査ニ就テ一層ノ力ヲ籠メテ調査ヲ續ケヤウト云フ上カラシテ、已ムテ得
ズ此經費ヲ要求スルコトニナッタデアリマス、是亦豫算編成ノ時期ニ於テ之ヲ豫見スル
コトガ出來ナカッタシテ、政府ノ怠慢若クハ政府ノ先見ノ明ニ乏シカッタコトヲ咎ムルト
云フコトハ吾等ハ頗ル酷ナル議論デアルト信ズルデアル、次ニ此步入會社ノ救恤金ノコ
トニ付テ鈴木君カラ反對ノ御議論ガアッタデアリマス、其反對ノ理由ハ此步入會社ト云
フモノガ第一ニモ既ニ餘程時期ヲ經過シテ、隨分昔ニ其端ヲ發シタル所ノ事柄ト云
フモノヲ提出シテカハラテ之ニ向ッテ救恤金ヲ與フルコトニシタナラバ、是等種類ノモ
ノガ段々現ハレテ、政府ハ之ニ對シテ救恤ノ幣ニ堪ヘヌデアラウト云フコトガ一理由、
今一ツハ此步入會社ナルモノハ世間ニ種々ノ噂ガ傳ヘラレテ居ル、甚シキハ選舉干渉
ノ時分ニ何等カノ甚ダ怪シイ所ノ費途ニ向ケラレタモノデアル、若クハ其選舉ノ事ニ關
係シタル所ノ或費途、若クハ或事柄ニ向ケラル、金デアルト云フガ如キ頗ル怪シイモノデ
アルカラ、之ニ對シテハ與ヘヌガ宜シイト云フコトガ一理由ニナッテ居タヤウデゴザイマ

ス、併ナガラ吾等ハ知ル所ニ依レバ、鈴木君ノ御意見ハ全ク此步入會社ナルモノヲ御承
知ナク、又國トシテ此相當憫ムベキモノニ對シテ救恤スルト云フコトハ、國家ノ義務
デアルト云フコトヲ無視セラレタル所ノ御意見デアリハセヌカト考ヘルデアリマス、此ノ
步入會社ノコトニ付テハ吾等ハ知ル所ニ依リテ範圍ニ於キマシテ申述ベマスレバ、是ハ元
元政府カラシテ此會社ニ貸下ラレタコロノ金ヲ維新ノ後之ヲ引上ゲタ、其引上ゲ
ル場合ニ於テ政府ガ貸シタコロノ金以上ニ澤山ナル金ヲ引上ゲタ、之ヲ此關係者カラ
納ムベキ金デナイノラ政府ガ殆ド之ヲ強制的ニ取上ゲタト云テモ宜イデアル、此金ハ當
然其關係者ニ下附スベキモノデアルト云フ理由カラシテ、既ニ先年之ヲ法廷ニ訴ヘテ第
一審ニ於テハ原告ノ勝訴ニ歸シテ居ル問題デアリマス、更ニ大藏省カラシテ控訴シテ結
果、大藏省ノ勝訴ニ歸シテ居ル、併ナガラ其後又屢々裁判ニナッテイロノナル曲折ヲ
經テ居リマスグレドモ、其法律上ノ權利ナルモノハイロノ、其手數ヲ課セタカ或ハ時間
ヲ經過シタカ云フヤウナコトデ、此關係者ノ希望ヲ達スルコトハ出來ナカッタケレドモ、
併ナガラ事實ハ事實トシテ蔽フ可ラザル爲ニ年々此ノ議會ニ向ッテ請願ヲシテ來タノデア
リマス、其請願ニ關スルコロノ一件記録ハ確ニ此本院ノ記録ニ存シテ居ル、而シテ此
請願ハ始終採擇セラレテ居ルデアリマス、年々此ノ請願ハ繰返サレテ現ニ本年モヤハリ
請願ニ現ハレテ、而シテ本院ノ採擇スルトコロナッテ居ルデアリマス、事實ノ詳細ヲ述
ルトスレバ多クノ時間ヲ要シマスカラ之ヲ略シマスルガ、免ニ角此ノ金ト云フモノハ法律
上ニ於テハ既ニ關係者ニ下附スベキ緣故ハ切レテ居テモ、德義上ニ於テハ國家ガ當然
之ヲ見捨テルコトハ出來ナイ、之ヲ看過スルコトハ出來ナイコロノ問題デアルデアリマ
ス、然ルニ從來ノ政府ハ此ノ議院ノ請願ニ對シテ此ノ紛糾セル事件ニ對シマシテ、種々
調査ハ試ミテモ之ヲ斷シテ處分スルトコロノ勇氣ト誠意ガ無カッタデアリマス、然ルニ幸
ニシテ現政府ニ於テ此事件ノ顛末ヲ審カニシテ、而シテ之ヲ救恤スルト云フコトニ運
ダト云フノハ、吾等ハ事ノ當然デアルトコロヲ稱スルノミナラズ、政府ノ勇斷ヲ賞シテ
國民ニ對スルコロノ仁意ノアルコロヲ稱スルノミナラズ、政府ノ勇斷ヲ賞シテ
事件ヲ非認サレマスナラ、何故此ノ追加豫算ニ現ハレテ居ルコロノ奈古浦丸ノ
沈沒事件ニ對シテ、六方圓ノ救恤金ヲ與ヘラレテ居リマス、是ニ向ッテ非認ヲ加ヘラ
レナイノデアルカ、此ノ奈古浦丸事件ト步入會社救恤ト云フモノハ、事ノ性質ハ自ラ
異ッテ居リマス、内容ハ頗ル同ジカラザルモノカアルケレドモ、併ナガラ國家ヨリ之ヲ見テ
救恤スベキモノナリト斷定シマシタコロノ其事其物ニ至ッテハ同様デアル、若シ奈古浦
丸ノ沈沒事件ニ對シテ眞ニ其關係者ノ憐ムベキコトヲ國家ガ認メ、サウシテ相當ニ救
恤スルコトガ當然デアルトスレバ、其步入會社ノコトニ對シテモ救恤スルノガ當然ノ事ト
言ハナケレバナラヌト思フ、又此事件ニ對シテ種々ノ風説ノアルト云フコトヲ言ハレタ、風
説ハアリマセウ、イロノ、風説ハアリマセウガ、併ナガラ其道路ノ風説ヲ取立テ、サウシテ
此議案ノ反對ノ理由トスルナラバ、或ハ恐ル、奈古浦丸事件ニ對シマシテモ道路ノ風
説ハ絶無デハナイト云フコトニナリハシナイカト思フ、併ナガラ吾等ハ道路ノ風説ニ對シテ
耳ヲ藉スベキモノデハナイ、奈古浦丸事件ハ眞ニ救恤スベキコロノ性質ヲ持ッテ、此奈
古浦丸事件ニ對シテ種々ノ風説ヲ傳ヘ、サウシテ事件其モノニ傷ヲ付ケルト云フコトハ
甚ダ宜シキヲ得ヌコトデアルト同時ニ、此步入會社ニ對シテ道路ノ風説ヲ取立テ、反對
ノ理由ニ供スルコト云フコトハ、吾等ハ鈴木君ノ爲メニ甚ダ取ラザルトコロデアルト思フノデ
アリマス、更ニ是價調調査會デ此米價ノ調節ト云フコトハ果シテ得策デアリカナイカ
ト云フコトハ、是ハ既往本議會ニ於テ屢々研究サレ討論サレタルコロノ問題デアリマス、
是ニ對シテ鈴木君ハ熱烈ノ反對ヲサレテ、天下ノ愚策デアルト云ハレタデアリマスガ、
吾等ハ此米價調節ト云フコトハ頗ル必要ナコトデアルト考ヘルデアリマス、政府ノ曾テ
取ッタコロノ方法ニ付テ鈴木君ハ反對セラレタ、吾等ハ此方法ニ對シテモ決シテ是ハ失

敗テハナイト考ヘテ居リマス(能ク調節が出来テ居リマス)ト呼フ者アリ併ナガラ此米價ノ調節——米價ノ調節ノ利害得失ト云フコトハ暫ク措キマシテ、此案ニ現ハレテ居ルトコロ此米價調節調査會ニ關スルコトノ經費ナルモノハ、自ラ他ノ方面ヨリ之ヲ觀察シテ、サウシテ其利害得失ヲ研究スルノ價值アルト云フハ考ヘルノデアリマス、デ私ハ申スマデモナク日本ノ產物中最モ大宗ヲ占メテ居ルコトノモノハ米穀デアル、米ト云フモノハ我國ノ經濟ニ至大ノ關係ヲ持ツテ居ルニ拘ラズ、從來此米ト云フモノニ對スルコトノ研究ハ吾々ハ頗ル其幼稚ナルコトヲ憾ミシテ居ルノデアリマス、多クノ例ヲ舉ゲズ、唯一ノ米ノ貯藏ノ方法ニ付テモ何等ノ研究ヲ爲シテ居ラヌ、鈴木君ハ米ノ研究ニ付テハイロ／＼ヤツテ居ル、今日ニ於テ研究スル必要ハナシト云フコト委員會ニ於テ述ベラレ、本會ニ於テモサル語調ヲ用テ居ラヌデアリマス、ケレドモ吾々ハ寡聞ニシテ未ダ此米ノ貯藏ニ關シテ十分ニ研究ヲ遂ゲテ居ルコト云フコトヲ聞イテ居ラヌデアリマス、今日ハ理化學ハ進歩シテ居ル、其他種々此研究ト云フコトニ付テハ機關モアリ便利モアリマス、之ニ相當ノ費用ヲ投ジテ研究シタラバ、必ズ相當ノ方法ヲ得ルニ相違ナシト云フケレドモ、惜イ哉是マデ米ノ貯藏法ニ對シテ何等ノ研究ヲシテ居ルカト云フト、一モシテ居ラヌト云フコトヲ吾々ハ斷言シナケレバナラヌ、獨リ米ノ貯藏法ノミナラズ、其他米ニ對スルコトノ研究ハ唯買フトカ賣ルトカ云フコトニ對シテハ若クハ米ヲ作ルト云フコト等ニ付テ研究ハシテ居リマスケレドモ、マダ其外米ニ對スル研究ト云フモノハ、其殘サレタルモノ頗ル多キコトハ、吾々ハ憾ミシテ居ルノデアリマス、今回政府ノ提出サレタルコトノ米價調節研究會ノ此米ノ調節法ニ對シテノ研究ハ、今私カ茲ニ改メテ申上ゲル必要モアリマセウガ、此問題ノ起リト云フモノハ諸君ノ御承知ノ通り米價ノ調節調査會ニ於テ、會ノ決議トシテ之ヲ理化學ノ上カラシテ、十分ニ調査シテ實ヒタシト云フ一ツノ建議ヲ出シタノデアリマス、ソレニ對シテ政府ハ此貯藏ト云フコトヲ十分ニ研究スルコト云フ考デ、或ハ農事試驗場ニ對シ、或ハ植物檢査所ニ於テ、其外種々ノ機關ヲ利用シテ、或ハ米ノ貯藏ト氣象ノ關係トカ、或ハ米ノ貯藏ト乾燥ノ關係トカ、或ハ米ノ品質ト貯藏耐久力ノ關係トカ云フヤウナ種々ノ方面ニ付テ、貯藏上ノ研究ヲ試ミル爲ニ此計畫ヲ始メタノデアリマス、是ハ假令米價調節其物ノ目的ニ供スルコト云フコトデナクシテ、單ニ此米ノ貯藏ト云フモノハ如何ニシテ出來ルモノデアルカ、相當ノ方法ハナシカト云フコトヲ、之ヲ學理上ヨリ實際上ヨリ研究スルコトニシテモ、我國產ノ大宗タルコトノ米ト云フモノニ、經濟上非常ノ關係ヲ持ツモノデアラウト考ヘル、之ニ對シテ反對ヲ表セラル、ト云フコトハ吾々ハ頗ル此米ニ對シテ——農産ニ對シテ不親切デアリハシナイカト考ヘルノデアリマス、尙鈴木君ハ此議案ニ現ハレタル所ノモノハ、即チ米倉ヲ拵ヘル、米倉ヲ造ッテサウシテ米ノ貯藏ノ研究ヲスルコト云フコトハ、甚ダ可笑シナコトデアルト云フガ如キコトヲ言ハレレ、政府ノ今茲ニ計畫シテ居ルコトノ其委シキコトヲ聞キマスルト、此倉ヲ拵ヘルト云フコトハ唯單ニ所謂營繕費デアツテ、貯藏ノ研究ヲスル爲ニ其一ツノ機關ヲ拵ヘル、是ヨリシテ來ルベキ豫算編製ノ場合ニハ尙研究ニ要スル費用ヲ要求シテ、更ニ完全ナル其貯藏ノ實際ノ方法ニ著手スルコト云フ運ビニ居ルコト云フコトハ、政府當局ノ親シク辯明致シテ居ルコトデアリマス、單ニ倉ヲ拵ヘル、サウシテ其貯藏研究ノ目的ヲ達セリト考ヘラレテ、此案ニ反對スルコト云フコトハ是ハ吾々ハ事實ヲ御知リニナラヌト云フカ、若クハ事實ヲ誣ニルコトデアルト申サナケレバナラヌト考ヘル、以上ノ點ニ付キマシテハ、吾々ハ政友會並ニ國民黨諸君ノ御意見ニハ總テ同意ヲ表スルコトが出来ヌノデゴザイマス、是等ノ點ハ總テ原案ハ當然ノ要求デアル、而シテ必要止ムヲ得ザル所ノ支出デアルト云フコトヲ認メルノデゴザイマス、依ッテ總テニ對シテ原案ヲ贊成シヤウト思ヒマスガ、終リニ臨ンデ政友會ノ齋藤君ハ、大禮記録編纂ノコトニ付テ原案ニ反對ハサレナカッタケレドモ、此經費ハ削除スルコト云フ御意見デハナイケレドモ、多少此問題ニ御

小言ガアッタヤウデゴザイマス、多少デナクシテ頗ル此問題ニ付テハ——此問題トハ關係ハナイケレドモ、大禮御執行ノ前後ニ於ケル大禮使ノ取扱ノ事ニ付テ、若クハ此大禮ニ關スル費用ニ對シテ、世間ノ種々ノ取沙汰ヲ茲ニ羅列サレテ(取沙汰デハナイ)ト呼フ者アリ)サウシテ此問題ニ對スルコトノ一種ノ非難ノ材料ニ供セラレマシタケレドモ、是ハ吾々ハ贊成スルコトが出来ヌノデアリマス、此大禮使ニ對シテ、非難若クハ取沙汰ト云フコトハ、是ハイロ／＼アリマセウケレドモ、此大禮ノ記録ノ編纂ト云フモノハ、ツマリ大禮費ノ中ニ金ガ無イカラ、政府ハ茲ニ新タニ要求シテ、サウシテ大禮ヲ將來ニ傳ヘヤウト云フ趣意カラ出タノデアリマス、ツマリ此事ハ此大禮ノ大事ノ終リヲ完ウシヤウト云フ政府ノ考カラ出テ來タ、吾々ハ此事ハ寧ろ當然ノ事デアリマシタラズ、此大禮ノコトニ對シテ最モ慎重ナル施設デアルト考ヘルノデアリマス、之ニ對シテ種々ノ世間ノ取沙汰、若クハ大禮使其施行當時ノ待遇等ノコトニ對シテ世間ノ一種ノ感情ニ憑ヘ、世間ノ耳目ヲ聳動シテ此問題ニ非難ヲ付ケヤウト云フコトハ吾々ハ(ノウ／＼)ト呼フ者アリ、敬愛スル所ノ齋藤君ノ爲ニ甚ダ取ラザル所デアルノデアリマス、以上ノ理由ニ依ッテ本員ハ全部原案ヲ贊成スル者デアリマス(相島勘次郎君「質問ガアリマス」ト呼ビ「無用々々」ノ聲起ル)

○副議長(早速整肅君) 小山松壽君

○小山松壽君 本員ハ極メテ簡單デアリマスカラ、自席カラ發言ヲ御許シテ願ヒタイ(簡單ハ當テニナラヌカラ登レ)相島君ノ質問ヲ許シ給ヘト呼フ者アリ

○副議長(早速整肅君) 後テ許シマス

○小山松壽君 本豫算ヲ審議スルニ當リマシテ、本員ハ先キニ聲明致シテ居リマシタ、即チ名古屋監獄ノ火災ニ關スル質問及之ニ對シテ善後策ニ對シテ政府ニ質問ヲ試ミタコトガアルノデアリマスガ、之ニ對シテ政府ノ理想トシテハ不適當デアルガ、現在トシテハ其意思ヲ有ツテ居ラナイト云フコトヲ答辯デアリマシタ、私ノ考ハ此機會ニ於テ其理想トシテ不適當ナルモノヲ解決セラル、コトガ、最モ適當デアルト考ヘタノデアリマスガ、然ル所此追加豫算ノ費目ノ中ニ司法省所管シテ十一萬二千圓ノ同監獄燒失ニ關スル復舊費ヲ計上サレタルノデアリマス、故ニ私ノ聲明致シタコトノ成行ヨリ致シマスレバ、此費目ヲ削除シ一ツノ修正案ヲ提出スベキ立場ニアルノデアリマスガ(ヒヤ／＼ト呼フ者アリ)併ナガラ焦眉ノ問題ヲ救フニ於テ——當局者其意思ナシト致シマスレバ、此當面ノ問題ヲ救済スル意味ニ於テ、止ムヲ得ズ之ヲ認メルノ外ナイト考ヘルノデアリマス、故ニ私ハ當局者ニ對シテ將來此理想ノ實現ヲ速カナラシメシコトノ希望ヲ付シ、委員長ノ報告ニ贊成ヲ致シマス

(「採決」ト呼フ者アリ)

○副議長(早速整肅君) 相島勘次郎君

(「登壇」ト呼フ者アリ)

○相島勘次郎君 簡單デスカラ——山田君ニ御尋ラシヤウト思ツタノデアリマスガ、山田君ガ其席ヲ去ラレタ以上ハ、私ハ山田君ニ問フテモ議長ニ問フテモ宜シイノデアリマス、此熊本縣ノ步入會社ト云フコトニ付テ御尋ラシヤウトデアリマスガ、此事ニ付テハ道路風説スル云々云フコトヲ以テ、頗リニ道路風説、道路風説ト山田君ハ申サレタノデアルガ、此步入會社ト云フモノハ裁判ノ結果ニ於テハ、モウ却下サレテ居テ權利ハナイ、其會社ノ事情ニ於テハ氣ノ毒ナ點ハアルケレドモ權利ハナイ、權利ノナイモノガ今日突如トシテ現ハレタト云フコトニ付テハ、是ハ唯今鈴木君モ申サレタ通り選舉干渉或ハ議員買収ノ責ヲ、自分デ引受ケタコトコロ山田君ニ向ッテ御禮ノ金ニナルノデアルト云フコトヲ聞クノデアル、ツレバ山田君ハ熊本縣選出ノ代議士デアリマスガ、サウ云フコトニ付テ忌ハシイ運動ノアルト云フコトヲ御存ジデアリマセウカ、御存ジナイノデアリマセウカ、

ソレヲ聞キタイ、ツレカラモウ一ツハツレヲ聞クト同時ニ、私ノ聞ク所ニ據レバ林田君ノ名義ヲ以テ議員俱樂部ノ一室ヲ借りテ其處ニ本部ガアル、サウシテ此運動ヲシテ居ルト云フコトヲ聞イテ居リマス、ツレハ疑モナク此會社ニ入ッテ居タ元ノ株主ヲ救恤スルト云フ意味ヲナクシテ、林田君ガ其罪ヲ負フテ御禮ヲスル爲メ團體ノ事務所ガ、此議員俱樂部ニアルト云フコトヲ私ハ聞イテ居ル、果シテ議員俱樂部ノ一室ヲ林田君ニ附與シテ、所謂議員買収ノ一今日デハ罪人トナッテ居ルハデハナイカ、サウ云フ人ニ此議員俱樂部ノ一部ヲ貸シテ居ルヤ否ヤト云フコトヲ、併セテ御聞キ申シタイ

○山田珠一君 唯今相島君ノ質問ハ二ツノ質問ヲ含マレテ居タト思ヒマスガ、是ハ本員ニ對シテノ質問デアリマセウカ、議長ニ對シテノ御質問デアリマセウカ、議長カラ尙一應御確メ願ヒタイ

○相島勸次郎君 議長デモ宜シウゴザイマス

○副議長(早速整爾君) 御答ヲ致シマス、相島君ノ御尋ノ點ハ二點アル

○相島勸次郎君 始メノ一點ハ山田君ニ願ヒマス

○副議長(早速整爾君) 第一ノ點ハ議長ガ御答ヲスベキコトデハナイト思ヒマス、第二ノ御尋ニ對シテモ實ハ議長ガ御答ヲスル限リデハナイト思ヒマスガ、強イテ言ヘバ今日議長ハ全ク知ラナイコトデアリマス

○高木益太郎君 此議場ノ構内ノ前ノ衆議院書記官長トシテ、議員買収ヲ爲シテ今ヤ問題ガ起リテ居ル人間ガ、其俱樂部ノ室ヲ借りテ八萬圓ト云フ——國庫ノ剩餘金ガ七十萬圓シカ政府ニナシ、其十分ノ一以上ノ八萬圓ノ金ヲ支出スル其運動事務所ガ出來テ居ルコトヲ、議長ガ此衆議院ノ構内ニサウ云フモノガアルト云フコトヲ、御承知ガナイノデアルト云フコトハ、甚ダ不取締ノ感ヲ持チマス、如何デアリマスカ

○副議長(早速整爾君) 御答ヲ致シマス、相島君ニ御答ヲシタト同様デアリマス

○高木益太郎君 御分リニナラヌケレバ、御調査ノ上御答ヲ願ヒマス

○大藏大臣(武富時敏君) 御答ヲ致シマス

(拍手起ル)

○大藏大臣(武富時敏君) 齋藤君ノ御説ニ對シテ一言辯ジテ置キタイコトガアルノデアリマス、豫算委員會ニ於テ大禮費ノ旅費ノ支給額ノコトヲ、齋藤君ガ大藏大臣ニ質問サレタトコトガ、總額ハ言明シタガ、此以上ハ斷シテ説明ヲシナイト、斯様ニ申シタト云フコトヲ言ハレマシタガ、斷シテ説明ヲシナイト云フコトデハアリマセヌ、大禮費ノ豫算ハ假令殘餘ヲ生ジテ其殘餘ヲ賞與ニ使フタト云フヤウナ意味ノ御尋デアリマシタカラ、大禮費豫算中ノ賞與ノ金額ハ豫算ノ通り二十幾萬圓支給シテアリマス、豫算ト少シノ過不足ハアリマセウカ、先ヅ大體ニ於テ豫算通りニ支給シタル、其金額ガ二十幾萬圓何ガシト云フモノデアルト云フコトヲ説明ヲシタノデアリマス、ツレカラ其以上ノ細目ニ立入ッテ御尋デアリマシタカラ、大禮費ノ經費ハマダ支拂未済ノモノモアリマシタ、清算ヲ終ラナイノデアリマスカラ、細目ニ入ッテ説明スルノ機會ニ到達シテ居ラヌト云フコトヲ申シタノデアリマス、即チ今日迄ハ大藏大臣トシテ説明スルノ程度ニ達シテ居リマセヌ、支拂ノ整理中デアリマス、且又大禮ノ記録編纂ニ關スル經費ハ、大禮費ノ豫算ニ餘リガアレバ、ツレデ支拂スベキモ此度政府ノ計畫ニ屬スル記録編纂ノ經費ニ支拂シ得ベキモノハアレバ、左様ノ目的ヲ以テ豫算ヲ編纂シテハゴザイマセヌ、豫算主査會デ齋藤君ノ御説ニサウ云フモノガアルカノヤウ御話デゴザイマシタガ、成程、眞實帖ヲ拵ヘルト云フヤウナ經費ハ大禮費ノ豫算中ニアルヤウデアリマス、併ナガラ是ハ決シテ此度ノ記録ノ編纂トハ全ク別モノデアリマス、ツレデ大禮費ノ經費ハ支拂未済ニ屬シテ清算未了デゴザイマスカラ、多少剩餘ガ生ズルカドウカ、今日ハ分リマセヌケレドモ、縱シヤ剩餘アリ

ト致シマシテモ、此記録編纂ノ如キ費途ニ支拂スベキモノデアリマセヌ、豫算ノ目的ガ最初カラ違ッテ居ルノデアリマス、ツレデ此度ノハ大禮使ノ仕事デハナイ、政府ノ仕事トシテ大禮ニ關スル記録ノ編纂ヲ致スノデアリマスカラ、新タニ生ジタコロノ經費デゴザイマス、新ニ生ジタコロノ經費ヲ大正五年度ノ總豫算追加シテ茲ニ請求スルノデアリマスカラ、大禮費ノ豫算トハ何等關係ハ持チマセヌ、且又大禮費ノ賞與云々ト云フコトニ付テ、官名若クハ金額等ヲ舉ゲテ言ハレマシタガ、ツレハ何處ニサウ云フ風説ガアルノデアリマスカ、事實トハ全ク相違致シテ居リマス、ツレデケハ明言致シテ置キマス

○副議長(早速整爾君) 時間ヲ延長致シマス——時間ヲ延長致シマス

○齋藤圭次君 唯今大藏大臣ノ申サレマシタコトハ、速記録ニ載テ居ルノトハ違ッテ居リマス

○伊東知也君 議長質問ガアリマス

○副議長(早速整爾君) 伊東知也君

(伊東知也君登壇)

○伊東知也君 唯今大藏大臣ヨリ大禮費ノ賞與金其他ニ關シテ責任等ノ御説明ガアリマシタガ、私ハ甚ダ解シ難イ點ガアルノデアリマス、大禮使ノ賞與金トシテ二十餘萬圓ト云フ金ヲ出シタト云フコトハ……(豫算ニ何ノ關係ガアル)ト呼フ者アリ、默ッテ御聽キナサイ、保險ト違フ、ツレニ對シテ苟モ大禮使ノ費用デアラウカ、何デアラウカ、大藏大臣ガツレニ對シテ無責任ナコトハナイ、其結果此ニ甚ダシキ不公平ナル感ヲ全國民ニ與ヘテ、現ニ唯今是ガ私ニ到達シタ所ノ請願ノ趣意デアリマス、ツレハ在郷軍人ノ下士、特務曹長以下ノ者ニ向ッテ紀念章モ下サラナイ、吾等在郷軍人トシテ生命ヲ陛下ニ捧ゲテ居ル以下ノ者ニ向ッテ紀念章モ下サラナイ、然ルニ殆ド何ノ關係モナイ、單ニ或ハ運動シテ居ル所ノ町村長其他ノ人々ニハ紀念章ノ拜受モアツタガ異ニ國家ノ爲ニ一身ヲ捧ゲテ、砲火ノ間ニ屍ヲ曝ス所ノ吾等ニ至ッテハ(時間延長ヲ諮ルベシ)「諸君諸君」ト呼フ者アリ、紀念章モ下サラナイノミナラス——ツレニ拘ラス二十何萬圓ト云フ所ノ大金ヲ大禮使ノ役人共——私ハ斷言スルヲ憚ラナイ、或人ノ如キハ何デス、單ニ裝束ヲ著シテ、刀ヲ差シテ門番ヲシタヤウナ勸キヲナス者ニ、其大ナル所ノ賞與金ヲヤルトハ何デ、而モ斯ノ如キ一事ヲ以テモ分ル、殆モ血判ヲシテ吾等ニ歎願シ來ル所ノ全國ノ在郷軍人ノ下士、特務曹長以下、是等ノ人々ニ對シテハ少ナクモ二十何萬圓ノ金ガアツタナラバ記念章位ハ授ケルコトガ出來ルト私ハ思フ、然ルニ大藏大臣ハツシナコトハ大禮使ノコトデカラ見通シテ宜イト仰シタルデアルカ、或ハ是ハ豫算ニ關係ガナイ、大禮使ト豫算トハ違フト云フヤウナコトヲ以テ通レルノデアルカ、苟モ大藏大臣タル者ガ國家ノ爲ニ財政ノ調節ヲ圖ツテ、二十餘萬ノ金ガ此ニ餘ッテ、之ヲ何カ裝束ヲ著ケタ門番ノヤウナ者ニ千圓二圓ヲヤルヨリハ、之ヲ此方ヘ使ッタ方ガ宜イト云フ御考ニナルガ當リ前ト思フ、サウ云フ國家ノ根本ノ基礎カラ財政ヲ誤マルヤウデハ、豫算案デアラウガ追加案デアラウガ、決シテ私ハ贊成ガ出來ヌ、大藏大臣ノ之ニ對スル辯解如何

(大藏大臣ニ質問ガアリマス)「採決々々」餘リ壓迫スルト騷動スルゾ」「大藏大臣答辯ナサイ」ト呼フ者アリ

○副議長(早速整爾君) 相島勸次郎君

(相島勸次郎君登壇)

○相島勸次郎君 熊本縣元步入會社ノコトニ付テ、大藏大臣閣下ノ答辯ヲ得タイノデアリマス、大藏大臣閣下驚クハ決シテ吾等ガ漫リニ辯ヲ好ムモノト爲ス勿レデアル(笑聲起ル)私ハ衷心カラシテ之ヲ御尋ニスルノデアル、閣下ガ大藏大臣ニナラレタカラ成程事件ガ澤山ニアリマシタ、戰爭ニモ參加シタノデアリマス、ツレ故ニ非常ニ澤山ノ追加豫算ガ出ルトカ、費用ガ澤山掛ルト云フコトハ是亦已ムヲ得ナイカモ知レマセヌ、併ナガラ

一億何千万圓ト云フ剩餘金ト云フモノハ全ク使ヒ果シテ、今日ハドウナッテ居リマス、斯ル場合ニ於キマシテ——斯ル場合ニ於キマシテ、斯ウ云フ風ナ歩入會社ノヤウナ非常ニ世ノ中ニ非難ガアル——吾モ亦疑フ有テ居ルト云フヤウコトマデモ、今此ニ解決シナケレバナラヌト云フコトハナイデハアリマセヌカ、私ハ大藏大臣閣下ノ人格ト云フモノヲ今日モ尊敬シテ居ル一人デアリマス、此武富大藏大臣ノ時代ニ於テ、假令イロ／＼ナ事情ガアツタ雖モ、是ダケノ金ヲ使シテモ今デハ此ハ阪九ノ辨償ヲスル爲ニ借金ヲシナケレバナラヌコトニナッテハアリマセヌカ、斯ル財政状態ニ於テ斯ウ云フ問題マデモ解決シナケレバナラヌト云フコトハ私ハナカラウト思フ、大藏大臣ハ今日デモ尙サウ云フ非難ガアツタモ、如何ナル財政上ノ事情ガアツタモ、斯ウ云フ問題ヲ解決シナケレバナラヌト云フモ考ヘテ居ラル、ノデアリマセヌカ、私ハ之ヲ此議場デ大藏大臣ノ答辯ヲ得テ、サウシテ之ヲ此速記録ニ遺シテ置キタイノデアリマス、ソレ故ニ私ハ質問ヲスル(拍手起ル)

〔必要ナシト呼フ者アリ〕

○大藏大臣武富時敏君登壇 豫算ヲ提出致シマシテ協賛ヲ請フコトニ致シマシタ以上ハ、無論解決ノ必要アリト信シテ提出致シタノデアリマスカラ、何分御協賛ヲ仰ギマス

〔拍手起ル〕

○高木益太郎君 大藏大臣ニ伺ヒマス、此步入會社ノ問題ニ付テハ、或一個人ニ法律上權利ノナイト云フコトハ確定シテ居ル、而モ明治初年ノ問題デアル、ソレカラ段々ト順序ヲ經テ裁判上、法律上、權利ノナイコトガ確定シテ居ル問題デアリハス、私ハ本件ニ付テ果シテ嫌ナ問題ガ事實デアルカナイカハ知りマセヌカ、今日政府ハ減稅ヲ行ハナイト云フ時代ニ、何故ニ七十萬圓ノ剩餘金ノナイ政府ガ、八萬圓カラノ金ヲ法律上權利ノナイト確定シタモノニ支拂ヲ爲サルカ、而モソレヲ追加豫算ヲ以テ爲サル必要ハドウ云フ所ニアルノデアルカ、此豫算ノ説明書ヲ見ルト、其説明ハタツタ一行バカリデアル、ソコデ步入會社ト何デアラウカト吾モハ段々研究シテ見ルト、モウ法律上裁判上權利ノナイト確定シテ居ルモノデアル、サウ云フモノヲ特ニ追加豫算ノ名ヲ以テ、八萬圓カラノ金ヲ或一個人ニ御渡シタルコトハ、ドウ云フ理由ガアツタサウ云フコトヲ認メルカ、縱シ出スベキモノガアツタモ、事ニ緩急順序ガアル、今日ハソナナ時期デアナイ、金ノ最モ大切ナル時期デアリマス、何ガ故ニ斯ル一個人ニ特別ナル注意ヲ拂フ必要ガアルカ、十分ノ説明ヲ求メマス

〔大藏大臣武富時敏君登壇〕

○大藏大臣(武富時敏君) 法律上救済スベキ途ガナイト云フコトハ高木君ノ御説ノ通りデアリマス(然ラバ止メ給ヘト呼フ者アリ)併ナガラ事實誤納デアルト云フコトハ調査ノ結果頗ル確實デアリマス、(ソナナモノハマダ澤山アル)ト呼フ者アリ)ソコデ法律上ハ救済スベキ途ハナイガ、政治上上之ヲ救済スベキ必要ガアルト認メタノデアリマシテ、次ノ款ニゴザイマス此奈古浦ノ救済モヤハリ同一ノ性質デアリマス、是モ政府ニ於テハ法律上何等責任ハゴザイマセヌ、最早此救済ハ裁判所ニ訴ヘルコトモ出來ナイト云フコトニナッテ居リマスケレドモ、是モ事實誠ニ憐ムベキモノガアルト認メテ救済ヲスルノデアリマス、法律上政府ニ責任ナイコトハ是ハ高木君ノ御説ノ通りデアリマスガ、事實ハ右申サウナ次第救済ノ必要ヲ認メタノデアリマス

○高木益太郎君 質問ガアリマス、私ハ政府ガ明治ノ初年ニ行ッタ事例ニ付テ、誤納デアルト云フコトヲ認メテ、法律上、裁判上、請求權ガナイケレドモ、此場合ニ於テ救済スルト

云フコトデアレバ、此事件バカリデアリマセヌ、サウ云フヤウナ工合ニ、政府ノ間違ッテ處分ノ爲ニ、個人ガ權利ヲ失ッテ居ルモノハ澤山アリマス、甚ダシキニ至ッテハ過日本院ニ於テ可決シマシタ全國ノ社寺境内地ノ問題ノ如キ、國ノ道德宗教ニ關スル一個人ノ寺ノ境内地ヲ國家ガ奪ッテデアリマス、若シ果シテサウ云フ論鋒デアラナラバ、他ノ誤納問題ヤラ若クハ寺ノ境内地問題ニ付テモヤハリ同一ナケレバナラヌ、是ハ太田某ノ一個人ノ問題デアリマセヌ、一國ノ宗教道德ニ關スル問題デアル、然ルニ政府ハ其問題スラ反對シタハナイカ、又奈古浦九ノ問題ヲ彼此言ハレマスケレドモ、此問題ハ花井君其他ノ諸君カラ本院ニ提出サレテ屢、問題トナッテデアリマスカラ、能ク議員全體ガ之ヲ知ッテ居リマス、明治初年ノ問題デアリハナイ、日露戰役後ニ起ッタ問題デアルカラ能ク議員ハ知ッテ居ル、步入會社トカ何トカノ如キ、何カ按摩ノ會社トカ思フ位デアル、吾モノ如キハ追加豫算ヲ見テ初メテ知ッテ位デアリマスガ、ソレト是トハ餘程緩急順序ガ違ヒマス、果シテ斯ウ云フモノニマデハ八萬圓ヤルト云フコトデアレバ社寺ノ境内地ヲ還付シ、其他誤納者ニシテ苟モ正當ノ原因アルモノハ大藏省ハ總テ返スト云フコトヲ言明セラレル次第デア

〔大藏大臣武富時敏君登壇〕

○大藏大臣(武富時敏君) 政府ノ事實ニ於テ救済ノ必要アリト認メタノハ此二ツニ限ッテ居リマス、其以外ノコトハ詮議ニ上リマセヌカラ如何トモ御答ガ出來マセヌ

○副議長(早速整爾君) 採決致シマス、此採決ハ先ツ修正ノアリマスル部分カラ順次採決致シテ行カウト思ヒマス、豫算ノ第三號大正五年度歳入歳出總豫算追加案、此案ノ中ニ二三ノ修正ガ加ヘラレアルノデアリマス、修正ノ說ガアルノデアリマス、其修正ノ事項毎ニ採決致シテ行ク積リデアリマス、先ヅ此二三號ノ案ノ中デ、甲號歳出經常部大藏省所管第一款銀行局設置ニ關スル經費ヲ削除スルト云フ修正說、是ハ齋藤君ト鈴木君トノ修正案同一デアリマス、之ニ付テ採決致シマス、此削除ノ說ニ贊成ノ御方ハ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○副議長(早速整爾君) 少數、修正案ハ否決セラレマシタ、其次ハ同ジク歳出臨時部大藏省所管第十六款、官業整理調査ニ關スル經費ヲ削除スルト云フ說、是ハ齋藤君ノ案デアリマス、此說ニ贊成ノ諸君ハ起立

起立者 少數

○副議長(早速整爾君) 少數デアリマス、此修正案ハ否決セラレマシタ、此次ハ同上第十七款元歩入會社救済金ヲ削除スルト云フ鈴木君ノ修正意見デアリマス、此御意見ニ贊成ノ諸君ハ起立

起立者 少數

○副議長(早速整爾君) 少數デアリマス、少數デアリマス、此第三號案ニ付キマシテハ全部委員長報告ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(早速整爾君) 御異議ナシト認メマス、全部委員長報告通り可決セラレマシタ、ソレカラ次ハ第五號ノ豫算追加案、是ハ鈴木君ノ全部削除スル即チ否決說ガアリマス、此第五號案ヲ否決スルト云フノガ鈴木君ノ案デアリマスガ、直ニ委員長ノ報告ニ付テ採決致シマス、委員長ノ報告ニ贊成ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○副議長(早速整爾君) 起立者多數、委員長報告通り可決致シマシタ、唯今採決

致シマシタ其他ノ各號ヲ一括シテ採決ヲ致サウト思ヒマス、各案全部委員長報告ノ通リ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(早速整爾君) 異議ナシト認メマス、各案トモ全部委員長報告通り可決確定致シマシタ(拍手起ル)——次ハ國籍法中改正法律案ヲ議題トシテ第一讀會ヲ開キマス、藤澤政府委員

國籍法中改正法律案(政府提出貴族院送付)

第一讀會

國籍法中改正法律案

第十八條 日本人カ外國人ノ妻ト爲リ夫ノ國籍ヲ取得シタルトキハ日本ノ國籍ヲ失フ

第二十條ノ二 外國ニ於テ生マレタルニ因リテ其國ノ國籍ヲ取得シタル日本ノ人カ其國ニ住所ヲ有スルトキハ内務大臣ノ許可ヲ得テ日本ノ國籍ノ離脱ヲ爲スコトヲ得

前項ノ許可ノ申請ハ國籍ノ離脱ヲ爲ス者カ十五年未滿ナルトキハ法定代理人ヨリ之ヲ爲シ滿十五年以上ノ未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ法定代理人ノ同意ヲ得テ之ヲ爲スコトヲ要ス

繼父、繼母、嫡母又ハ後見人カ前項ノ申請又ハ同意ヲ爲スニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

國籍ノ離脱ヲ爲シタル者ハ日本ノ國籍ヲ失フ

第二十四條中「前五條」ヲ「前六條」ニ、「前六條」ヲ「前七條」ニ改ム

第二十六條中「第二十條」ノ下ニ、「第二十條ノ二」ヲ加フ

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔政府委員藤澤幾之輔君登壇〕

○政府委員(藤澤幾之輔君) 國籍法中改正法律案提出ノ趣旨ヲ申上ゲマス、國籍法ニ關シテ出生主義ヲ執リマスル、外國ニ於テ生シタル所ノ日本人ノ子ハ、出生ト同時ニ其國ノ國籍ヲ取得スルコトハ既ニ諸君ノ御承知ノ通りデアリマス、既ニ然レバ其子ハ當然ニ重國籍者トシテ世ニ立タンケレバナラヌデアリマス、而モ此趨勢カラ累年増加ノ傾向ヲ有テ居ルデアリマス、既ニ斯ノ如キ事實デアリマスレバ、其者カ公ノ上ニ於テ又私ノ上ニ於テ、非常ナル不便ヲ有テ居ルト云フコトモ亦此ニ申上ゲマスルマデモゴザリマセヌ、然ルニ現行ノ國籍法ニ於キマシテハ、之ニ處スルノ規定ヲ缺如致シテ居リマス、サレバ國籍法ノ第二十條ノ次ニ第二十條ノ二ノ一條ヲ設ケマシテ、一定ノ條件ノ下ニ國籍離脱ノ途ヲ認メントスルデアリマス、是ガ本案提出ノ主ナル目的デアリマス、ソレト共ニ第十八條ヲ改正セントスルハ日本ノ女ガ外國人ト婚姻ヲ致シマスレバ、ソレト同時ニ我國ノ國籍ヲ喪失スルデアリマス、所ガ英領加奈陀ノ如キニ至リマシテハ、縱令婚姻ガアリマシテモ其女ガ加奈陀ニ入國致シマセヌケレバ、其國ノ籍ヲ取得スルコトガ出來ナイデアリマス、サウ致シマスニ云フト婚姻ト共ニ一方ニ於テハ日本ノ國籍ヲ失ヒ、サウシテ夫ノ國籍ヲ得ルコトガ出來ナイト云フ、即チ宙アラリノ人間ガ茲ニ出來ルデアリマス、之ヲ救ハンガ爲ニ第十八條ヲ改正セントスルデアリマス、ソレカラ本案ニ對シテ貴族院ノ僅カナ修正ガアリマスガ、是ハ十五年未滿ノ子ガ我國ノ國籍ヲ恢復セントスル場合ニ於ケル手續ノ規定デアリマス、此他ヲ申上ゲマシタナラバイロク

申上ゲベキ事柄ガゴザイマスケレドモ、是ハ委員會ニ於テ申上ゲマス、尙一言附加ヘテ置キタイコトハ、先般即チ過日國籍法ニ關スル當議院ノ建議案ガ提出サレテアリマス、サウシテ通過シテゴザリマス、其建議案ニ是ハ適應致シマスルトコロノ案デアリマス、ドウカ御協賛ヲ願ヒマス

〔拍手起ル〕

○杉山四五郎君 議長質問ガアリマス

○副議長(早速整爾君) 杉山君

○杉山四五郎君 唯今國籍法改正案ニ付テ政府委員ノ御話ニ依リマスルト、是ハ國際私法ノ一ノ問題デアリマスガ、國民分限ニ關スルコトニ關シマシテ「ユスサンギニス」(屬人主義)デアルト思ヒマスルノニ「ユスツリ」(屬地主義)ニアルヤウニ仰セラレタ、其結果ニ重ノ國籍ヲ得ルコト政府委員ハ言ハレタヤウデアリマシタガ、ソレハ間違デアリマセヌカ、モウ一遍詳細ニ……

○政府委員(藤澤幾之輔君) 出生地主義ヲ執リマス點ニ於テ、生レタル兒ノ爲ニ二重國籍ノ不便ヲ除カムトスルノガ本案ノ目的デアリマス

○副議長(早速整爾君) 別ニ質問ハナイト思ヒマス、右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉

○山口俊一君 本案ノ議長指名九名ノ特別委員ニ付託セラレムコトヲ望ミマス

〔贊成々々ト呼フ者アリ〕

○副議長(早速整爾君) 山口君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(早速整爾君) 御異議ハナシト認メマス、依テ本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマシタ

○山口俊一君 未ダ多數ノ日程ガ残り居リマスルコトデアリマスルガ、本日ハ是ニテ散會セラレムコトヲ希望致シマス

○副議長(早速整爾君) 次會ノ日程ハ公報ヲ以テ御報告ヲ致シマス、本日ハ是ニテ散會

午後六時二十三分散會

衆議院議事速記録第三十二號正誤

頁	段	行	誤	正
七五八	上	一六	簡易法ヲ	簡易法デ
七五八	上	二〇	本案ハ第三讀會ヲ	本案ハ直ニ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ